

令和 8 年産

主要農作物生産振興資料

基本方針編

令和 8 年 6 月

群馬県農政部

目 次

令和8年産米・麦・大豆生産振興方針	1
-------------------------	---

I 米「需要に応じた米づくりと戦略作物による水田フル活用の推進」

1 基本方針	2
2 水稻の生産目標	2
3 重点推進目標	2
4 関連施策	3
5 令和7年産水稻生育基本調査結果	5
6 水田面積の推移	10
7 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移	11
8 令和7年産市町村別水稻作付面積及び収量・収穫量	13
9 令和7年産全国水稻作付面積及び収量・収穫量	14
10 群馬県における昭和60年以降の水稻地域別作柄概況の推移	15
11 田植の進捗状況等の推移	17
12 群馬県新規需要米等の取組計画届出状況	19
13 水稻うるち品種別作付面積の推移	21
14 稲作農家数等の推移（農林業センサス）	22
15 群馬県における米穀の年次別検査成績	23
16 米の生産費及び収益性（10 a 当たり）	26

II 麦「ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組」

1 基本方針	28
2 麦の生産目標	28
3 重点推進目標	28
4 関連政策	30
5 麦の需要に関する動向	31
（農林水産省「麦の参考資料」（令和8年3月公表）抜粋）	
6 令和8年産民間流通麦入札結果	34
7 毎年の生産量・品質に基づく交付金ランク区分基準について	35
8 令和7年産群馬県産麦品質評価結果	37
9 令和7年産麦類生育基本調査結果	40
10 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移	45
11 令和6、7年産市町村別麦類10 a 当たり収量、収穫量	49
12 令和7年産4麦の作付面積及び収穫量	51
13 品種別作付面積の推移（群馬県）	55
14 検査数量上位品種の推移（全国）	56
15 令和7年産麦類検査等級比率（令和7年10月末現在）	57
16 累年の県産麦類検査等級	58
17 小麦の生産費（10 a 当たり）	59

Ⅲ 大豆「高品質大豆の安定生産の取組」

1 基本方針	61
2 大豆の生産目標	61
3 重点推進目標	61
4 関連施策	61
5 群馬県大豆生産の推移	62
6 全国大豆生産の推移	63
7 市町村別作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移（群馬県）	64
8 団地化に取り組んだ大豆生産集団の概要及び令和7年産大豆の概要	65
9 品種別作付面積の推移	66
10 令和6、7年産大豆検査数量	66
11 種類別検査実績（群馬）	67
12 全国大豆作付面積及び収量・収穫量	68
13 大豆の生産費（10a当たり）	69

参考資料

資料1 そばに関する資料	70
資料2 ライスセンター、カントリエレベーター、育苗センターの設置状況	74
資料3 種子の生産状況及び品種情報について	81
資料4 主要農作物奨励品種特性表	83
資料5 農産物規格規定（国内産農産物）の品位―抜粋―	89

令和8年産米・麦・大豆生産振興方針

群馬県農政部米麦畜産課

近年、世界的な穀物需要の増大、気候変動、国際紛争など、国内外の様々な要因により食料安全保障の強化が求められている。食料安全保障の強化にあたっては、需要に応じた米の安定的な生産と、輸入依存度の高い麦・大豆の国産化が今後益々重要となる。

このため、群馬県では、食料の安定供給と水田農業の担い手確保・育成に向けて、経営所得安定対策での「水田活用の直接支払交付金（戦略作物助成、産地交付金）」等を効果的に活用し、需要に応じた米生産や麦類との二毛作を基本に、高収益作物を導入するぐんま型「水田フル活用」を推進する。

また、生産性の向上に向け、本県に適した品種の導入や優良種子の確保、スマート農業の普及を図るとともに、新たな「食料・農業・農村基本計画」を踏まえ、地域農業を支える老朽化した共同利用施設の再編集・合理化に取り組む産地を支援し、生産基盤の強化に努める。併せて、持続的な水田活用につながるよう、耕畜連携による堆肥と飼料作物、わら利用の循環支援を行う。

上記を踏まえ、農業者・農業団体・実需者・行政・その他関係機関が一体となり、下記重点項目を推進する。

米：需要に応じた米づくりと戦略作物による水田フル活用の推進

- (1) 地域の特色を活かした「需要に応じた米づくり」の推進
- (2) 経営所得安定対策等の加入促進と高収益作物等の作付拡大
- (3) 本県二毛作体系に適した高温耐性・良食味品種の推進
- (4) 農地集積の促進、規模拡大等による担い手の経営体質の強化
- (5) 気象の変化に対応した栽培技術による高品質安定生産
- (6) 共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
- (7) G A P（農業生産工程管理）の導入・実践
- (8) 農産物検査法、米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保
- (9) 種子生産者の確保と生産体制の強化
- (10) スマート農業技術の普及

麦：実需者ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組

- (1) 実需者ニーズに応じた品種選定や計画的かつ安定的な生産の推進
- (2) 基本技術の励行による高品質麦の生産
- (3) は種前契約の徹底や実需者との連携強化
- (4) 共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
- (5) 経営所得安定対策等の活用による二毛作体系の推進
- (6) G A P（農業生産工程管理）の導入・実践
- (7) 地産地消の取組等、新たな需要づくり
- (8) 種子生産者の確保と生産体制の強化
- (9) スマート農業技術の普及

大豆：高品質大豆の安定生産の取組

- (1) 水田でのブロックローテーションや団地化の推進
- (2) 基本技術の励行による高品質な大豆生産の推進
- (3) 契約栽培による安定的な取引の拡大
- (4) 地産地消に対応した大豆生産の推進
- (5) 種子生産者の確保と生産体制の強化

I 米「需要に応じた米づくりと戦略作物による水田フル活用の推進」

1 基本方針

- (1) 地域の特色を活かした「需要に応じた米づくり」の推進
- (2) 経営所得安定対策等の加入促進と高収益作物等の作付拡大
- (3) 本県二毛作体系に適した高温耐性・良食味品種の推進
- (4) 農地集積の促進、規模拡大等による担い手の経営体質の強化
- (5) 気象の変化に対応した栽培技術による高品質安定生産
- (6) 共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
- (7) G A P（農業生産工程管理）の導入・実践
- (8) 農産物検査法、米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保
- (9) 種子生産者の確保と生産体制の強化
- (10) スマート農業技術の普及

2 水稻の生産目標

令和8年産水稻生産計画等を次のとおりとする。

表1 水稻生産計画等

区 分 \ 項 目	水 稻 主食用 生産量 (t)・A	水 稻 う る ち の 検 査			新規需要米等 作付面積 (ha)
		玄米総数量 (t)・B	検査比率 (%)・B/A	1等比率 (%)	
令和6年産実績(確定)	63,900	28,938	45.3	68.2	3,233
令和7年産実績	74,100	36,593	49.3	69.1	1,129
令和8年産計画	71,717 以下	35,000	50 以上	90 以上	—

- 注 1) 令和6、7年産水稻主食用生産量：農林水産省
 2) 令和8年産水稻主食用生産量：令和8年産米の都道府県別の生産目安
 3) 令和7年産実績の水稻うちの検査：令和8年3月末日現在（農林水産省）
 4) 新規需要米等：飼料用米・米粉用米・W C S用稲及び加工用米を含む

品質目標：整粒歩合「80%以上」及び出荷時の水分含量（玄米）「14.5～15%」

- ⇒ * 耕畜連携による堆肥、わら類などの有機物の施用及び深耕等の土づくり
 * 土壌診断に基づく土壌改良資材の適正施用
 * 高温対策としての品種選定及び肥培管理・水管理の徹底
 * 耕種的・生物的・化学的防除（農薬の適期、適正使用）による病虫害防除
 * 登熟期間の積算温度や帯緑色歩合等を活用した適期収穫の徹底
 * 異品種や異物混入の防止
 * 品質目標値を確保するための調製、保管管理の徹底

3 重点推進目標

(1) 生産・流通対策

ア 適地適品種の推進と基本技術の励行

安定した収量と高い品質を確保するため、高温耐性品種や実需要望の高い品種について現地実証ほを設置し、本県での栽培に適した品種の選定と作付の拡大を図る。また、著しい高温や低温などの気象の変化に対応できるよう、堆肥やわら類、土壌改良材等による土づくりのほか、肥培・水管理、適期防除や適期収穫など、基本技術の励行を推進する。

イ 特色ある米づくりの推進

有機、特別栽培米や良食味米等、消費者の求める米づくりの振興を図る。

ウ 高度先端技術の導入

圃場管理システム、G P Sを活用したスマート農業機械等の導入で、生産性向上を図る。

エ 共同乾燥調製貯蔵施設等の管理体制強化と安全で高品質な米の流通

共同乾燥調製貯蔵施設等の環境・保管管理体制を強化し、品質低下防止に努める。また、生産物の安全性を確保するため、放射性物質の低減対策の徹底を図るとともに、消費者へ正確な情報を提供し、県内農産物の安心・安全について理解促進を図る。

- オ 米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保
米トレーサビリティ法に基づき、産地情報を消費者に伝達するため、栽培管理記帳や取引記録の作成・保存の徹底を図るとともに、加工用米・飼料用米・米粉用米等の用途限定米穀の適正流通を推進する。
- カ 適正な農産物検査の実施
信頼される産地として農産物検査が適確に行われるよう、検査技術の維持・向上を図る。

(2) 販売対策

- ア 需要に応じた米づくりの実践
持続的な米生産が行われるためには、需要と供給のバランスが保たれ、生産者が再生産できる収益を確保することが必要である。そのため、生産者が作付の判断に資するよう、主食用米の需給見通し等について情報提供に努める。また、地域ブランド米のPR支援を通じて、需要の掘り起こしを行い、消費拡大につなげる。
- イ 業務用途米への対応
用途別の需要を把握し、需要に即した品種の作付け及び生産量の確保を図るとともに、基本技術の遵守により安定した収量及び高品質米の供給に努める。
- ウ 県産米の県内消費の拡大
県内消費者へ向けて県産米の情報提供を積極的に行い、県産米の県内消費拡大への理解を促し、地産地消等を推進する。

(3) 担い手育成対策

- ア 担い手の育成・支援
水田を中心とした土地利用型農業の担い手である認定農業者や集落営農組織による規模拡大や法人化等の経営体質強化へ向けた取組を積極的に支援する。
- イ 集落営農組織の経営体質強化
各集落営農組織の進捗状況に応じて、全組織を対象に法人化の支援を行うとともに、既に法人化した組織に対しても、引き続き、法人運営等に関してフォローアップを行う。
- ウ 農地集積の促進
農地中間管理機構を活用し、地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連担化に向けた取組を支援する。

(4) 経営所得安定対策の加入促進と新規需要米等戦略作物の作付拡大の推進

- ア 経営所得安定対策の加入促進
需要に即した生産の推進と食料自給率の向上を図るため、国、県、市町村、農業団体等の関係機関と連携し、生産者に対し生産量の目安について情報提供を行うとともに、経営所得安定対策の制度を周知し、加入促進を図る。
- イ 新規需要米等戦略作物の作付拡大の推進
制度を活用し、麦や新規需要米等の戦略作物の作付拡大により水田の有効活用を図る。
 - (ア) 飼料用米
JA組織で行う流通での取扱を基本とし、稲作農家と畜産農家による地域流通の取組も併せて推進する。また、本県二毛作に適した飼料用米専用品種（多収・特認品種）の導入支援を図る。
 - (イ) 米粉用米
米粉製品の販促活動により、米粉の需要拡大を図る。
 - (ウ) 飼料イネ（WCS用稲）
稲作農家と畜産農家とのマッチングを進めながら作付を推進するとともに、収穫調製機械の整備やコントラクター（農作業受託組織）の育成を図る。

(5) 種子の安定供給と種子生産者の確保

- 安定した稲生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。種子生産体制の強化・健全化に努めるとともに、新規種子生産者を確保し、種子の安定生産を図る。

4 関連施策

- ・農業経営力向上事業（県単）
- ・ぐんま型水田フル活用推進事業（県単）

- ・経営所得安定対策等（国庫）
- ・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
- ・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）
- ・新基本計画実装・農業構造転換支援事業（国庫）

参考 群馬県稲作の現状及び課題

<現状>

- 稲作は複合経営の一部門として、小規模で栽培されることが多い
- 平坦地は米麦二毛作体系が主体
- 水田農業の担い手が不足
- 生産コストの上昇
- 気象の影響等により米の品質が低下
- 農地利用集積、作業受委託の遅れ
- 共同乾燥調製貯蔵施設の老朽化

・令和7年産水稻作付面積及び収穫量【子実用】

作付面積：15,000ha（全国比1.05%）

生産量：75,600t（全国比0.97%）

作況単収指数：101（全国102）

1等比率：71.9%（全国平均75.5%） 令和7年12月31日現在

・米の食味ランキング（一般財団法人 日本穀物検定協会）

	R7産	R6産	R5産	R4産	R3産	R2産	R元産	H30産
北毛(コシヒカリ)：	A	A'	A	A	A	特A	A	A
中毛(ゆめまつり)：	A'	A	A	A	A'	A'	A'	A'
東毛(あさひの夢)：	A'	A	A	A	A'	A'	A'	A'

・新規需要米等の生産状況（面積）

(ha)

年 度	29	30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
米粉用米	227	324	337	325	369	372	168	213	120
飼料用米	1,541	1,243	1,003	959	1321	1,575	1,661	1,018	242
WCS 用稲	555	519	528	514	539	584	621	645	557
小 計(a)	2,323	2,086	1,868	1,798	2,229	2,531	2,450	1,876	919
加工用米(b)	1,390	1,480	1,473	1,309	1,350	1,439	1,389	1,355	206
合 計(a+b)	3,713	3,566	3,341	3,107	3,579	3,970	3,839	3,231	1,125

<課題>

- 水田農業の担い手確保
- 収益の向上
 - ・再生産につながる適正価格の維持
（需要に応じた米づくり、需要喚起による消費拡大）
 - ・生産性の向上
（優良種子の確保、ICT等の高度先端技術の普及、農地集積やほ場区画整理）
- 高温登熟障害による収量、品質の低下
（高温耐性品種の選定と作付拡大、基本技術の励行による収量・品質の確保）
- 生産基盤の強化
（農業機械、共同利用施設等の再整備）
- 持続的な水田活用
（耕畜連携による堆肥、飼料作物、わら等の資源循環）

5 令和7年産 水稻生育基本調査結果（早植）

東部地域研究センター

【早植栽培「あさひの夢」の生育経過概要】

移植後20日調査では草丈は平年並、茎数はやや上回ったが、40日調査では草丈が平年より低く、茎数も少なかった。平年に比べ高温で経過していたが、幼穂形成始期は平年より1日早まるにとどまり、8月第2半旬～第3半旬にかけては天候不順となったため、出穂期は平年より1日遅れた。成熟期については登熟期間が高温で経過したため、平年より5日早まった。稈長は短く、穂長は概ね平年並であった。収量構成要素の m^2 当全粒数、玄米千粒重、登熟歩合が平年より僅かに下回ったため、 m^2 当玄米重（収量）は平年比95%となった。外観品質は白未熟粒等により、9.0（規格外相当）であった。

注）平年は奨励品種決定調査過去10年の平均値との比較。ただし、幼穂形成始期、収量構成要素、収量は過去5年の平均値との比較。

1 耕種方法

（1）試験場所：館林市当郷町 農業技術センター東部地域研究センター内

（2）土壌条件：灰色低地土

（3）供試品種：あさひの夢

（4）耕種概要

①育苗 様式：箱育苗（ビニールプール）

播種日：5月13日

播種量：80g/箱（乾籾）

施肥量：覆土 N:0.4 P₂O₅:0.8 K₂O:0.6（くみあい合成培土3号）
：床土 N:0.8 P₂O₅:0.8 K₂O:0.8（こめパワーマットD）

②本田 面積：5.8 m^2 、3反復

栽植密度：18.5本/ m^2 （条間30cm、株間18cm）植付本数：1株4本

移植期：6月3日

施肥量：基肥(kg/a) N:0.6 (N-P₂O₅-K₂O:14-18-16) 5月28日実施

追肥(kg/a) N:0.2 (N-P₂O₅-K₂O:17-0-16) 7月31日実施

2 結果の概要

（1）気象経過（別紙 気象経過）

①気温

育苗期間の平均気温は平年差▲0.2℃、移植後～幼穂形成期始期の期間は平年差+2.9℃、幼穂形成期～出穂期の期間は平年差+1.6℃、出穂期後～成熟期の期間は平年差+2.8℃であった。

月別の平均気温は、5月は18.8℃で平年差▲0.1℃、6月は24.9℃で平年差+2.5℃、7月は28.9℃で平年差+2.8℃、8月は29.7℃で平年差+2.4℃、9月は25.9℃で平年差+2.5℃であった。生育期間全体の5月～9月の平均気温は25.6℃で平年差+2.0℃となった。

②降水量

本年の梅雨入りは5月22日頃で平年より19日早く、梅雨明けは6月28日頃で平年より20日早かった。育苗期間の降水量は110.5mmで平年比127%、移植後～幼穂形成始期の期間は258.0mmで平年比94%、幼穂形成期～出穂期の期間は45.0mmで平年比49%、出穂期後～成熟期の期間は157.5mmで平年比75%であった。

月別の降水量は、5月は186.5mmで平年比163%、6月は110.5mmで平年比78%、7月は171.0mmで平年比108%、8月は57.5mmで平年比40%、9月は146.5mmで平年比87%であった。生育期間全体の5月～9月の降水量は672.0mmで平年比92%となった。

③日照時間

育苗期間の日照時間は87.5時間で平年比64%、移植後～幼穂形成始期の期間は351.5時間で平年比149%、幼穂形成期～出穂期の期間は170.4時間で平年比125%、出穂期後～成熟期の期間は258.8時間で平年比147%であった。

月別の日照時間は、5月は149.1時間で平年比79%、6月は179.5時間で137%、7月は243.0時間で159%、8月は236.0時間で134%、9月は169.4時間で127%であった。生育期間全体の5月～9月の日照時間は977.0時間で平年比125%となった。

注）館林地域気象観測所（アメダス）データを使用。平年値は1991年～2020年。

（2）生育および収量（表1、2 図1、2）

移植苗の主稈葉数は3.0葉（+0.4葉）、草丈は17.0cm（+1.8cm）であった。移植後20日調査では、草丈32.1cm（▲0.3cm）、 m^2 当茎数は367本（104%）であった。移植後40日

調査では、草丈は63.3 cmで(▲3.4 cm)、m²当茎数は491本(80%)であった。幼穂形成始期は7月26日(▲1日)、出穂期は8月18日(+1日)、成熟期は9月24日(▲5日)で、登熟に要した日数は37日(▲6日)であった。稈長は72.5 cm(▲4.0 cm)、穂長は21.2 cm(+0.4 cm)であった。

収量構成要素のm²当全穂数は359本(104%)、1穂当全粒数は70.9粒(96%)、m²当全粒数は25,413粒(99%)であった。粒厚分布(重量比)は、2.1 mm以上粒は33.9%(平年値40.0%)、2.0 mm以上粒は87.9%(平年値85.4%)、1.9 mm以上粒は95.2%(平年値95.1%)、1.8 mm以上粒は97.5%(平年値98.1%)であった。玄米千粒重は22.1 g(98%)、登熟歩合は83.8%(平年値85.3%)、m²当玄米重は471 g(95%)であった。病害虫の発生については、紋枯病の発生が見られた。外観品質は、白未熟粒等により9.0(規格外相当)であった。

注) ()内は奨励品種決定調査過去10年の平均値との比較または平均値を示す。ただし、幼穂形成始期、収量構成要素、収量は過去5年の平均値との比較または平均値である。▲印は月日に関しては早まったことを意味し、他の項目は減少を意味する。

表1 水稻生育基本調査結果

試 験 の 特 徴			栽植密度18.5株/㎡、1株4本植					
			5月13日播種		〔施肥量〕			
			6月3日移植		基肥N:0.6kg/a(化成486号)			
			育苗日数21日		追肥N:0.2kg/a(化成NK17)			
品種名 あさひの夢			実測値			相対比較値		
項 目			比較年次	本年	前年	平年	前年	平年
生育 状 況	移 植 時	主稈葉数 (葉)	3.0	3.0	2.6	0.0 葉	0.4 葉	
		草 丈 (cm)	17.0	16.9	15.2	0.1 cm	1.8 cm	
	移植後20日	草 丈 (cm)	32.1	37.0	32.4	▲ 4.9 cm	▲ 0.3 cm	
		茎 数 (本/㎡)	367	459	353	80 %	104 %	
	移植後40日	草 丈 (cm)	63.3	76.7	66.7	▲ 13.5 cm	▲ 3.4 cm	
		茎 数 (本/㎡)	491	501	610	98 %	80 %	
	幼穂形成始期 (月/日)		7/26	7/25	7/27	1 日	▲ 1 日	
	出 穂 期 (月/日)		8/18	8/16	8/17	2 日	1 日	
	成 熟 期 (月/日)		9/24	9/23	9/29	1 日	▲ 5 日	
	登 熟 日 数 (日)		37	38	43	▲ 1 日	▲ 6 日	
	稈 長 (cm)		72.5	77.0	76.5	▲ 4.5 cm	▲ 4.0 cm	
	穂 長 (cm)		21.2	20.8	20.8	0.3 cm	0.4 cm	
	収量 構 成 要 素	㎡当全 穂 数 (本)	359	333	345	108 %	104 %	
		粒数	1 穂当全 粳 数 (粒)	70.9	72.7	74.0	97 %	96 %
㎡ 当 全 粳 数 (×100粒)			254	242	256	105 %	99 %	
登熟		玄米千粒重 (g)	22.1	23.3	22.7	95 %	98 %	
		千 粳 当 収 量 (g)	18.5	19.8	19.3	93 %	96 %	
	登 熟 歩 合 (%)	83.8	85.0	85.3	▲ 1.2	▲ 1.5		
収 量	㎡ 当 玄 米 重 (g)	471	480	494	98 %	95 %		
	精玄米重歩合 (%)	97.1	97.6	97.9	▲ 0.5	▲ 0.8		
蛋白質含有率 (%)			7.1	7.0	7.6	0.1	▲ 0.5	
外 観 品 質 (1－9)			9.0	5.0	4.0	－	－	
倒 伏 程 度 (0－5)			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
病害虫の発生状況			紋枯病:中	紋枯病:少 イネカメムシ発生		－	－	

注1 生育基本調査「あさひの夢」は令和2年から開始。

注2 奨励品種決定調査(早植)過去10ヶ年の平均値を平年値とする。ただし、幼穂形成始期、収量構成要素、収量は過去5年の平均値。

注3 株間について令和元年まで15cm(22.2株/m²)、令和2年~令和3年は20cm(16.7株/m²)、令和4年からは18cm(18.5株/m²)で実施。

注4 対差(比)の▲印は、月日に関しては早まったことを意味し、他の項目に関しては減少を意味する。

注5 収量、千粒重は粒厚1.8mm以上で、水分15.0%に補正。

注6 外観品質は9段階評価 1等相当:1-3 2等相当:4-6 3等相当:7-8 規格外相当:9

注7 令和6年の外観品質は、イネカメムシによる斑点米を取り除き評価した数値。

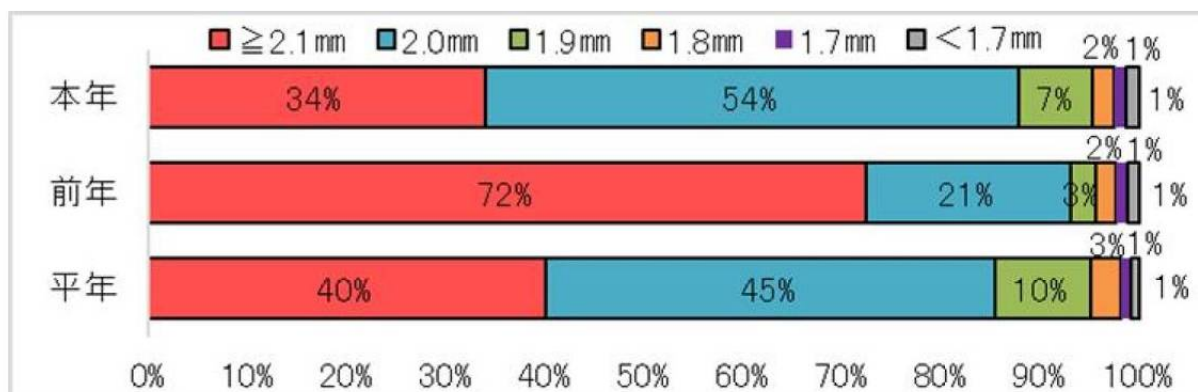


図1 粒厚分布（重量比）

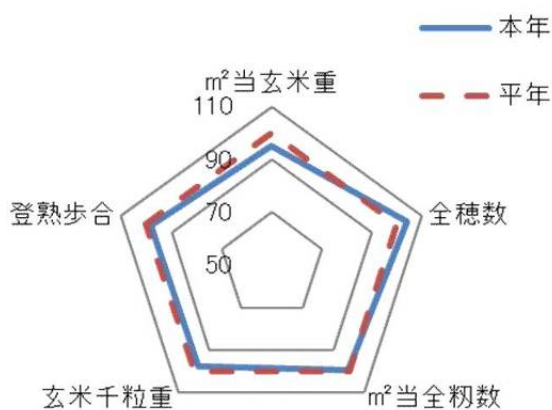


図2 収量構成要素（相対値比較）

表2 玄米品質

	外観品質 (1-9)	穀粒判別機						
		整粒 (%)	未熟粒 (%)	(うち白未熟粒) (%)	被害粒 (%)	死米 (%)	着色粒 (%)	胴割粒 (%)
本年	9.0	37.6	44.6	27.8	1.2	16.5	0.0	0.1
前年	5.0	62.3	35.7	19.9	0.7	1.1	0.2	0.0
平年	4.0	69.7	25.6	10.0	1.3	3.2	0.1	0.2

注1 平年は過去10ヶ年の平均値。

注2 穀粒判別機による測定は平成27年～平成29年はKett製RN-300、平成30年～令和3年、5年、7年はサタケ製RGQI90A、令和4年、6年はサタケ製RGQI100Bを使用。

注3 令和6年の穀粒判別機の数値は、イネカメムシによる斑点米を取り除き測定した。

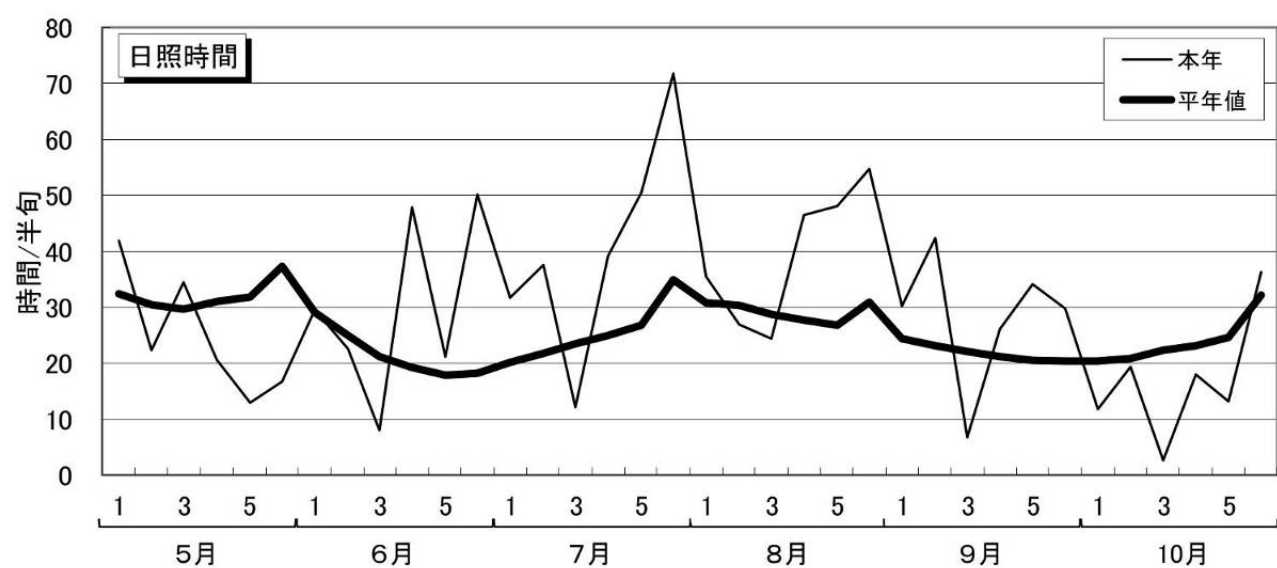
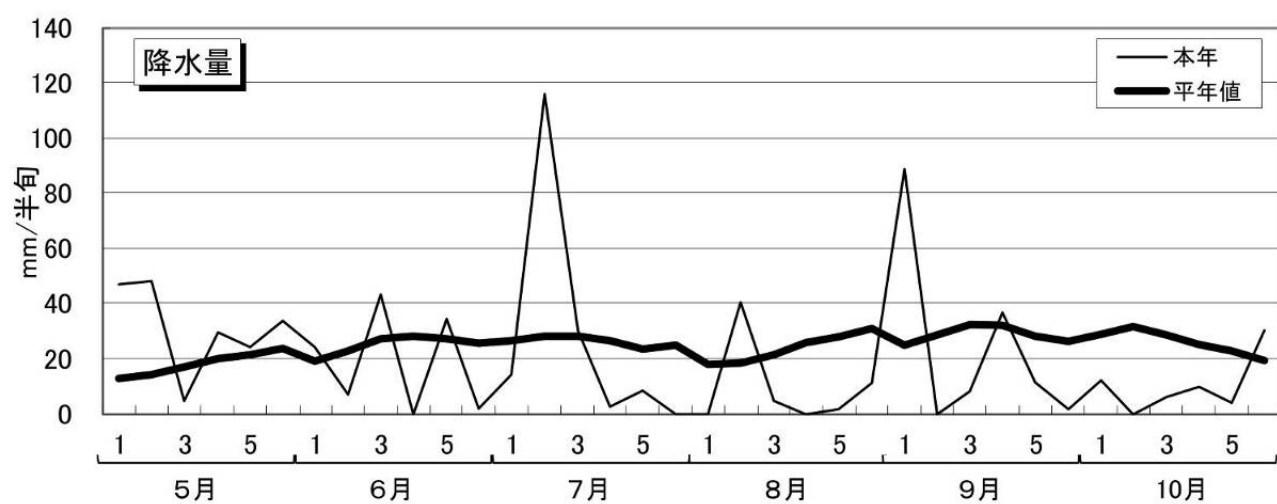
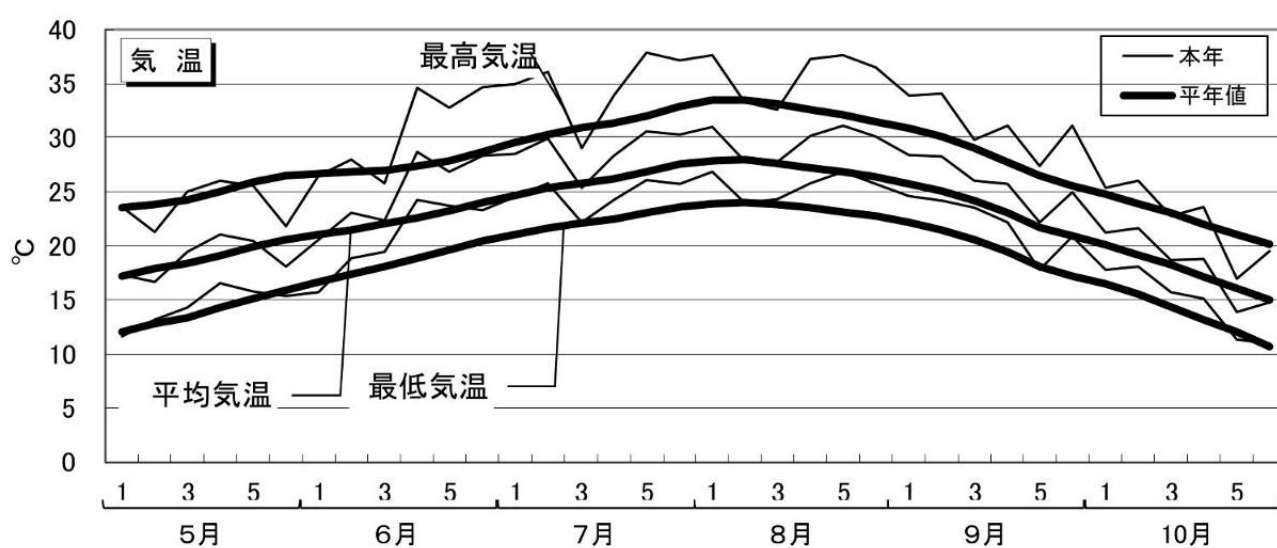
注4 外観品質は、1～3（1等相当）、4～6（2等相当）、7～8（3等相当）、9（規格外相当）

気象経過(令和7年5月～10月)

		平均気温					最高気温					最低気温					降水量					日照時間				
月	半旬	本年	前年	平年値	前年差	平年差	本年	前年	平年値	前年差	平年差	本年	前年	平年値	前年差	平年差	本年	前年	平年値	前年比	平年比	本年	前年	平年値	前年比	平年比
5月	1	17.3	18.3	17.2	▲1.0	0.1	23.6	26.0	23.5	▲2.4	0.1	11.6	11.3	12.0	0.3	▲0.4	47.0	19.0	12.8	247%	367%	41.9	49.1	32.4	85%	129%
		16.7	17.1	17.9	▲0.4	▲1.2	21.3	22.9	23.8	▲1.6	▲2.5	13.1	11.8	12.8	1.3	0.3	48.0	35.5	14.1	135%	340%	22.3	20.6	30.5	108%	73%
	3	19.4	18.5	18.4	0.9	1.0	25.0	24.4	24.2	0.6	0.8	14.2	12.6	13.4	1.6	0.8	4.5	34.0	16.9	13%	27%	34.5	34.3	29.7	101%	116%
		21.0	20.2	19.1	0.8	1.9	26.0	26.0	25.0	0.0	1.0	16.6	15.4	14.2	1.2	2.4	29.5	16.5	20.0	179%	148%	20.7	31.7	31.0	65%	67%
	5	20.4	22.1	19.9	▲1.7	0.5	25.5	28.4	25.9	▲2.9	▲0.4	15.8	16.7	15.1	▲0.9	0.7	24.0	0.5	21.5	4800%	112%	12.9	44.8	31.9	29%	40%
		18.1	21.5	20.6	▲3.4	▲2.5	21.8	26.3	26.4	▲4.5	▲4.6	15.3	17.8	15.9	▲2.5	▲0.6	33.5	28.0	23.8	120%	141%	16.8	18.4	37.4	91%	45%
6月	1	20.5	19.5	21.1	1.0	▲0.6	26.5	25.4	26.7	1.1	▲0.2	15.7	15.7	16.7	0.0	▲1.0	24.0	29.0	19.1	83%	126%	29.6	39.8	29.1	74%	102%
		23.0	22.3	21.5	0.7	1.5	28.0	27.2	26.8	0.8	1.2	18.9	18.5	17.4	0.4	1.5	7.0	8.5	22.7	82%	31%	22.6	24.3	25.0	93%	90%
	3	22.3	25.4	22.0	▲3.1	0.3	25.8	32.3	27.0	▲6.5	▲1.2	19.4	19.9	18.1	▲0.5	1.3	43.0	0.0	26.9	—	160%	8.1	48.9	21.2	17%	38%
		28.7	24.2	22.6	4.5	6.1	34.6	30.3	27.4	4.3	7.2	24.2	19.4	18.9	4.8	5.3	0.0	47.0	28.4	0%	0%	47.9	37.2	19.3	129%	248%
	5	26.9	24.6	23.2	2.3	3.7	32.7	29.2	27.8	3.5	4.9	23.7	20.1	19.6	3.6	4.1	34.5	26.0	27.0	133%	128%	21.2	12.8	17.9	166%	118%
		28.3	25.2	24.0	3.1	4.3	34.7	28.9	28.7	5.8	6.0	23.3	22.6	20.4	0.7	2.9	2.0	26.0	25.4	8%	8%	50.1	16.6	18.2	302%	275%
7月	1	28.5	28.2	24.7	0.3	3.8	35.0	33.3	29.6	1.7	5.4	24.5	24.1	21.1	0.4	3.4	14.0	14.5	26.6	97%	53%	31.8	34.2	20.1	93%	158%
		29.9	29.5	25.3	0.4	4.6	36.1	34.1	30.3	2.0	5.8	25.8	25.8	21.6	0.0	4.2	116.0	2.5	28.2	4640%	411%	37.5	21.5	21.8	174%	172%
	3	25.3	25.0	25.8	0.3	▲0.5	29.0	27.8	30.9	1.2	▲1.9	22.2	22.9	22.1	▲0.7	0.1	30.0	17.5	28.2	171%	106%	12.2	8.9	23.5	137%	52%
		28.3	27.4	26.2	0.9	2.1	33.9	32.2	31.4	1.7	2.5	24.2	23.7	22.5	0.5	1.7	2.5	32.5	26.3	8%	10%	39.2	23.0	25.0	170%	157%
	5	30.6	30.4	26.8	0.2	3.8	37.8	37.2	32.0	0.6	5.8	26.1	25.6	23.0	0.5	3.1	8.5	16.0	23.5	53%	36%	50.5	48.7	26.8	104%	188%
		30.3	31.1	27.5	▲0.8	2.8	37.1	37.7	32.9	▲0.6	4.2	25.7	26.7	23.6	▲1.0	2.1	0.0	1.5	24.7	0%	0%	71.8	45.4	34.9	158%	206%
8月	1	31.0	30.1	27.8	0.9	3.2	37.6	35.9	33.5	1.7	4.1	26.8	25.9	23.9	0.9	2.9	0.0	0.0	17.8	—	0%	35.5	51.6	30.8	69%	115%
		27.8	29.4	27.9	▲1.6	▲0.1	33.3	35.3	33.5	▲2.0	▲0.2	24.0	25.6	24.0	▲1.6	0.0	40.5	68.0	18.1	60%	224%	26.9	31.1	30.3	86%	89%
	3	27.7	31.0	27.6	▲3.3	0.1	32.6	36.8	33.1	▲4.2	▲0.5	24.3	26.9	23.8	▲2.6	0.5	4.5	0.0	21.5	—	21%	24.4	37.3	28.7	65%	85%
		30.2	29.3	27.2	0.9	3.0	37.3	35.1	32.6	2.2	4.7	25.8	25.7	23.5	0.1	2.3	0.0	25.0	25.7	0%	0%	46.4	31.0	27.7	150%	168%
	5	31.1	28.5	26.8	2.6	4.3	37.6	34.1	32.1	3.5	5.5	26.8	25.0	23.1	1.8	3.7	1.5	20.5	27.9	7%	5%	48.1	23.0	26.8	209%	179%
		30.1	27.6	26.3	2.5	3.8	36.5	32.1	31.5	4.4	5.0	25.7	24.9	22.7	0.8	3.0	11.0	137.0	31.0	8%	35%	54.7	12.3	30.9	445%	177%
9月	1	28.4	27.0	25.7	1.4	2.7	33.9	31.6	30.8	2.3	3.1	24.6	23.6	22.2	1.0	2.4	88.5	8.5	24.8	1041%	357%	30.2	34.0	24.4	89%	124%
		28.2	28.7	25.1	▲0.5	3.1	34.1	34.7	30.0	▲0.6	4.1	24.1	24.6	21.5	▲0.5	2.6	0.0	31.0	28.5	0%	0%	42.4	46.7	23.2	91%	183%
	3	26.0	29.5	24.1	▲3.5	1.9	29.8	35.8	29.0	▲6.0	0.8	23.5	25.8	20.6	▲2.3	2.9	8.0	59.0	32.4	14%	25%	6.7	41.3	22.1	16%	30%
		25.7	27.8	23.0	▲2.1	2.7	31.1	32.9	27.7	▲1.8	3.4	22.2	24.2	19.4	▲2.0	2.8	37.0	16.5	31.9	224%	116%	26.1	24.1	21.2	108%	123%
	5	22.2	22.6	21.7	▲0.4	0.5	27.4	26.8	26.4	0.6	1.0	17.8	19.0	18.1	▲1.2	▲0.3	11.5	3.0	28.2	383%	41%	34.2	6.4	20.6	534%	166%
		24.9	23.7	20.9	1.2	4.0	31.1	27.6	25.5	3.5	5.6	20.8	20.9	17.2	▲0.1	3.6	1.5	3.5	26.1	43%	6%	29.8	13.5	20.5	221%	145%
10月	1	21.2	22.9	20.1	▲1.7	1.1	25.3	26.5	24.8	▲1.2	0.5	17.8	19.4	16.5	▲1.6	1.3	12.0	11.5	28.9	104%	42%	11.9	15.0	20.5	79%	58%
		21.6	19.4	19.2	2.2	2.4	26.0	23.0	23.9	3.0	2.1	18.1	16.6	15.6	1.5	2.5	0.0	61.0	31.4	0%	0%	19.4	1.4	20.9	1386%	93%
	3	18.6	20.2	18.2	▲1.6	0.4	22.7	26.1	23.0	▲3.4	▲0.3	15.7	15.0	14.4	0.7	1.3	6.0	0.0	28.8	—	21%	2.6	47.8	22.3	5%	12%
		18.8	21.0	17.1	▲2.2	1.7	23.6	24.9	21.9	▲1.3	1.7	15.1	17.5	13.1	▲2.4	2.0	9.5	3.5	25.3	271%	38%	17.9	14.6	23.2	123%	77%
	5	13.9	18.8	16.0	▲4.9	▲1.1	17.0	23.1	21.0	▲6.1	▲4.0	11.3	14.6	12.0	▲3.3	▲0.7	4.0	3.0	22.6	133%	18%	13.2	16.2	24.6	81%	54%
		14.8	17.0	15.0	▲2.2	▲0.2	19.5	21.3	20.1	▲1.8	▲0.6	11.0	13.2	10.7	▲2.2	0.3	30.0	34.5	19.4	87%	155%	36.3	15.8	32.2	230%	113%
5月		18.8	19.7	18.9	▲0.9	▲0.1	23.8	25.7	24.8	▲1.9	▲1.0	14.5	14.4	14.0	0.1	0.5	186.5	133.5	114.2	140%	163%	149.1	198.9	189.6	75%	79%
6月		24.9	23.5	22.4	1.4	2.5	30.4	28.9	27.4	1.5	3.0	20.9	19.4	18.5	1.5	2.4	110.5	136.5	142.3	81%	78%	179.5	179.6	131.1	100%	137%
7月		28.9	28.7	26.1	0.2	2.8	34.9	33.8	31.2	1.1	3.7	24.8	24.8	22.4	0.0	2.4	171.0	84.5	158.6	202%	108%	243.0	181.7	152.7	134%	159%
8月		29.7	29.3	27.3	0.4	2.4	35.8	34.8	32.7	1.0	3.1	25.6	25.6	23.5	0.0	2.1	57.5	250.5	143.9	23%	40%	236.0	186.3	175.5	127%	134%
9月		25.9	26.6	23.4	▲0.7	2.5	31.2	31.6	28.3	▲0.4	2.9	22.2	23.0	19.8	▲0.8	2.4	146.5	121.5	167.9	121%	87%	169.4	166.0	133.5	102%	127%
10月		18.0	19.8	17.6	▲1.8	0.4	22.3	24.1	22.4	▲1.8	▲0.1	14.7	16.0	13.7	▲1.3	1.0	61.5	113.5	160.6	54%	38%	101.3	110.8	142.4	91%	71%
5—9月		25.6	25.6	23.6	0.1	2.0	31.2	31.0	28.9	0.3	2.3	21.6	21.4	19.6	0.1	1.9	672.0	726.5	726.9	92%	92%	977.0	912.5	782.4	107%	125%
5—10月		24.4	24.6	22.6	▲0.2	1.7	29.7	29.8	27.8	▲0.1	1.9	20.4	20.5	18.7	▲0.1	1.8	733.5	840.0	887.5	87%	83%	1078.3	1023.3	924.8	105%	117%
育苗期間 (R7 5/13～6/3)		19.7	20.5	19.9	▲0.8	▲0.2	24.6	26.0	25.7	▲1.4	▲1.1	15.6	16.0	15.1	▲0.4	0.5	110.5	102.5	87.0	108%	127%	87.5	132.8	136.1	66%	64%
移植後～幼穂形成始期 (R7 6/4～7/26)		27.1	26.1	24.2	1.0	2.9	32.8	31.2	29.1	1.6	3.6	23.0	22.1	20.4	0.9	2.6	258.0	196.5	275.5	131%	94%	351.5	303.5	235.6	116%	149%
幼穂形成期～出穂期 (R7 7/27～8/18)		29.3	30.4	27.7	▲1.2	1.6	35.3	36.3	33.2	▲1.0	2.1	25.3	26.4	23.8	▲1.1	1.5	45.0	74.0	92.7	61%	49%	170.4	177.0	135.8	96%	125%
出穂期後～成熟期 (R7 8/19～9/24)		27.8	27.6	24.9	0.1	2.8	33.4	32.8	29.9	0.6	3.5	23.8	24.1	21.4	▲0.3	2.4	157.5	295.5	210.1	53%	75%	258.8	199.1	176.1	130%	147%

注) 館林地域気象観測所(アメダス)データを使用。平年値は1991年～2020年。

気象経過(令和7年5月～10月)



注) 館林地域気象観測所 (アメダス) データを使用。平年値は1991～2020年。

6 水田面積の推移

区分	群馬県					全国				
	耕地面積	水田			水田率	耕地面積	水田			水田率
	(a) ha	本 地 ha	畦 畔 ha	計 (b) ha	(b/a) %	(a) 千ha	本 地 千ha	畦 畔 千ha	計 (b) 千ha	(b/a) %
S 30	117,623			34,385	32.5					
35	121,495	39,357	2,963	42,320	34.8	6,017	3,146	236	3,381	55.7
40	120,400	39,700	2,990	42,700	35.5	6,004	3,154	236	3,391	56.5
44	116,200	40,400	2,970	43,400	37.3	5,852	3,204	237	3,441	58.8
45	114,100	39,700	2,900	42,600	37.3	5,796	3,180	234	3,415	58.9
46	111,400	38,300	2,810	41,100	36.9	5,741	3,134	230	3,364	58.6
47	109,800	37,500	2,760	40,300	36.7	5,683	3,088	224	3,312	58.3
48	108,700	37,100	2,730	39,800	36.6	5,647	3,053	221	3,274	58.0
49	107,400	36,700	2,690	39,400	36.7	5,615	2,994	215	3,209	57.2
50	106,500	36,500	2,670	39,200	36.8	5,572	2,959	212	3,171	56.9
55	103,100	35,800	2,600	38,400	37.2	5,461	1,858	197	3,055	55.9
56	102,100	35,300	2,570	37,900	37.1	5,442	2,836	195	3,031	55.7
57	101,000	34,800	2,540	37,300	36.9	5,426	2,817	193	3,010	55.5
58	100,700	34,600	2,520	37,100	36.8	5,411	2,798	191	2,989	55.2
59	100,200	34,200	2,480	36,700	36.6	5,396	2,783	188	2,971	55.1
60	99,500	34,000	2,470	36,500	36.7	5,379	2,766	186	2,952	54.9
61	98,100	33,600	2,280	35,900	36.6	5,358	2,748	183	2,931	54.7
62	97,300	33,400	2,270	35,700	36.7	5,340	2,729	181	2,910	54.5
63	96,500	33,100	2,260	35,400	36.7	5,317	2,710	179	2,889	54.3
H1	95,200	32,800	2,230	35,000	36.8	5,279	2,692	177	2,868	54.3
2	93,900	32,500	2,210	34,700	37.0	5,243	2,672	175	2,846	54.3
3	92,700	32,000	2,180	34,200	36.9	5,204	2,652	173	2,825	54.3
4	91,900	31,800	2,170	33,990	36.9	5,165	2,631	171	2,802	54.2
5	90,600	31,300	2,150	33,400	36.9	5,124	2,612	170	2,782	54.3
6	89,500	31,000	2,130	33,100	37.0	5,083	2,596	168	2,764	54.4
7	88,700	30,800	2,120	32,900	37.1	5,038	2,579	166	2,745	54.5
8	87,900	30,400	2,090	32,500	37.0	4,994	2,560	164	2,724	54.5
9	86,700	30,100	2,080	32,200	37.1	4,949	2,539	162	2,701	54.6
10	85,700	29,900	2,060	32,000	37.3	4,905	2,519	160	2,679	54.6
11	84,700	29,700	2,050	31,700	37.4	4,866	2,510	158	2,659	54.6
12	83,800	29,500	2,030	31,500	37.6	4,830	2,485	156	2,641	54.7
13	82,900	29,300	2,010	31,300	37.8	4,794	2,469	155	2,624	54.7
14	81,700	28,900	1,980	30,880	37.8	4,762	2,454	153	2,607	54.4
15	80,400	28,400	1,950	30,300	37.7	4,736	2,440	152	2,592	54.7
16	79,200	27,900	1,930	29,800	37.6	4,714	2,425	151	2,575	54.6
17	78,500	27,500	1,910	29,400	37.5	4,692	2,410	146	2,556	54.5
18	77,900	27,300	1,900	29,200	37.5	4,671	2,398	145	2,543	54.4
19	77,400	27,100	1,880	29,000	37.5	4,650	2,386	143	2,530	54.4
20	76,900	26,800	1,870	28,700	37.3	4,628	2,373	143	2,516	54.4
21	76,300	26,600	1,850	28,400	37.2	4,609	2,364	142	2,506	54.4
22	75,400	26,300	1,820	28,100	37.3	4,593	2,355	141	2,496	54.3
23	74,500	26,000	1,790	27,800	37.3	4,561	2,334	140	2,474	54.2
24	73,900	25,800	1,770	27,570	37.3	4,549	2,329	140	2,469	54.3
25	73,300	25,700	1,760	27,400	37.4	4,537	2,326	140	2,465	54.3
26	72,600	25,500	1,750	27,200	37.5	4,518	2,320	138	2,458	54.4
27	71,900	25,300	1,740	27,100	37.7	4,496	2,310	136	2,446	54.4
28	70,900	25,100	1,720	26,800	37.8	4,471	2,296	135	2,432	54.4
29	69,500	24,700	1,680	26,400	38.0	4,444	2,284	134	2,418	54.4
30	68,400	24,400	1,640	26,100	38.2	4,420	2,273	132	2,405	54.4
R1	67,600	24,100	1,630	25,800	38.2	4,397	2,261	132	2,393	54.4
R2	66,800	23,700	1,600	25,300	37.9	4,372	2,248	131	2,379	54.4
R3	65,900	23,100	1,580	24,700	37.5	4,349	2,236	130	2,366	54.4
R4	64,900	22,700	1,550	24,200	37.3	4,325	2,223	129	2,352	54.4
R5	63,800	22,200	1,520	23,800	37.3	4,297	2,207	128	2,335	54.3
R6	63,200	22,000	1,500	23,500	37.2	4,272	2,192	127	2,319	54.3
R7	62,500	21,600	1,470	23,100	37.0	4,239	2,174	126	2,300	54.3

注) 農林水産省「耕地面積」による。

7 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移

(1) 群馬県

項目	水陸稲合計		水 稲					陸 稲				
年次	作付面積	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	平年収量	作況指数	作付面積	10a当たり収量	収穫量	平年収量	作況指数
	ha	t	ha	kg	t	kg		ha	kg	t	kg	
30	52,958	183,495	35,721	394	140,580	368	107	15,312	231	35,340	171	135
35	53,628	183,660	39,172	393	154,100	366	107	14,479	204	29,600	185	111
40	50,100	155,800	39,600	351	139,000	383	92	10,500	160	16,800	203	79
45	39,900	148,600	36,000	390	140,400	373	105	3,870	211	8,170	182	116
50	34,300	145,400	33,000	434	143,200	397	109	1,300	166	2,160	191	87
55	28,800	104,700	28,100	368	103,400	411	90	650	197	1,280	187	105
60	27,900	128,900	27,300	468	127,800	415	113	600	178	1,070	183	97
61	27,300	123,200	26,700	456	121,800	419	109	639	224	1,430	183	122
62	24,700	115,700	24,000	475	114,000	423	112	697	242	1,690	183	132
63	24,200	95,300	23,400	401	93,800	429	93	803	184	1,480	187	98
H 1	23,700	105,100	22,900	452	103,500	431	105	791	206	1,630	191	108
2	23,200	107,700	22,500	474	106,700	436	109	706	137	967	194	71
3	22,300	100,500	21,800	455	99,200	441	103	576	231	1,330	194	119
4	22,700	107,700	22,200	482	107,000	446	108	466	156	727	197	79
5	22,600	88,500	22,200	396	87,900	452	88	409	150	614	197	76
6	24,500	124,000	24,100	512	123,400	452	113	394	146	575	197	74
7	23,300	116,300	23,000	503	115,700	456	110	372	169	629	197	86
8	21,500	109,000	21,200	512	108,500	460	111	324	141	457	190	74
9	21,100	105,000	20,900	500	104,500	468	107	224	222	497	166	134
10	19,700	87,600	19,500	447	87,200	476	94	196	216	423	-	-
11	19,700	96,400	19,500	493	96,100	484	102	154	209	322	-	-
12	19,500	91,800	19,400	472	91,600	491	96	130	180	234	-	-
13	19,100	90,600	19,000	476	90,400	491	97	119	170	201	-	-
14	18,900	91,900	18,800	488	91,700	492	99	106	171	181	-	-
15	18,900	87,200	18,800	463	87,000	492	94	98	185	181	-	-
16	19,300	99,100	19,200	515	98,900	492	105	93	163	152	-	-
17	19,500	95,800	19,400	493	95,600	494	100	88	186	164	-	-
18	19,100	89,600	19,000	471	89,500	494	95	57	161	92	-	90
19	18,900	90,000	18,800	478	89,900	494	97	48	160	77	-	92
20	18,400	91,800	18,300	501	91,700	494	101	34	173	59	-	102
21	18,200	91,100	18,200	500	91,000	494	101	27	192	52	-	112
22	18,100	73,100	18,000	406	73,100	494	82	25	144	36	-	83
23	17,700	88,200	17,600	501	88,200	494	101	20	175	35	-	104
24	17,800	90,400	17,800	508	90,400	494	103	20	152	30	-	89
25	17,600	89,600	17,600	509	89,600	494	103	17	159	27	-	97
26	17,300	86,500	17,300	500	86,500	494	101	13	162	21	-	99
27	15,800	77,300	15,800	489	77,300	479	98	11	163	18	-	99
28	15,400	77,800	15,400	505	77,800	479	102	7	157	11	-	97
29	15,500	77,300	15,500	499	77,300	479	101	3	160	5	-	101
30	15,600	78,900	15,600	506	78,900	479	102	-	-	-	-	-
R 1	15,500	75,300	15,500	486	75,300	482	98	-	-	-	-	-
R 2	15,500	76,900	15,500	496	76,900	482	100	-	-	-	-	-
R 3	14,900	73,300	14,900	492	73,300	482	99	-	-	-	-	-
R 4	14,400	72,300	14,400	502	72,300	482	101	-	-	-	-	-
R 5	13,900	70,100	13,900	504	70,100	482	102	-	-	-	-	-
R 6	14,300	71,400	14,300	499	71,400	482	100	-	-	-	-	-
R 7	15,000	75,600	15,000	504	75,600	483	101	-	-	-	-	-

- (注) 1. 農林水産省「水陸稲の収穫量」による。
2. H18以降の陸稲作況指数は、参考値（10a当たり平均収量対比）。
3. 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
4. 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米重量。
5. H27から平年収量及び作況指数は、実際に農家が使用しているふるい目幅で算出した数値。
群馬県は1.80mmのふるい目幅で算定。（26年産までは、1.70mmで算定。）
6. 群馬県陸稲の平成30年産からは統計資料無し
7. R7から作況指数は、作況単収指数

(2) 全国

項目	水陸稲合計		水 稲					陸 稲				
年次	作付 面積	収穫量	作付 面積	10a当 り収量	収穫量	平年 収量	作況 指数	作付 面積	10a当 り収量	収穫量	平年 収量	作況 指数
	千ha	千t	千ha	kg	千t	kg		千ha	kg	千t	kg	
30	3,222	12,385	3,045	396	12,073	335	118	177.2	175	311.6	-	-
35	3,308	12,858	3,124	401	12,539	380	108	184.0	173	319.9	-	-
※40	3,255	12,409	3,123	390	12,181	403	97	132.4	172	228.1	188	91
45	2,923	12,689	2,836	442	12,528	431	103	87.4	184	160.8	195	94
50	2,764	13,165	2,719	481	13,085	450	107	44.9	179	80.4	200	90
※55	2,377	9,751	2,350	412	9,692	471	87	27.7	215	58.6	202	106
60	2,342	11,662	2,318	501	11,613	481	104	23.6	206	48.5	205	100
61	2,303	11,647	2,303	508	11,592	484	105	22.5	244	54.8	206	118
62	2,146	10,627	2,123	498	10,571	487	102	23.0	243	56.0	209	116
63	2,110	9,935	2,087	474	9,888	490	97	22.8	205	46.8	211	97
H 1	2,097	10,347	2,076	496	10,297	492	101	21.6	229	49.5	214	107
2	2,074	10,499	2,055	509	10,463	494	103	18.9	189	35.7	216	88
※3	2,049	9,604	2,033	470	9,565	497	95	16.1	243	39.2	217	112
4	2,106	10,573	2,092	504	10,546	498	101	13.7	196	26.9	219	89
※5	2,139	7,834	2,139	369	7,811	499	74	12.4	183	22.7	221	83
6	2,212	11,981	2,212	544	11,691	499	109	12.3	160	19.7	223	72
7	2,118	10,748	2,106	509	10,724	501	102	11.6	209	24.3	219	95
8	1,977	10,344	1,967	525	10,328	502	105	9.4	166	15.7	220	75
9	1,953	10,025	1,944	515	10,004	504	102	8.6	243	20.9	208	117
10	1,801	8,960	1,793	499	8,939	507	98	8.0	256	20.6	209	122
11	1,788	9,175	1,780	515	9,159	512	101	7.4	214	16.0	209	102
12	1,770	9,490	1,763	537	9,472	518	104	7.0	256	18.1	211	121
13	1,706	9,057	1,700	532	9,048	518	103	6.4	144	9.2	211	68
14	1,688	8,889	1,683	527	8,876	522	101	5.6	225	12.5	211	106
※15	1,665	7,792	1,660	469	7,779	524	90	5.0	250	12.5	214	117
16	1,701	8,730	1,697	514	8,721	525	98	4.7	200	9.4	217	92
17	1,706	9,074	1,702	532	9,062	527	101	4.5	266	11.9	-	-
18	1,688	8,556	1,684	507	8,546	529	96	4.1	246	10.1	-	106
19	1,673	8,714	1,669	522	8,705	529	99	3.6	257	9.4	-	108
20	1,627	8,823	1,624	543	8,815	530	102	3.2	265	8.5	-	111
21	1,624	8,474	1,621	522	8,466	530	98	3.0	276	8.3	-	110
22	1,628	8,483	1,625	522	8,478	530	98	3.0	189	5.5	-	72
23	1,576	8,402	1,574	533	8,397	530	101	2.4	220	5.2	-	88
24	1,581	8,523	1,579	540	8,519	530	102	2.1	172	3.6	-	68
25	1,599	8,607	1,597	539	8,603	530	102	1.7	249	4.3	-	104
26	1,575	8,439	1,573	536	8,435	530	101	1.4	257	3.6	-	107
27	1,506	7,989	1,505	531	7,986	517	100	1.2	233	2.7	-	97
28	1,479	8,044	1,478	544	8,042	517	103	0.9	218	2.1	-	94
29	1,466	7,824	1,465	534	7,822	517	100	0.8	236	1.9	-	106
30	1,470	7,782	1,470	529	7,780	519	98	0.8	232	1.7	-	100
R 1	1,470	7,764	1,469	528	7,762	519	99	0.7	228	1.6	-	97
R 2	1,462	7,765	1,462	531	7,763	512	99	0.6	236	1.5	-	100
R 3	1,403	7,564	1,403	539	7,563	512	101	0.6	230	1.3	-	99
R 4	1,355	7,270	1,355	536	7,269	512	100	0.5	216	1.0	-	93
R 5	1,345	7,166	1,344	533	7,165	512	101	0.4	208	0.8	-	91
R 6	1,359	7,346	1,359	540	7,345	513	101	0.3	256	0.8	-	112
R 7	1,425	7,791	1,425	547	7,790	514	102	0.3	226	0.8	-	99

注) 1. 年次欄の※印は冷害年を示す。
2. 陸稲の作況指数は、10aあたり平均収量対比の値

8 令和7年産市町村別水稻作付面積及び収量・収穫量

区 分	水 稻 (令和7年産) a			水 稻 (令和6年産) b			同左増減 a-b		
	作付 面積	10 a 当り 収量	収穫量	作付 面積	10 a 当り 収量	収穫量	作付 面積	10 a 当り 収量	収穫量
	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
県計	平28	15,400	505	77,800					
	平29	15,500	499	77,300					
	平30	15,600	506	78,900					
	令元	15,500	486	75,300					
	令2	15,500	496	76,900					
	令3	14,900	492	73,300					
	令4	14,400	502	72,300					
	令5	13,900	504	70,100					
	令6	14,300	499	71,400					
	令7	15,000	504	75,600					
前橋市	1,950	519	10,100	1,760	509	8,930	190	10	1,170
伊勢崎市	1,000	513	5,130	859	504	4,330	141	9	800
玉村町	444	515	2,290	301	506	1,520	143	9	770
渋川市	395	507	2,000	385	499	1,920	10	8	80
榛東村	92	482	443	96	474	455	-4	8	-12
吉岡町	99	488	483	99	479	474	0	9	9
高崎市	1,290	493	6,360	1,300	483	6,260	-10	10	100
安中市	445	493	2,190	440	484	2,130	5	9	60
藤岡市	464	492	2,280	415	482	2,000	49	10	280
上野村	-	-	-	-	-	-			
神流町	-	-	-	-	-	-			
富岡市	295	485	1,430	290	476	1,380	5	9	50
下仁田町	10	472	47	10	463	46	0	9	1
南牧村	-	-	-	-	-	-			
甘楽町	77	486	374	74	478	354	3	8	20
中之条町	239	522	1,250	240	513	1,230	-1	9	20
長野原町	16	507	81	16	498	80	0	9	1
嬬恋村	41	494	203	41	486	199	0	8	4
草津町	-	-	-	-	-	-			
高山村	107	524	561	108	515	556	-1	9	5
東吾妻町	237	526	1,250	238	516	1,230	-1	10	20
沼田市	488	555	2,710	491	546	2,680	-3	9	30
片品村	43	472	203	43	464	200	0	8	3
川場村	148	554	820	149	545	812	-1	9	8
昭和村	29	524	152	29	515	149	0	9	3
みなかみ町	358	535	1,920	360	525	1,890	-2	10	30
桐生市	203	484	983	200	490	980	3	-6	3
みどり市	90	483	435	92	487	448	-2	-4	-13
太田市	1,500	489	7,340	1,420	493	6,980	80	-4	360
館林市	1,570	499	7,830	1,560	497	7,730	10	2	100
板倉町	1,430	496	7,090	1,410	494	6,980	20	2	110
明和町	449	497	2,230	432	496	2,140	17	1	90
千代田町	559	504	2,820	532	501	2,670	27	3	150
大泉町	163	496	808	161	495	797	2	1	11
邑楽町	819	502	4,110	776	500	3,880	43	2	230

注) 1. 関東農政局群馬県拠点「水稻の市町村別作付面積及び収穫量」による。

2. ラウンドにより、県計値と市町村内訳の計が一致しないことがある。

3. 作付面積は、青刈り用（飼料用米等含む）の面積を除いた面積である。

9 令和7年産全国水稲作付面積及び収量・収穫量

全国 ・ 都道府県	水 稲					(参 考)				
	作付面積(子実用)		10 a 当り 収量	収穫量(子実用)		主食用 作付 面積	収穫量 (主食用)	10 a 当り 平年 収量	10 a 当り 収量	作況 単収 指数
		前年対比			前年対比					
	ha	%	kg	t	%	ha	t	kg	kg	
全 国	1,425,000	105	547	7,790,000	106	1,367,000	7,468,000	514	526	102
北 海 道	100,700	106	574	57,800	103	90,400	518,900	561	549	98
青 森	44,300	104	619	274,200	104	43,700	270,500	590	596	101
岩 手	48,100	106	556	257,400	103	46,900	260,800	530	533	101
宮 城	68,000	108	556	378,100	103	65,300	363,100	528	525	99
秋 田	87,400	104	588	513,900	105	81,200	477,500	544	559	103
山 形	62,300	102	612	381,300	108	57,100	349,500	572	585	102
福 島	68,000	108	570	387,600	109	67,000	381,900	541	554	102
茨 城	68,800	110	529	364,000	107	66,700	352,800	518	508	98
栃 木	60,000	113	545	327,000	114	58,100	316,600	520	521	100
群 馬	15,000	105	504	75,600	106	14,700	74,100	483	488	101
埼 玉	31,000	105	473	146,600	104	30,600	144,700	481	464	96
千 葉	54,800	108	557	305,200	106	53,100	295,800	541	546	101
東 京	112	105	418	468	106	112	468	404	408	101
神 奈 川	2,840	100	501	14,200	104	2,840	14,200	472	482	102
新 潟	117,700	101	542	637,900	102	108,600	588,600	516	525	102
富 山	35,600	102	547	194,700	103	33,700	184,300	518	512	99
石 川	22,900	103	532	121,800	105	22,100	117,600	500	507	101
福 井	24,500	104	532	130,300	104	23,300	124,000	480	496	103
山 梨	4,630	99	528	24,400	98	4,560	24,100	511	511	100
長 野	30,600	101	626	191,600	102	30,000	187,800	593	612	103
岐 阜	21,900	104	496	108,600	107	20,800	103,200	472	485	103
静 岡	14,800	102	522	77,300	110	14,700	76,700	485	505	104
愛 知	26,600	102	498	132,500	102	25,700	128,000	476	482	101
三 重	26,000	104	510	132,600	110	25,700	131,100	475	493	104
滋 賀	29,800	105	536	159,700	109	29,300	157,000	481	505	105
京 都	13,600	100	536	72,900	102	13,200	70,800	491	520	106
大 阪	4,100	96	491	20,100	97	4,100	20,100	479	481	100
兵 庫	35,200	104	516	181,600	109	33,600	173,400	474	498	105
奈 良	7,770	97	535	41,600	99	7,750	41,500	507	526	104
和 歌 山	5,600	99	534	29,900	104	5,600	29,900	494	526	106
鳥 取	12,000	102	533	64,000	108	12,000	64,000	490	517	106
島 根	16,200	102	543	88,000	110	16,100	87,400	484	515	106
岡 山	28,600	102	530	151,600	106	28,100	148,900	496	513	103
広 島	20,500	100	544	111,500	103	20,200	109,900	509	529	104
山 口	17,200	102	547	94,100	109	16,300	89,200	492	528	107
徳 島	10,300	104	514	52,900	114	10,300	52,900	462	501	108
香 川	10,200	104	518	52,800	110	10,100	52,300	484	502	104
愛 媛	12,800	101	517	66,200	104	12,700	65,700	494	512	104
高 知	10,600	103	468	49,600	106	10,500	49,100	443	462	104
福 岡	34,900	107	504	175,900	116	34,500	173,900	448	478	107
佐 賀	24,000	107	540	129,600	115	23,700	128,000	483	515	107
長 崎	9,480	101	502	47,600	104	9,460	47,500	458	492	107
熊 本	32,200	108	525	169,100	110	31,900	167,500	471	504	107
大 分	19,100	106	515	98,400	111	18,900	97,300	456	488	107
宮 崎	15,100	104	492	74,300	107	13,500	66,400	473	483	102
鹿 児 島	18,500	108	493	91,200	113	17,600	86,800	461	484	105
沖 縄	632	106	313	1,980	102	597	1,870	314	310	99

注) 1. 農林水産省「水陸稲の収穫量」

2. 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等含む)の面積を除いた面積。

3. 主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む)から加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積。

4. (参考) 10a当り平年収量及び収量は、農家等が使用している節目幅で選別したもの。

10 群馬県における昭和60年以降の水稻地域別作柄概況の推移

年次	作付面積 (h a)				10a当たり収量 (kg)				収穫量 (t)			
	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛
51	33,100	13,600	3,160	16,300	374	378	278	390	123,800	51,400	8,800	63,600
55	28,100	11,200	2,600	14,300	368	366	338	375	103,400	41,000	8,790	53,600
60	27,300	11,100	2,540	13,700	468	449	472	482	127,800	49,800	12,000	66,000
元	22,900	9,170	2,150	11,600	452	446	441	458	103,500	40,900	9,480	53,100
2	22,500	9,020	2,150	11,300	474	468	489	477	106,700	42,200	10,500	53,900
3	21,800	8,770	2,120	10,900	455	450	472	456	99,200	39,500	10,000	49,700
4	22,200	8,990	2,150	11,100	482	481	464	485	107,000	43,200	9,990	53,100
5	22,200	8,990	2,160	11,100	396	400	249	422	87,900	36,000	5,380	46,800
6	24,100	10,000	2,260	11,800	512	508	525	513	123,400	50,800	11,900	60,700
7	23,000	9,430	2,200	11,300	503	516	473	500	115,700	48,600	10,400	56,700
8	21,200	8,500	2,130	10,500	512	504	515	519	108,500	42,800	11,000	54,700
9	20,900	8,380	2,120	10,400	500	495	525	499	104,500	41,500	11,100	51,900
10	19,500	7,740	2,000	9,770	447	441	469	447	87,180	34,200	9,380	43,600
11	19,500	7,720	1,980	9,800	493	486	501	498	96,100	37,500	9,920	48,800
12	19,400	7,590	1,970	9,810	472	456	518	476	91,600	34,600	10,200	46,700
13	19,000	7,470	1,940	9,620	476	467	520	475	90,400	34,900	10,100	46,700
14	18,800	8,960	1,920	7,930	488	486	514	484	91,700	43,500	9,840	38,400
15	18,800	8,970	1,920	7,900	463	459	473	466	87,000	41,100	9,070	36,800
16	19,200	9,260	1,930	7,980	515	506	538	521	98,900	46,900	10,400	41,600
17	19,400	9,100	1,980	8,360	493	501	528	479	95,600	45,600	10,500	40,000
18	19,000	8,980	1,970	8,050	471	466	503	470	89,500	41,800	9,920	37,800
19	18,800	9,010	1,970	7,830	478	468	522	479	89,900	42,200	10,300	37,500
20	18,300	8,630	1,940	7,760	501	493	522	504	91,700	42,500	10,100	39,100
21	18,200	8,540	1,950	7,730	500	491	516	503	91,000	42,000	10,100	38,900
22	18,000	8,460	1,950	7,640	406	342	524	446	73,100	28,900	10,200	34,100
23	17,600	8,340	1,930	7,370	501	492	532	504	88,200	40,900	10,300	37,100
24	17,800	8,290	1,930	7,610	508	487	542	523	90,400	40,300	10,400	39,700
25	17,600	8,070	1,920	7,640	509	488	548	521	89,600	39,400	10,500	39,800
26	17,300	7,820	1,900	7,600	500	490	489	514	86,500	38,300	9,310	39,100
27	15,800	6,910	1,880	6,980	489	484	510	490	77,300	33,500	9,590	34,200
28	15,400	6,820	1,850	6,740	505	497	518	508	77,800	33,900	9,600	34,300
29	15,500	6,730	1,820	6,910	499	493	505	503	77,300	33,200	9,210	34,800
30	15,600	6,830	1,790	6,950	506	501	523	507	78,900	34,200	9,340	35,300
元	15,500	6,800	1,770	6,970	486	481	509	485	75,300	32,700	9,010	33,800
2	15,500	6,830	1,770	6,930	496	490	530	493	76,900	33,500	9,380	34,200
3	14,900	6,620	1,750	6,520	492	484	509	495	73,300	32,000	8,910	32,300
4	14,400	6,320	1,730	6,340	502	492	528	506	72,300	31,100	9,130	32,100
5	13,900	6,010	1,720	6,200	504	495	533	508	70,100	29,700	9,170	31,500
6	14,300	6,020	1,720	6,580	499	495	525	496	71,400	29,800	9,030	32,600
7	15,000	6,560	1,710	6,780	504	505	535	496	75,600	33,100	9,150	33,600

注) 1. 農林水産省「作物調査」による。

2. 平成21年以降は関東農政局群馬県拠点「水稻の市町村別作付面積と収穫量」による。

3. 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米重量。
H27から平年収量及び作況指数は、実際に農家が使用しているふるい目幅で算出した数値。
群馬県は1.80mmのふるい目幅で算定。(26年産までは、1.70mmで算定。)

年次	10a当たり平年収量 (kg)				作 況 指 数				摘 要
	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛	
51	405	404	400	407	92	94	70	96	冷害と穂いもち病による稔実不足
55	411	413	401	413	90	89	84	91	冷害、いもち病、日照不足。
60	415	418	403	414	113	107	117	116	梅雨明け後～9月中旬までの好天気。
元	431	428	420	435	105	104	105	105	8月以降の好気象、気象・病気等の被害少。
2	436	432	430	440	109	108	114	108	登熟期の高温・低湿・乳白粒の発生。
3	441	436	436	447	103	103	108	102	9月上旬の高温と中旬以降の曇雨天による粒の充実阻害、乳白粒の発生。
4	446	440	444	451	108	109	105	108	8月中旬以降の高温多照の好天候。
5	452	445	449	456	88	90	55	93	低温・寡照・多雨の影響で生育遅延・出穂遅れ、稔実歩合や粒の肥大・充実も不良、いもち病の発生。
6	452	446	449	458	113	114	117	112	7・8月の平均気温は観測史上1位。
7	456	452	454	463	110	114	104	108	
8	460	456	457	467	111	111	113	111	登熟期の日較差が大きく、稔実・肥大が良好。
9	468	465	468	470	107	106	112	106	
10	476	474	477	478	94	93	98	94	8月下旬以降の天候不順と、台風5号等による倒伏から品質不良。
11	484	481	489	486	102	101	102	102	
12	491	482	503	495	96	95	103	96	9月2・3日の高温と乾燥風により乳白粒の多発。
13	491	482	503	495	97	97	103	96	8月天候不順、台風11・15号による褐変粒の発生や台風通過後の高温・低湿による乳白米等の発生。
14	492	484	507	498	99	100	101	97	
15	492	484	507	498	94	95	93	94	低温・寡照の影響により出穂・成熟遅れ、粒の肥大・充実やや不良、いもち病の発生、品質は概ね良好。
16	492	485	511	496	105	104	105	105	6月下旬～8月中旬高温・多照により分けつ旺盛、有効穂数・全もみ数やや多い。登熟やや良。
17	494	487	520	496	100	103	102	97	高温や高夜温の影響により乳白粒・心白粒等が発生、東毛でイナズマヨコバイ大発生。
18	494	487	520	496	95	96	97	95	梅雨明けが10日程度遅れ、分けつが抑制された。登熟期の天候には恵まれたが作柄はやや不良。
19	494	487	520	496	97	96	100	97	くず米が多くやや減収した。高温の影響がゴロピカリの1等比率が低下した。
20	494	487	520	496	101	101	100	102	登熟良好。
21	494	487	520	496	101	101	99	101	
22	494	487	520	496	82	70	101	90	高温の影響により、白未熟粒等が発生し、規格外米が大量発生した。
23	494	487	520	496	101	101	102	102	台風による倒伏や9月下旬～10月上旬の低温により粒の肥大・充実が緩慢だったが、もみ数が多かった。
24	494	487	520	496	103	100	104	105	早期栽培は、全般に白未熟粒がみられた。普通期栽培では早期栽培より程度は軽かった。
25	494	487	520	496	103	100	105	105	
26	494	487	520	496	101	101	94	104	早植栽培地帯で、出穂後の低温・日照不足により死米、青未熟粒が発生した。
27	479	470	509	481	98	98	98	97	登熟期間の低温・日照不足により、死米や青未熟粒が発生し、収量・品質が低下した。
28	479	469	510	480	102	102	101	102	8月～9月の日照不足により白未熟粒の発生が見られたが、品質は平年より優れる。
29	479	469	511	480	101	101	97	101	7月～8月は日照不足、10月は長雨・台風により大幅な刈り遅れや倒伏が発生したが、品質は優れる。
30	479	470	510	480	102	103	101	102	7月の高温の影響で白未熟粒、胴割粒が多く、1等米比率が低い。
元	482	473	510	484	98	98	98	97	7月の低温、日照不足で生育が遅れたが、梅雨明け以降回復した。品質は一部で白未熟粒の発生が見られた。
2	482	473	510	484	100	100	102	99	7月の日照不足の影響で穂数が少なかった。8月の高温の影響により早期・早植栽培の一部で白未熟粒等が多く発生した。
3	482	472	511	484	99	99	98	99	8月中旬・9月上旬の低温・降雨の影響により、全域で穂いもちが多く発生した。
4	482	472	510	484	101	100	101	101	高温の影響により白未熟粒が平年より多く、全域で紋枯病、内穎褐変病が多かった。
5	482	472	510	484	102	102	103	103	高温の影響により白未熟粒(乳・心白粒、背白粒、基白粒)、胴割粒の発生が多く、1等米比率が低下した。
6	482	472	510	484	100	101	101	99	高温の影響により白未熟粒が平年より多く、全域で紋枯病が多く見られた。一部でイネカメムシによる被害が見られた。
7	483	472	510	484	101	103	101	99	R7から作況指数が作況単収指数に変更された。

4. 作柄表示地帯区分

中毛：前橋市、高崎市、伊勢崎市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、榛東村、吉岡町、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、玉村町

北毛：沼田市、中之条町、長野原町、嬬恋村、草津町、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町

東毛：桐生市、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

1 1 田植の進捗状況等の推移

(1) 年度別状況

項目 年度	水田面積 (本地面積) ha	水稲作付 面積 ha	左のうち		時 期 別					
			直播 面積 ha	移植面積 (A) ha	5月15日		6月1日		6月15日	
					面 積 (B) ha	B/A %	面 積 (B) ha	B/A %	面 積 (B) ha	B/A %
昭和45	39,700	36,000	438	35,496	-	-	3,448	9.7	-	-
50	36,500	34,300	2,748	30,399	-	-	3,033	10.0	-	-
55	35,800	28,100	368	27,824	306	1.1	2,368	8.5	-	-
60	34,000	27,300	141	27,459	197	0.7	2,968	10.8	7,249	26.4
平成元年	32,800	22,900	148	22,452	176	0.8	2,970	13.2	7,667	34.1
2	32,500	22,500	165	22,035	262	1.2	3,358	15.2	6,824	31.0
3	32,000	21,800	154	21,646	265	1.2	2,951	13.6	8,090	37.4
4	31,800	22,200	128	22,572	229	1.0	3,179	14.1	9,333	41.3
5	31,300	22,200	100	22,100	309	1.4	2,149	9.7	9,221	41.7
6	31,000	24,100	100	24,100	539	2.2	3,525	14.6	11,127	46.2
7	30,800	23,000	133	23,000	815	3.5	3,562	15.5	10,694	46.5
8	30,400	21,200	128	21,072	927	4.4	3,372	16.0	8,914	42.3
9	30,100	20,900	89	20,811	868	4.2	4,235	20.3	10,665	51.2
10	29,900	19,500	83	19,417	874	4.5	4,235	21.8	10,194	52.5
11	29,700	19,500	83	19,431	791	4.1	4,349	22.4	9,684	49.8
12	29,500	19,400	75	19,308	850	4.4	4,463	23.1	10,993	56.9
13	29,300	19,000	73	18,925	806	4.3	4,613	24.4	10,560	55.8
14	28,900	18,800	71	18,729	900	4.8	4,034	21.5	9,479	50.6
15	28,400	18,800	66	18,734	921	4.9	4,474	23.9	9,701	51.8
16	27,900	19,200	60	19,140	1,138	5.9	5,145	26.9	10,522	55.0
17	27,500	19,400	54	19,346	1,125	5.8	4,889	25.3	9,933	51.3
18	27,300	19,000	48	18,952	1,042	5.5	4,909	25.9	9,495	50.1
19	27,100	18,800	47	18,753	842	4.5	4,733	25.2	9,748	52.0
20	26,800	18,300	47	18,253	922	5.1	4,723	25.9	9,770	53.5
21	26,600	18,200	44	18,156	871	4.8	4,829	26.6	9,718	53.5
22	26,300	18,000	41	17,959	844	4.7	4,472	24.9	9,482	52.8
23	26,000	17,600	44	17,556	876	5.0	4,695	26.7	9,354	53.3
24	25,800	17,800	43	17,757	1,015	5.7	4,640	26.1	9,321	52.5
25	25,700	17,600	38	17,562	1,583	9.0	4,288	24.4	9,206	52.4
26	25,500	17,300	50	17,250	1,518	8.8	3,761	21.8	9,281	53.8
27	25,300	15,800	34	15,766	1,283	8.1	3,681	23.3	8,985	57.0
28	25,100	15,400	40	15,360	1,186	7.7	3,715	24.2	8,720	56.8
29	24,700	15,500	38	15,462	1,128	7.3	3,768	24.4	8,624	55.8
30	24,400	15,600	33	15,567	1,117	7.2	3,883	24.9	8,773	56.4
令和元年	24,100	15,500	33	15,467	1,024	6.6	3,759	24.3	8,640	55.9
2	23,700	15,500	36	15,464	1,036	6.7	3,773	24.4	8,768	56.7
3	23,100	14,900	42	14,858	1,025	6.9	3,789	25.5	8,573	57.7
4	22,700	14,400	45	14,400	984	6.8	3,612	25.1	7,976	55.4
5	22,200	13,900	71	13,524	895	6.6	3,394	25.1	7,493	55.4
6	22,000	14,300	122	13,463	981	7.3	3,363	25.0	7,438	55.2
7	22,000	14,700	195	14,506	1,060	7.3	3,657	25.2	7,707	53.1

(2) 地域別の状況(令和7年産)

農業 事務 所別	農畜産課、 地域農業課別	令和7年 水稲作付 面積推計 ha	左のうち		時期別進捗状況					
			直播 面積 ha	移植面積 (A) ha	5月15日		6月1日		6月15日	
					面 積 (B) ha	B/A %	面 積 (B) ha	B/A %	面 積 (B) ha	B/A %
中 部	中部	2332	61	2271	16	0.7	255	11.2	783	34.5
	洪川地域	651	0	651	3	0.5	214	32.9	524	80.5
	伊勢崎地域	1396	28	1368	0	0.0	12	0.9	29	2.1
	計	4380	89	4291	19	0.4	480	11.2	1336	31.1
西 部	西部	1990	2	1989	6	0.0	277	13.9	1009	50.7
	藤岡地域	553	0	553	0	0.0	16	2.9	171	31.0
	富岡地域	420	6	414	6	0.0	64	15.5	289	69.8
	計	2963	8	2956	13	0.4	357	12.1	1469	49.7
吾妻		647	1	646	64	9.9	612	94.7	644	99.7
利根沼田		931	20	911	300	32.9	877	96.3	909	99.8
東 部	東部	1618	47	1571	6	0.4	164	10.4	845	53.8
	桐生地域	404	0	404	11	2.6	150	37.1	364	90.0
	館林地域	3757	30	3727	647	17.4	1016	27.3	2140	57.4
	計	5779	77	5702	664	11.7	1330	23.3	3348	58.7
合 計		14700	195	14506	1060	7.3	3657	25.2	7707	53.1

注) 1. 米麦畜産課資料による。地域別作付面積推計は、地域別作付予定面積及び農林水産統計「令和7年産水稲の作付面積及び収穫量」より算定。数値はラウンドしており、合計と一致しない。

2. 平成5年以前の6月1日及び7月1日現在については、それぞれ5月31日、6月30日現在の調査数値である。

3. 平成22年以前の7月15日現在については、7月10日現在の調査数値である。

4. 平成25年度の5月15日現在については、5月20日現在の調査数値である。

進				捗		状		況		植付完了	項 目
6月25日		7月1日		7月5日		7月15日					
面 積 (B)	B／A	面 積 (B)	B／A	面 積 (B)	B／A	面 積 (B)	B／A	年 度			
ha	%	ha	%	ha	%	ha	%				
13,098	36.9	26,433	74.5	34,373	96.8	35,484	99.9	7月14日	45		
20,820	68.5	28,758	94.6	30,236	99.5	30,399	100.0	7月6日	50		
20,105	72.3	25,998	93.4	27,443	98.6	27,824	100.0	7月10日	55		
21,046	76.6	26,807	97.6	27,408	99.8	27,459	100.0	7月10日	60		
14,334	63.8	21,758	96.9	22,431	99.9	22,452	100.0	7月10日	平成元年		
17,946	81.4	21,582	97.9	22,026	99.9	22,035	100.0	7月10日	2		
20,290	93.7	21,591	99.7	21,646	100.0	21,646	100.0	7月4日	3		
17,722	78.5	22,184	98.3	22,548	99.9	22,572	100.0	7月10日	4		
17,315	78.3	21,578	97.6	21,992	99.5	22,100	100.0	7月10日	5		
21,745	90.2	23,883	99.1	24,100	100.0	24,100	100.0	7月5日	6		
18,817	81.8	22,397	97.4	22,976	99.9	23,000	100.0	7月10日	7		
14,877	70.6	20,229	96.0	21,051	99.9	21,072	100.0	7月10日	8		
19,220	92.4	20,705	99.5	20,811	100.0	20,811	100.0	7月5日	9		
18,563	95.6	19,320	99.5	19,398	99.9	19,417	100.0	7月10日	10		
18,600	95.7	19,362	99.6	19,431	100.0	19,431	100.0	7月5日	11		
17,935	92.9	19,223	99.6	19,308	100.0	19,308	100.0	7月5日	12		
17,768	93.9	18,871	99.7	18,925	100.0	18,925	100.0	7月5日	13		
17,579	93.5	18,612	99.4	18,800	100.0	18,800	100.0	7月5日	14		
16,506	87.8	18,574	99.1	18,706	99.5	18,800	100.0	7月10日	15		
17,939	93.4	19,063	99.6	19,190	99.9	19,200	100.0	7月10日	16		
18,126	76.5	18,643	96.4	19,361	99.8	19,400	100.0	7月10日	17		
14,498	76.5	18,099	95.5	18,914	99.8	18,952	100.0	7月10日	18		
17,314	92.3	18,658	99.5	18,714	99.8	18,753	100.0	7月9日	19		
16,344	89.5	18,161	99.5	18,253	100.0	18,253	100.0	7月5日	20		
17,194	94.7	18,120	99.8	18,156	100.0	18,156	100.0	7月5日	21		
15,552	86.6	17,779	99.0	17,941	99.9	17,959	100.0	7月8日	22		
13,629	77.6	17,004	96.9	17,537	99.9	17,556	100.0	7月13日	23		
13,633	76.8	16,961	95.5	17,742	99.9	17,757	100.0	7月12日	24		
14,759	84.0	17,321	98.6	17,541	99.9	17,558	100.0	7月12日	25		
14,813	85.9	17,026	98.7	17,233	99.9	17,250	100.0	7月8日	26		
14,305	90.7	15,651	99.3	15,757	99.9	15,766	100.0	7月13日	27		
13,922	90.6	15,125	98.5	15,265	99.4	15,360	100.0	7月13日	28		
13,705	88.6	15,192	98.3	15,407	99.6	15,462	100.0	7月18日	29		
13,710	88.1	15,371	98.7	15,484	99.5	15,567	100.0	7月14日	30		
13,351	86.3	15,044	97.3	15,362	99.3	15,467	100.0	7月12日	令和元年		
13,485	87.2	15,124	97.8	15,371	99.4	15,461	100.0	7月15日	2		
		14,353	96.6			14,858	100.0	7月15日	3		
		13,754	95.5			14,398	100.0	7月15日	4		
		13,109	96.9			13,929	100.0	7月23日	5		
		13,098	97.3			13,463	100.0	7月12日	6		
		13,181	90.9			14,506	100.0	7月15日	7		

時期別進捗状況								植付完了	農畜産課、 地域農業課別
6月25日		7月1日		7月5日		7月15日			
面 積 (B)	B／A	面 積 (B)	B／A	面 積 (B)	B／A	面 積 (B)	B／A		
ha	%	ha	%	ha	%	ha	%		
		1923	84.7			2271	100.0	7月15日	中部
		610	93.7			651	100.0	7月6日	渋川地区
		1262	92.3			1368	100.0	7月13日	伊勢崎地区
		3796	88.5			4291	100.0		計
		1458	73.3			1989	100.0	7月15日	西部
		530	95.8			553	100.0	7月12日	藤岡地区
		395	95.4			414	100.0	7月12日	富岡地区
		2382	80.6			2956	100.0		計
		646	100.0			646	100.0	6月15日	吾妻
		909	99.8			911	100.0	6月15日	利根沼田
		1432	91.2			1571	100.0	7月11日	東部
		401	99.3			404	100.0	7月5日	桐生地区
		3614	97.0			3727	100.0	7月15日	館林地区
		5447	95.5			5702	100.0		計
		13181	90.9			14506	100.0		合 計

1 2 群馬県新規需要米等の取組計画届出状況 注

区分 (年産)		新規需要米						
		飼料用	米粉用	輸出用	バイオエ タノール 用	酒造用	稲発酵 粗飼料用 (WCS)	青刈り稲 及びわら 専用稲
24	数量 (t)	2,162	897	2	-	-		
	面積 (ha)	440	183	0	-	-	407	0
25	数量 (t)	2,132	857	2	-	-		
	面積 (ha)	428	175	0	-	-	421	0
26	数量 (t)	3,229	939	1	-	-		
	面積 (ha)	654	191	0	-	-	462	3
27	数量 (t)	8,659	1,248	2	-	-		
	面積 (ha)	1,753	254	0	-	-	556	3
28	数量 (t)	9,096	1,202	1	-	-		
	面積 (ha)	1,844	244	0	-	-	590	3
29	数量 (t)	7,580	1,120	1	-	-		
	面積 (ha)	1,541	228	0	-	-	556	2
30	数量 (t)	6,112	1,602	14				
	面積 (ha)	1,243	324	3			519	-
元	数量 (t)	4,936	1,661	68				
	面積 (ha)	1,003	337	14			528	-
2	数量 (t)	4,752	1,610	67				
	面積 (ha)	959	325	14			514	-
3	数量 (t)	6,543	1,828	21				
	面積 (ha)	1,321	369	4			539	-
4	数量 (t)	7,805	1,842	1				
	面積 (ha)	1,575	372	0			584	-
5	数量 (t)	8,229	824	1				
	面積 (ha)	1,661	168	0			621	-
6	数量 (t)	5,050	1,043	11				
	面積 (ha)	1,018	213	2			645	-
7	数量 (t)	1,206	590	16				
	面積 (ha)	242	120	3			557	-

注) 令和6年度まで農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」「加工用米の取組計画認定状況」による。
令和7年度から農林水産省「新規需要米の取組計画届出状況」「加工用米の取組計画届出状況」による。

種子	その他その用途 が主食用米の 需給に影響を 及ぼさないもの	合計 (A)	加工用米		合計 (B)	新規需要米等 総計 (A+B)
			うるち米	もち米		
6	-	3,067	4,524	-	4,524	7,591
1	-	1,031	905	-	905	1,936
8	-	2,998	4,849	-	4,849	7,847
2	-	1,026	970	-	970	1,996
10	-	4,180	6,153	-	6,153	10,333
2	-	1,311	1,216	-	1,216	2,527
-	-	9,909	5,709	24	5,733	15,642
-	-	2,566	1,142	5	1,147	3,713
-	-	10,300	5,680	-	5,680	15,980
-	-	2,681	1,137	-	1,137	3,818
-	-	8,701	6,946	-	6,946	15,647
-	-	2,327	1,390	-	1,390	3,717
-	-	7,728	7,395	-	7,395	15,123
-	-	2,089	1,480	-	1,480	3,569
-	-	6,665	7,367	-	7,367	14,032
-	-	1,882	1,473	-	1,473	3,355
-	-	6,429	6,598	-	6,598	13,027
-	-	1,812	1,309	-	1,309	3,121
-	-	8,392	6,801	-	6,801	15,193
-	-	2,233	1,350	-	1,350	3,583
-	-	9,648	7,249	-	7,249	16,897
-	-	2,531	1,439	-	1,439	3,970
-	-	9,054	6,993	-	6,993	16,047
-	-	2,450	1,389	-	1,389	3,839
-	-	6,104	6,816	-	6,816	12,920
-	-	1,878	1,355	-	1,355	3,233
-	-	1,812	1,033	-	1,033	2,845
-	-	923	206	-	206	1,129

13 水稻うるち品種別作付面積の推移

(1) 群馬県

年次	28				29				30				元				2			
順位	品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %	
1	あさひの夢	5,910	38.4		あさひの夢	6,220	40.1		あさひの夢	6,040	38.7		あさひの夢	6,220	40.1		あさひの夢	6,500	41.9	
2	コシヒカリ	3,750	24.3		コシヒカリ	3,660	23.6		コシヒカリ	3,600	23.1		コシヒカリ	3,610	23.3		コシヒカリ	3,660	23.6	
3	ひとめぼれ	2,020	13.1		ひとめぼれ	1,990	12.9		ひとめぼれ	1,950	12.5		ひとめぼれ	2,010	13.0		ひとめぼれ	1,880	12.1	
4	ゆめまつり	1,580	10.2		ゆめまつり	1,770	11.4		ゆめまつり	1,670	10.6		ゆめまつり	1,530	9.9		ゆめまつり	1,610	10.4	
5	ゴロビカリ	670	4.4		ゴロビカリ	460	3.0		ゴロビカリ	380	2.5		ゴロビカリ	280	1.8		ゴロビカリ	250	1.6	
6	キヌヒカリ	260	1.7		キヌヒカリ	270	1.7		キヌヒカリ	260	1.7		キヌヒカリ	170	1.1		ゴロビカリ	200	1.3	
7	朝の光	150	1.0		朝の光	140	0.9		朝の光	140	0.9		朝の光	20	0.1		朝の光	60	0.4	
8																				
9																				
	その他	1,060	6.8		その他	990	6.4		その他	1,560	10.0		その他	1,570	10.1		その他	1,340	8.6	
計		15,400	100			15,500	100			15,600	100			15,500	100			15,500	100	

年次	3				4				5				6				7			
順位	品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %	
1	あさひの夢	6,710	45.0		あさひの夢	6,340	44.1		あさひの夢	5,740	41.3		あさひの夢	6,150	43.0		あさひの夢	6,960	47.0	
2	コシヒカリ	3,460	23.2		コシヒカリ	3,390	23.6		コシヒカリ	3,260	23.4		コシヒカリ	3,240	22.7		コシヒカリ	3,200	21.6	
3	ひとめぼれ	1,860	12.5		ひとめぼれ	1,820	12.6		ひとめぼれ	1,730	12.4		ひとめぼれ	1,740	12.2		ひとめぼれ	1,690	11.4	
4	ゆめまつり	1,515	10.2		ゆめまつり	1,410	9.8		ゆめまつり	1,230	8.9		ゆめまつり	920	6.4		にじのきらめき	1,370	9.3	
5	キヌヒカリ	220	1.5		にじのきらめき	220	1.5		にじのきらめき	550	4.0		にじのきらめき	790	5.5		ゆめまつり	760	5.1	
6	ゴロビカリ	150	1.0		キヌヒカリ	200	1.4		キヌヒカリ	180	1.3		キヌヒカリ	180	1.3		キヌヒカリ	160	1.1	
7	にじのきらめき	95	0.6		ゴロビカリ	130	0.9		ゴロビカリ	110	0.8		ゴロビカリ	100	0.7		ゴロビカリ	60	0.4	
8																				
9																				
	その他	890	6.0		その他	880	6.1		その他	1,090	7.9		その他	1,170	8.2		その他	600	4.1	
計		14,900	100			14,400	100			13,900	100			14,300	100			14,800	100	

注) 1. 作付面積は、農林水産統計「水稻の作付面積(子実用)」の数値を基に作付比率から算出し、ラウンドした数値。(子実用:青刈(飼料用米含む)面積除く)
(※飼料用米への用途変更等で差付け面積比率の年次間変動が大きい場合がある。) 下線の実践は奨励品種、点線は認定品種。その他には糯品種含む。
2. 平成28〜30、令和2〜7年産の作付比率は水稻共済・水田一体化データに基づく推計値。令和元年産は技術支援課調べ。

(2) 全国(品種別作付比率)

年次	2			3			4			5			6		
順位	品種名	比率 %		品種名	比率 %		品種名	比率 %		品種名	比率 %		品種名	比率 %	
1	コシヒカリ	33.7		コシヒカリ	33.5		コシヒカリ	33.4		コシヒカリ	33.1		コシヒカリ	32.6	
2	ひとめぼれ	9.1		ひとめぼれ	8.8		ひとめぼれ	8.5		ひとめぼれ	8.3		ひとめぼれ	8.4	
3	ヒノヒカリ	8.3		ヒノヒカリ	8.3		ヒノヒカリ	8.1		ヒノヒカリ	7.4		ヒノヒカリ	7.1	
4	あきたこまち	6.8		あきたこまち	6.9		あきたこまち	6.7		あきたこまち	6.7		あきたこまち	6.7	
5	ななつぼし	3.4		ななつぼし	3.0		ななつぼし	3.2		ななつぼし	3.3		ななつぼし	3.4	
6	はえぬき	2.8		はえぬき	2.8		はえぬき	2.9		はえぬき	2.8		はえぬき	2.7	
7	まっしぐら	2.5		まっしぐら	2.5		まっしぐら	2.4		まっしぐら	2.5		まっしぐら	2.5	
8	キヌヒカリ	1.9		キヌヒカリ	1.9		キヌヒカリ	1.9		ゆめびりか	1.9		ゆめびりか	1.8	
9	きぬむすめ	1.6		きぬむすめ	1.7		ゆめびりか	1.8		きぬむすめ	1.8		きぬむすめ	1.8	
10	ゆめびりか	1.6		こしいぶき	1.5		きぬむすめ	1.8		キヌヒカリ	1.8		キヌヒカリ	1.6	
11	あさひの夢	1.5		ゆめびりか	1.5		こしいぶき	1.5		こしいぶき	1.4		つや姫	1.5	
12	こしいぶき	1.4		つや姫	1.3		つや姫	1.4		つや姫	1.4		こしいぶき	1.4	
13	つや姫	1.2		あさひの夢	1.2		あさひの夢	1.3		あさひの夢	1.2		夢つくし	1.1	
14	夢つくし	1.0		夢つくし	1.0		夢つくし	1.1		夢つくし	1.1		あさひの夢	1.0	
15	ふさこがね	0.9		ふさこがね	0.9		天のつづ	1.0		天のつづ	1.0		とちぎの星	1.0	
16	あいちのかおり	0.9		天のつづ	0.9		ふさこがね	0.9		ふさこがね	1.0		天のつづ	1.0	
17	天のつづ	0.8		あいちのかおり	0.8		あいちのかおり	0.8		あいちのかおり	0.8		ふさこがね	0.9	
18	あきさかり	0.7		あきさかり	0.8		あきさかり	0.8		あきさかり	0.7		あいちのかおり	0.8	
19	彩のかがやき	0.7		きらら397	0.7		彩のかがやき	0.7		とちぎの星	0.7		あきさかり	0.7	
20	きらら397	0.7		彩のかがやき	0.7		ハツシモ	0.6		彩のかがやき	0.7		ハツシモ	0.7	
計		81.5			80.7			80.8			79.6			78.7	

注) 1. 米穀機構「水稻の品種別作付動向について」
2. 令和7年産は、令和8年4月末現在で調査されていない。

14 稲作農家数等の推移（農林業センサス）

区 分 年	総 農 家 数 戸	経営耕 地面積 ha	田の ある 農家 数 戸	水 田 面 積 ha	稲収穫 農家数 戸	稲収穫 面 積 ha	水 稲		
							収 穫 農家数 戸	収 穫 面 積 ha	販 売 農家数 戸
1950 (S25)	130,066	106,165		33,157			94,851	31,575	
1955 (S30)	129,180	108,233		33,027	—	—	—	—	—
1960 (S35)	130,015	112,506	101,803	36,661		49,431	101,723	35,987	91,397
1970 (S45)	118,764	101,775	96,724	38,174		42,281	95,608	37,348	70,382
1975 (S50)	109,456	91,201	88,826	34,105		33,381	84,935	31,625	56,552
1980 (S55)	101,953	85,006	82,712	32,991		28,211	77,269	27,476	52,751
1985 (S60)	93,364	78,230	74,855	30,500		25,539	68,806	25,018	45,011
1990 (H 2)	82,601	71,999	66,682	29,126	50,948	20,609	50,444	20,056	36,660
1995 (H 7)	72,979	65,115	58,950	26,465	44,738	21,266	41,514	20,907	33,114
2000 (H12)	65,565	58,346	40,388	24,554	37,523	17,317	37,523	17,317	27,532
2005 (H17)	62,527	52,263	32,048	20,518	29,514	15,759	29,514	15,759	21,768
2010 (H22)	57,252	49,080	26,231	20,560	23,825	15,564	23,825	15,564	17,613
2015 (H27)	50,084	44,001	20,145	19,501	18,394	16,198	18,394	16,198	13,483
2020 (R 2)	42,275	40,374	13,788	17,631	—	—	—	—	9,795
2025 (R 7)	15,140	35,345	10,060	14,996	—	—	—	—	7,385

注) S30、S35の面積は次により換算した。1反=0.0991735ha。

注) R7年はR7年5月1日現在の概数値

1 5 群馬県における米穀の年次別検査成績

(1) 水稻うるち玄米

(単位：トン)

年 産 構 成 比	種 別	水 稻 う る ち 玄 米				
	検 査 数	等 級 内 訳				
		1 等	2 等	3 等	等 外	規 格 外
60	74,371 (100.0)	50,040 (67.3)	18,201 (24.5)	2,570 (3.5)	3,545 (4.8)	15 (0.0)
5	30,152 (100.0)	26,771 (88.8)	1,095 (3.6)	139 (0.5)	2,131 (7.1)	15 (0.1)
10	23,648 (100.0)	2,492 (10.5)	6,771 (28.6)	10,868 (46.0)	546 (2.3)	2,971 (12.6)
11	22,514 (100.0)	15,077 (67.0)	6,832 (30.3)	599 (2.7)		6 (0.0)
12	20,065 (100.0)	3,879 (19.3)	12,040 (60.0)	3,940 (19.6)		207 (1.0)
13	18,692 (100.0)	10,667 (57.1)	5,281 (28.3)	2,607 (13.9)		137 (0.7)
14	23,242 (100.0)	8,039 (34.6)	12,317 (53.0)	2,671 (11.5)		215 (0.9)
15	25,137 (100.0)	20,005 (79.6)	4,939 (19.6)	184 (0.7)		10 (0.0)
16	32,584 (100.0)	26,602 (81.6)	5,642 (17.3)	306 (0.9)		35 (0.1)
17	28,910 (100.0)	7,304 (25.3)	19,155 (66.3)	2,215 (7.7)		232 (0.8)
18	26,179 (100.0)	18,730 (71.5)	7,145 (27.3)	272 (1.0)		32 (0.1)
19	27,153 (100.0)	15,858 (58.4)	10,710 (39.4)	564 (2.1)		21 (0.1)
20	29,715 (100.0)	20,599 (69.3)	8,701 (29.3)	376 (1.3)		39 (0.1)
21	30,605 (100.0)	22,867 (74.7)	7,517 (24.6)	203 (0.7)		18 (0.1)
22	31,481 (100.0)	904 (2.9)	5,780 (18.4)	13,126 (41.7)		11,670 (37.1)
23	26,208 (100.0)	12,301 (46.9)	10,495 (40.1)	3,310 (12.6)		102 (0.4)
24	29,002 (100.0)	15,890 (54.8)	10,005 (34.5)	2,999 (10.3)		108 (0.4)
25	38,042 (100.0)	15,633 (41.1)	17,864 (47.0)	4,383 (11.5)		132.0 (0.3)
26	40,253 (100.0)	35,541 (88.3)	4,068 (10.1)	609 (1.5)		35 (0.1)
27	30,950 (100.0)	24,884 (80.4)	5,564 (18.0)	468 (1.5)		34 (0.1)
28	32,467 (100.0)	28,750 (88.6)	3,546 (10.9)	143 (0.4)		28 (0.1)
29	38,432 (100.0)	35,420 (92.2)	2,747 (7.1)	258 (0.7)		8 (0.0)
30	37,131 (100.0)	33,060 (89.0)	3,581 (9.6)	467 (1.3)		23 (0.1)
元	35,675 (100.0)	32,165 (90.2)	3,239 (9.1)	264 (0.7)		7 (0.0)
2	35,708 (100.0)	29,701 (83.2)	5,575 (15.6)	430 (1.2)		2 (0.0)
3	34,925 (100.0)	32,134 (92.0)	2,650 (7.6)	133 (0.4)		8 (0.0)
4	35,720 (100.0)	32,470 (90.9)	2,940 (8.2)	301 (0.8)		10 (0.0)
5	30,948 (100.0)	17,659 (57.1)	11,340 (36.6)	1,894 (6.1)		55 (0.2)
6	28,938 (100.0)	19,740 (68.2)	7,215 (24.9)	1,906 (6.6)		77 (0.2)
7	36,593 (100.0)	25,269 (69.1)	9,729 (26.6)	1,558 (4.3)		37 (0.1)

注) 1. 農林水産省資料による。

2. 令和7年産の数値は、令和8年3月末時点のものである。

3. () は等級割合。

(2) 水稻もち玄米

(単位：トン)

年 産 構 成 比	種 別	水 稻 も ち 玄 米				
	検 査 数	等 級 内 訳				
		1 等	2 等	3 等	等 外	規 格 外
60	297 (100.0)	56 (18.7)	174 (58.5)	61 (20.6)	2 (0.6)	5 (1.5)
5	122 (100.0)	50 (41.4)	55 (44.8)	11 (9.3)	5 (4.3)	0 (0.2)
10	99 (100.0)	5 (4.7)	62 (62.4)	29 (29.0)		4 (3.9)
11	82 (100.0)	21 (25.7)	48 (58.2)	13 (15.6)		0 (0.6)
12	77 (100.0)	6 (8.0)	38 (49.9)	32 (41.4)		1 (0.7)
13	72 (100.0)	16 (22.5)	39 (54.6)	16 (22.8)		0 (0.2)
14	48 (100.0)	8 (17.5)	29 (61.7)	10 (20.2)		0 (0.6)
15	36 (100.0)	5 (14.9)	20 (54.4)	10 (26.6)		1 (4.1)
16	78 (100.0)	20 (25.7)	43 (54.3)	14 (17.4)		2 (2.6)
17	81 (100.0)	9 (10.6)	57 (70.2)	13 (15.6)		3 (3.6)
18	93 (100.0)	17 (18.5)	50 (53.2)	25 (26.7)		1 (1.5)
19	45 (100.0)	4 (9.8)	29 (64.6)	11 (23.6)		1 (2.0)
20	67 (100.0)	11 (16.4)	38 (57.1)	18 (26.3)		0 (0.2)
21	79 (100.0)	41 (51.2)	31 (38.9)	7 (8.9)		1 (0.9)
22	96 (100.0)	5 (5.0)	55 (57.4)	30 (31.3)		6 (6.3)
23	166 (100.0)	14 (8.6)	130 (78.4)	21 (12.7)		0 (0.3)
24	169 (100.0)	28 (16.7)	98 (57.8)	40 (23.9)		3 (1.7)
25	106 (100.0)	19 (17.6)	55 (52.3)	29 (27.4)		3 (2.7)
26	75 (100.0)	22 (28.9)	38 (50.7)	15 (19.6)		1 (0.8)
27	120 (100.0)	27 (22.8)	67 (55.9)	25 (20.9)		1 (0.4)
28	118 (100.0)	26 (22.4)	66 (55.9)	21 (18.1)		4 (3.5)
29	103 (100.0)	35 (33.7)	51 (49.5)	16 (15.3)		2 (1.5)
30	77 (100.0)	22 (29.0)	40 (52.2)	14 (17.8)		1 (1.0)
元	67 (100.0)	18 (26.6)	29 (43.4)	19 (28.6)		1 (1.5)
2	67 (100.0)	10 (14.9)	24 (35.8)	32 (47.8)		1 (1.5)
3	54 (100.0)	16 (30.4)	22 (40.7)	15 (28.0)		0 (0.9)
4	55 (100.0)	16 (28.8)	18 (32.6)	20 (37.4)		1 (1.2)
5	63 (100.0)	21 (33.7)	18 (28.8)	23 (36.9)		0 (0.7)
6	34 (100.0)	9 (26.5)	16 (47.1)	8 (23.5)		0 (1.9)
7	45 (100.0)	11 (24.4)	21 (46.7)	11 (24.4)		2 (3.8)

- 注) 1. 農林水産省資料による。
2. 令和7年産の数値は、令和8年3月末現在のものである。
3. () は等級割合。

(3) 醸造用玄米

(単位: トン)

年 産 構 成 比	種 別 検 査 量 トン	醸 造 用 玄 米					
		等 級 内 訳					
		特 上	特 等	1 等	2 等	3 等	規 格 外
5	255 (100.0)			196 (76.9)	39 (15.3)	20 (7.8)	
10	210 (100.0)			110 (52.2)	72 (34.3)	28 (13.4)	
11	159 (100.0)			86 (54.4)	63 (39.6)	9 (5.9)	
12	138 (100.0)		3 (2.3)	59 (42.6)	48 (34.9)	28 (20.3)	
13	120 (100.0)	2 (1.2)	15 (12.6)	36 (30.2)	61 (51.0)	6 (5.0)	
14	122 (100.0)		3 (2.4)	52 (42.5)	56 (46.1)	11 (8.9)	
15	111 (100.0)			38 (34.2)	53 (47.3)	21 (18.5)	
16	123 (100.0)			73 (59.3)	46 (37.4)	4 (3.3)	
17	159 (100.0)			6 (3.7)	134 (84.6)	19 (11.7)	
18	119 (100.0)			84 (70.6)	26 (21.7)	9 (7.7)	
19	95 (100.0)			57 (59.7)	30 (31.9)	8 (8.4)	
20	111 (100.0)			17 (15.7)	90 (81.2)	3 (3.1)	
21	115 (100.0)			5 (4.6)	93 (81.0)	17 (14.4)	
22	98 (100.0)		6 (5.9)	3 (3.5)	10 (10.7)	78 (79.9)	
23	105 (100.0)			90 (85.8)	8 (7.4)	7 (6.4)	0 (0.4)
24	105 (100.0)		6 (5.9)	8 (7.4)	91 (86.5)	0 (0.1)	
25	124.0 (100.0)			85 (68.1)	26 (21.1)	13 (10.7)	
26	139 (100.0)		2 (1.1)	6 (4.4)	108 (77.3)	24 (17.2)	
27	121 (100.0)			12 (9.9)	94 (77.8)	14 (12.0)	
28	120 (100.0)			17 (13.8)	78 (65.0)	26 (21.3)	
29	132 (100.0)		1 (1.1)	62 (47.2)	56 (42.0)	13 (9.7)	
30	130 (100.0)			90 (69.0)	32 (24.7)	8 (6.4)	
元	139 (100.0)		4 (2.7)	91 (65.6)	30 (21.6)	14 (9.8)	
2	88 (100.0)			45 (51.5)	31 (35.8)	11 (12.7)	
3	126 (100.0)			85 (67.3)	30 (24.1)	11 (8.6)	
4	142 (100.0)		2 (1.7)	74 (52.5)	44 (31.1)	21 (14.7)	
5	152 (100.0)			100 (65.7)	38 (25.4)	14 (8.9)	
6	175 (100.0)		2 (1.3)	72 (41.4)	50 (28.4)	51 (28.9)	0 (0.0)
7	151 (100.0)			64 (42.5)	62 (41.5)	14 (9.0)	10 (7.0)

注) 1. 農林水産省資料による。

2. 令和8年産の数値は、令和8年3月末現在のものである。

3. () は等級割合。

16 米の生産費及び収益性（10a当たり）

(1) 群馬県		関東・東山地域平均									
項 目	年 次	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
生 産	種 苗 費	2,955	3,284	3,387	3,263	3,131	3,587	3,089	2,950	3,552	3,482
	肥 料 費	8,854	7,757	8,115	7,267	7,590	7,797	7,820	7,849	9,322	11,675
	農 薬 費	6,282	5,881	6,125	6,242	6,646	6,596	6,690	6,606	6,911	7,504
	光 熱 動 力 費	5,867	4,613	4,086	4,465	4,917	4,948	4,795	5,492	5,911	6,339
	そ の 他 諸 材 料 費	2,154	1,925	1,848	2,084	2,122	2,192	2,196	2,217	2,037	2,180
	土地改良及び水利費	3,381	3,815	3,759	4,295	3,954	4,000	4,529	4,391	3,969	4,098
	貸 借 料 及 び 料 金	9,610	10,241	9,851	9,701	10,154	9,507	10,053	10,854	9,797	10,156
	物件税及び公課諸負担	1,682	2,215	2,233	2,357	2,005	2,233	1,740	1,977	1,737	1,983
	建 物 費	2,207	3,974	3,850	5,019	4,312	4,705	4,591	4,091	5,533	5,629
	自 動 車 及 び 農 機 具 費	24,016	33,376	30,632	31,894	28,161	33,890	30,201	29,225	27,018	28,073
費 用	生 産 管 理 費	973	328	333	318	322	294	541	481	416	441
	労 働 費	43,976	37,233	37,256	38,260	39,968	39,300	39,122	39,383	37,815	39,737
	費 用 合 計	111,957	114,642	111,475	115,165	113,282	119,049	115,367	115,516	114,018	121,297
	副 産 物 価 額	314	855	1,959	3,786	2,289	1,873	1,575	1,568	1,760	2,110
	生 産 費	111,643	113,787	109,516	111,379	110,993	117,176	113,792	113,948	112,258	119,187
	支 払 利 子	—	62	53	72	85	91	85	62	156	49
	支 払 地 代	4,212	5,181	5,510	5,871	5,472	5,041	4,943	4,446	5,260	5,597
	支払利子・地代算入生産費	115,855	119,030	115,079	117,322	116,550	122,308	118,820	118,456	117,674	124,833
	自 己 資 本 利 子	4,296	5,935	5,664	5,810	5,280	6,130	5,744	5,348	5,588	6,002
	自 作 地 地 代	4,871	10,946	9,872	9,557	9,712	10,019	9,841	9,360	8,231	8,600
(円)	全 算 入 生 産 費	125,022	135,911	130,615	132,689	131,542	138,457	134,405	133,164	131,493	139,435
	60 k g 当 たり 全 算 入 生 産 費	15,739	13,288	15,270	13,431	15,442	16,990	16,266	15,546	15,581	16,525
	主 産 物 数 量 (kg)	476	510	516	498	511	488	495	514	506	506
	主 産 物 価 額 (円)	77,254	94,078	105,468	111,642	114,893	108,742	103,972	86,317	92,817	105,724
	副 産 物 価 額 (円)	314	855	1,959	3,786	2,289	1,873	1,575	1,568	1,760	2,110
	粗 収 益 (円)	77,568	94,933	107,427	115,428	117,182	110,615	105,547	87,885	94,577	107,834
	生 産 費 総 額 (円)	125,336	136,766	132,574	136,475	133,831	140,330	135,980	134,732	133,253	141,545
	利 潤 (円)	△ 47,768	△ 41,833	△ 25,147	△ 21,047	△ 16,649	△ 29,715	△ 30,433	△ 46,847	△ 38,676	△ 33,711
	所 得 (円)	3,163	9,845	25,166	29,516	35,052	21,897	20,000	3,474	9,982	17,084
	家族労働報酬(円)	△ 3,004	△ 7,036	9,630	14,149	20,060	5,748	4,947	1,398	△ 3,837	2,482
性	家族労働時間(時間)	29.35	22.81	22.64	22.55	23.02	21.81	21.39	22.16	20.84	24.27
	1 日 当 たり 家族労働報酬(円)	—	—	3,403	5,020	6,971	2,108	1,651	—	—	918

- 注) 1. 農林水産統計年報「米生産費調査」による。令和5年度の全国数値は速報値
2. 米生産費統計は、主産地における「販売農家」の結果である。
「販売農家」とは、「玄米を600kg以上販売し、かつ平年作に対する増減収率が±20%未満の農家」である。
3. 収益性は次のとおり算出している。①粗収益＝主産物価額＋副産物価額、②生産費総額＝費用合計＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地地代、③所得＝粗収益－〔生産費総額－（家族労働費＋自己資本利子＋自作地地代）〕、④家族労働報酬＝粗収益－（生産費総額－家族労働費）、⑤1日当たり家族労働報酬＝家族労働報酬÷家族労働時間×8時間（1日換算）
4. 27年産からは、関東・東山平均の数値。

(2) 全国

年 次 項 目		26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
生 産 費 (円)	種 苗 費	3,693	3,691	3,695	3,697	3,756	3,707	3,542	3,788	4,000	4,050	4,108
	肥 料 費	9,520	9,318	9,313	8,872	8,942	9,065	9,030	9,091	9,810	12,564	10,977
	農 薬 費	7,630	7,640	7,464	7,639	7,570	7,670	7,774	7,864	7,664	8,051	8,412
	光 熱 動 力 費	5,095	4,362	3,844	4,227	4,693	4,745	4,517	5,101	5,567	5,743	5,845
	そ の 他 諸 材 料 費	1,819	1,939	1,942	1,904	1,927	1,987	1,972	1,924	1,944	2,058	2,105
	土地改良及び水利費	4,444	4,468	4,313	4,213	4,191	4,333	4,545	4,335	3,932	4,029	3,953
	貸 借 料 及 び 料 金	12,576	12,200	11,953	11,989	11,569	11,495	11,147	11,407	12,359	11,606	11,897
	物件税及び公課諸負担	2,316	2,297	2,297	2,363	2,157	2,241	2,044	2,093	1,928	1,949	1,848
	建 物 費	4,502	4,170	4,146	4,292	3,973	3,640	3,834	4,009	4,019	3,800	3,646
	自 動 車 及 び 農 機 具 費	27,947	28,812	27,734	28,544	28,011	29,172	28,912	27,909	27,662	28,212	29,795
	生 産 管 理 費	392	414	426	455	396	394	460	433	439	451	493
	労 働 費	35,396	34,731	34,525	35,028	34,854	34,247	34,729	33,506	33,478	34,474	34,665
	費 用 合 計	115,330	114,042	111,652	113,223	112,039	112,696	112,506	111,460	112,802	116,987	117,744
	副 産 物 価 額	1,062	1,323	2,181	3,494	2,593	2,701	2,517	2,050	2,228	2,515	4,746
	生 産 費	114,268	112,719	109,471	109,729	109,446	109,995	109,989	109,410	110,574	114,472	112,998
	支 払 利 子	307	306	288	281	229	164	146	176	211	172	175
	支 払 地 代	4,710	5,034	5,128	4,779	4,999	5,289	5,309	5,206	4,725	4,839	5,630
	支払利子・地代算入生産費	119,285	118,059	114,887	114,789	114,674	115,448	115,444	114,792	115,510	119,483	118,803
	自 己 資 本 利 子	5,319	5,166	4,992	5,104	4,834	5,141	5,161	5,144	5,052	5,166	5,169
	自 作 地 地 代	10,581	10,069	9,706	9,444	9,216	8,916	8,581	8,209	8,370	8,214	8,140
	全 算 入 生 産 費	135,185	133,294	129,585	129,337	128,724	129,505	129,186	128,145	128,932	132,863	132,112
	60 k g 当 たり 全 算 入 生 産 費	15,416	15,390	14,584	15,147	15,352	15,155	15,046	14,758	15,273	15,948	15,814
収 益 性	主 産 物 数 量 (kg)	526	519	533	512	504	512	516	520	506	499	500
	主 産 物 価 額 (円)	92,562	99,320	110,953	112,933	113,210	116,331	111,495	95,673	99,071	105,372	168,019
	副 産 物 価 額 (円)	1,062	1,323	2,181	3,494	2,593	2,701	2,517	2,050	2,228	2,515	4,746
	粗 収 益 (円)	93,624	100,643	113,134	116,427	115,803	119,032	114,012	97,723	101,299	107,887	172,765
	生 産 費 総 額 (円)	136,247	134,617	131,766	132,831	131,317	132,206	131,703	130,195	131,160	135,378	136,858
	利 潤 (円)	△ 42,623	△ 33,974	△ 18,632	△ 16,404	△ 15,514	△ 13,174	△ 17,691	△ 32,472	△ 29,861	△ 27,491	35,907
	所 得 (円)	6,476	13,558	28,245	30,418	30,732	32,568	27,751	11,439	14,140	19,665	80,831
	家族労働報酬(円)	△ 9,424	△ 1,677	13,547	15,870	16,682	18,511	14,009	△ 1,914	718	4,107	67,522
	家族労働時間(時間)	23.09	22.36	21.97	21.61	21.49	20.78	20.66	20.15	20.70	19.85	19.24
	1 日 当 たり 家族労働報酬(円)	—	—	4,933	5,875	6,210	7,126	5,425	—	294	1,655	28,076

Ⅱ 麦「ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組」

1 基本方針

- (1) 実需者ニーズに応じた品種選定や計画的かつ安定的な生産の推進
- (2) 基本技術の励行による高品質麦の生産
- (3) は種前契約の徹底や実需者との連携強化
- (4) 共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
- (5) 経営所得安定対策等の活用による二毛作体系の推進
- (6) G A P（農業生産工程管理）の導入・実践
- (7) 地産地消の取組等、新たな需要づくり
- (8) 種子生産者の確保と生産体制の強化
- (9) スマート農業技術の普及

2 麦の生産目標

令和8年産作付計画等を次のとおりとする。

表1 麦種別作付計画 (h a , t)

区 分 \ 麦 種	小 麦	二条大麦	六条大麦	計
令和7年産作付面積	5,270	1,640	487	7,397
令和7年産収穫量	23,200	6,970	1,630	31,800
令和8年産作付計画面積	4,887	1,640	411	6,938
令和8年産目標収穫量	20,242	6,560	1,465	28,267

注) 令和8年産作付計画面積および目標収穫量は県集荷団体の契約予定数量を基にした数字。
ただし二条大麦の作付計画面積は米麦畜産課による推計値。

表2 小麦品質ランク区分評価 (単位：%)

項 目 \ ランク区分等	検査等級 1等比率	A	B	C	D
令和6年産実績(確定)	87.9	55	43	2	0
令和7年産実績	86.9	64	35	0	0
令和8年産目標	90以上	80	20	0	0

注) 令和7年産実績は令和7年10月末現在。
ランクは日本めん用小麦の結果(数量比率)。

3 重点推進目標

(1) 需要に応じた麦づくり

ア 小麦・六条大麦

- (ア) 実需者のニーズに対応した品種作付を行う。
- (イ) 実需者の求める品質および生産量を確保し、安定的な供給を目指す。

イ 二条大麦(ビール大麦)

- (ア) 実需者の求める醸造適性および産地における生産性を考慮した品種作付を行う。
- (イ) オオムギ縞萎縮病の常発地域では、「サチホゴールド」「アスカゴールド」等の抵抗性品種の作付を行う。

ウ 需要拡大等への取組

多様な加工用途への積極的な対応を図るため、県産麦に対する実需者の意見・要望の聞き取りを行い、需要拡大に向けた取組を促進する。また、新たな需要づくりとして、地産

地消や6次産業化等への取組を推進する。

(2) 安全で高品質な麦づくり

- ア 小麦では、日本麺用「きぬの波」「つるぴかり」「さとのそら」等は、ランク区分基準のタンパク質含量 9.7～11.3%、パン・中華麺用「ゆめかおり」は、ランク区分基準のタンパク質含量 11.5%～14.0%を基本とし、実需者が求めるタンパク質含量を目標に栽培管理を徹底する。
- イ 六条大麦「シュンライ」は、主食用の用途に適した硝子率や白度を目指し、平坦二毛作地帯の水田作を基本として作付する。麦茶用では、タンパク質含量 10.5%以上を目標とし、実需者の要望に応えた生産を行う。
- ウ 二条大麦（ビール用）については、発芽勢（98%以上）の確保、適正タンパク質含量（10.0～11.0%の範囲内）及び整粒歩合（2.5mm 以上 95%以上）を確保する。
- エ 生産物の安全性を確保するため、放射性物質の低減対策の徹底を図るとともに、消費者へ正確な情報を提供し、県内農産物の安心・安全について理解促進を図る。また、赤かび病（DON）や残留農薬等に対する安全性を生産者・生産者団体が主体的に確認する。
- オ 異種穀粒や異物混入を防止する。特にカラスノエンドウやソバの混入防止を徹底する。
- カ 貯蔵保管時の水分含量は 12.5%以下とし、虫の発生等による品質低下防止に努める。

(3) 生産・流通対策

- ア 種子更新率の向上と地域に適した麦種・品種の作付けを基本に、追肥や麦踏み等の基本技術の励行、適期収穫、適切な乾燥調製等を実施する。また、湿害対策を実施する。
- イ 縞萎縮病については、抵抗性品種の導入や麦種を転換する等の耕種的防除対策を実施し、被害の発生を防止する。
- ウ 赤かび病については、発生防止のための適期防除を徹底する。万一発生した場合には、被害粒の混入を防止するなどの適切な措置をとり、被害を最小限にとどめる。
- エ 共同乾燥調製貯蔵施設等の環境・保管管理体制を強化し、品質低下防止に努める。また、担い手の利用を踏まえた効率的な運営を図る。
- オ 圃場管理システムやGPSを活用したスマート農業機械の導入等を推進するとともに、新規需要米等と組み合わせた二毛作体系により、生産性向上と作付拡大を図る。

(4) 担い手育成対策

- ア 担い手の育成・支援
水田を中心とした土地利用型農業の担い手である認定農業者や集落営農組織による規模拡大や法人化等の経営体質強化へ向けた取組を積極的に支援する。
- イ 集落営農組織の経営体質強化
各集落営農組織の進捗状況に応じて、全組織を対象に法人化の支援を行うとともに、既に法人化した組織に対しても、引き続き、法人運営等に関してフォローアップを行う。
- ウ 農地集積の促進
農地中間管理機構を活用し、地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連担化に向けた取組を支援する。

(5) GAP（農業生産工程管理）の導入と実践

- 麦の適正な生産管理を図るため、GAPの導入・実践を推進する。
- ア GAP（農業生産工程管理：Good Agricultural Practice）とは、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のことである。
GAPを取り入れることにより、結果として食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者や実需者の信頼の確保を図る。
- イ ほ場条件の確認、農薬の適正使用、施肥管理等の記帳管理等を行う。
- ウ 乾燥調製貯蔵施設や管理貯蔵施設等の作業の記録や保管管理体制を強化する。
- エ 整理、整頓、清掃、清潔、習慣づけの5Sを実践する。

(6) 種子の安定供給と種子生産者の確保

安定した麦生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。種子生産体制の強化・健全化に努めるとともに、新規種子生産者を確保し、種子の安定生産を図る。

4 関連施策

- ・農業経営力向上事業（県単）
- ・ぐんま型水田フル活用推進事業（県単）
- ・経営所得安定対策（国庫）
- ・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
- ・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）
- ・麦類生産技術向上事業（国庫）
- ・新基本計画実装・農業構造転換支援事業（国庫）
- ・持続的種子生産総合対策事業（国庫）

5 麦の需要に関する動向

（農林水産省「麦の参考資料」（令和8年3月公表）より抜粋）

（1）麦の流通の概要

麦は需要量の約8割を外国産麦の輸入で賄っています。国内産食糧用麦は民間流通により取引されており、外国産食糧用麦は政府が国家貿易により計画的に輸入し、需要者に売り渡しています。

（単位：万トン）

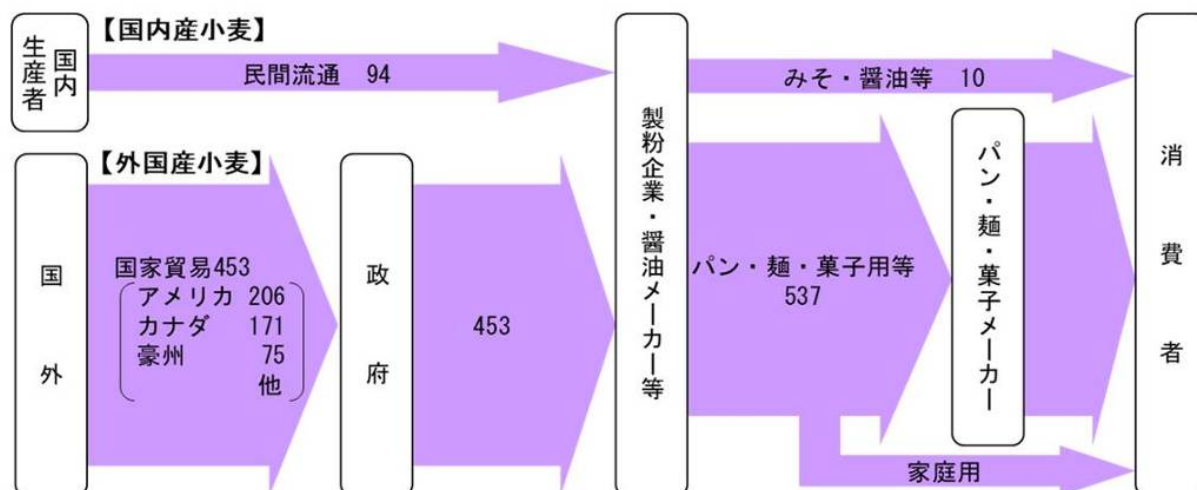


図1 食糧用小麦の流通の現状（令和2度～令和6年度の平均数量）

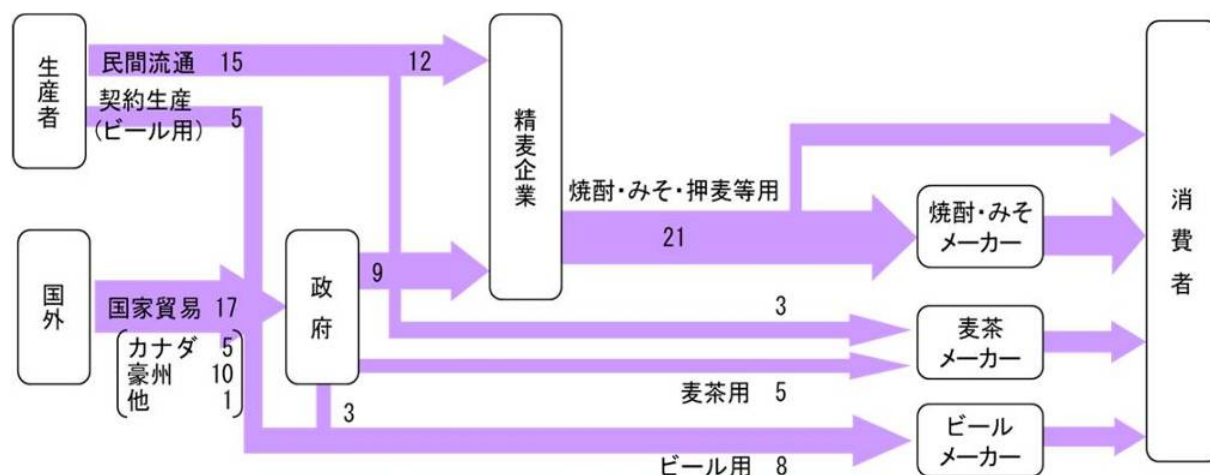


図2 食糧用大麦及びはだか麦の流通の現状（令和2度～令和6年度の平均数量）

（2）国内麦の取引の概要

国内産食糧用麦は、加工原料としての商品特性から、需要に応じて計画的に生産できるよう、は種前契約に基づく取引が行われています。

まず、取引の指標となる透明性のある適正な価格を形成するため、は種前に販売予定数量の3～4割（具体的な比率は民間流通地方連絡協議会の協議を踏まえ決定）について入札が行われます。残りは相対取引が行われており、その価格については、入札で形成された指標価格（落札加重平均価格）を基本として、取引当事者間で決められています（図3）。

また、取引を円滑に進めるため、生産者、需要者等で構成される民間流通連絡協議会において、取引に必要な情報交換、取引に係る基本事項の見直し等が行われています（表1）。

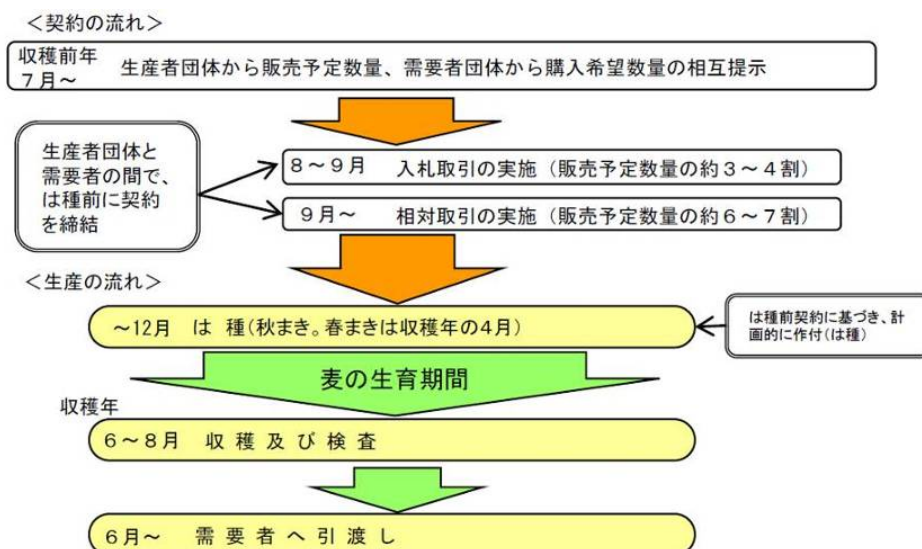


図3 国内産食糧用麦の基本的な流通フロー

表1 国内産食糧用麦の入札の仕組み

項 目	概 要	見直しの変遷
実施主体	一般社団法人 全国米麦改良協会	
実施時期	は種前に2回実施（8～9月）	平成13年産から1回→2回へ見直し
上場数量	産地銘柄別に販売予定数量が小麦3千トン以上、大麦・はだか麦1千トン以上の銘柄について、その30～40%を上場（ほかに希望上場あり）	令和元年産から30%→30～40%へ見直し
基準価格	小麦は前年産の落札加重平均価格に当年産の入札実施時点での外国産麦の政府売渡価格の変動率を乗じた価格、大麦・はだか麦は前年産の落札加重平均価格	小麦の外国産麦との連動は平成24年産から実施
値幅制限	基準価格の±10%	小麦 平成12年産～16年産：±5% 平成17年産～21年産：±7% 平成22年産：±10% 平成23年産：±30% 平成24年産～：±10% 大麦・はだか麦 平成12年産～18年産：±5% 平成19年産～21年産：±7% 平成22年産：±10% 平成23年産：±15% 平成24年産～：±10%
取引価格の事後調整（小麦のみ）	外国産食糧用小麦の政府売渡価格の改定（4、10月）に合わせて、は種前に入札又は相対により契約された価格に外国産食糧用小麦の政府売渡価格の変動率を乗じて取引価格を改定	平成23年産から実施
申込限度数量	買い手別に 上場数量×買受実績シェア×1.45	小麦は平成17年産から、大麦及びはだか麦は平成19年産から1.35→1.45へ見直し
相対取引	入札で形成された指標価格を基本に、生産者団体と需要者の間で協議・決定	平成19年産から過去の実績シェアに基づく取引ルールを廃止
再入札	第1回入札及び第2回入札において、落札残数量が発生した場合は、売り手の希望により再度入札に付するか相対による契約を行うかいずれかの方法をとることができる。	平成25年産から売り手の申し出により、再入札における入札の値幅を設定できること等を規定。

(3) 外国産食糧用小麦の政府売渡

外国産食糧用小麦の政府売渡については、平成 19 年 4 月以降、買入価格（買付価格＋港湾諸経費）に、マークアップ（政府管理経費及び国内産小麦の生産振興対策に充当）を上乗せした価格で売り渡す「相場連動制」に移行しました（表 2、図 4）。

項 目	基本的なルール
価格改定	年 2 回（4 月期、10 月期）
買付価格算定期間	直近 6 か月間

政府売渡価格

買入価格

マークアップ

港 湾 諸 経 費

買 付 価 格

小麦の国際価格や
海上運賃、為替等
により変動

図 4 政府売渡価格の構成

また、外国産食糧用小麦の売渡しについては、平成 22 年 10 月以降、輸入した小麦を直ちに製粉企業等に販売し、製粉企業等が一定期間備蓄することになっています。（即時販売方式）

即時販売方式の導入後は、製粉企業等が 2.3 か月分の外国産食糧用小麦の備蓄を行った場合、国が 1.8 か月分の保管経費を助成しています（図 5）。

また、不測の事態が生じた場合には、国は、製粉企業等に対して、備蓄する外国産食糧用小麦の取崩しの指示等を行います。

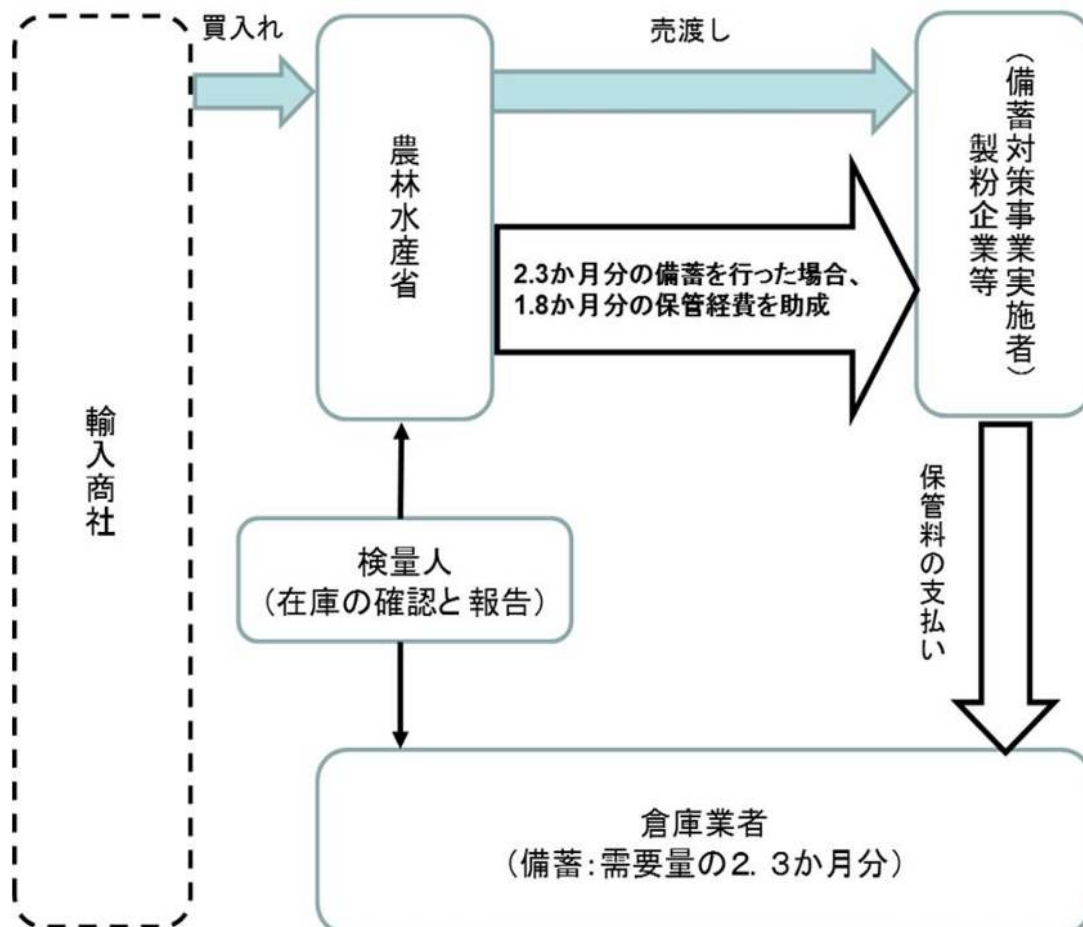


図 5 食糧麦備蓄対策事業のスキーム

6 令和8年産民間流通麦入札結果

価格は税別

産地	銘 柄	基準価格 円／トン	指標価格		参考 対比	上場数量 t	申込数量 t	落札数量 t	落札残 t	申込 倍率
			円／トン	円/60kg						
小麦										
北海道	春よ恋	61,091	55,219	3,313	90.4	13,640	9,340	9,220	4,420	0.7
北海道	きたほなみ	54,001	59,205	3,552	109.6	134,670	210,610	134,670	0	1.6
北海道	ゆめちから	53,134	57,038	3,422	107.3	39,370	53,220	36,820	2,550	1.4
北海道	はるきらり	48,295	43,466	2,608	90.0	1,320	870	870	450	0.7
岩手	ゆきちから	50,472	47,944	2,877	95.0	1,210	1,670	1,210	0	1.4
宮城	夏黄金	59,031	53,128	3,188	90.0	770	100	100	670	0.1
茨城	さとのそら	51,097	48,355	2,901	94.6	3,480	2,490	2,420	1,060	0.7
群馬	つるびかり	65,909	60,871	3,652	92.4	1,300	650	650	650	0.5
群馬	さとのそら	56,187	54,734	3,284	97.4	4,370	5,250	3,910	460	1.2
埼玉	あやひかり	61,695	60,742	3,645	98.5	1,710	2,870	1,670	40	1.7
埼玉	さとのそら	55,001	50,974	3,058	92.7	4,510	1,700	1,700	2,810	0.4
岐阜	イワイノダイチ	51,396	46,471	2,788	90.4	1,360	120	120	1,240	0.1
岐阜	さとのそら	49,080	45,826	2,750	93.4	1,190	400	400	790	0.3
愛知	さぬき	48,633	43,904	2,634	90.3	6,480	4,250	4,250	2,230	0.7
愛知	ゆめあかり	51,982	49,518	2,971	95.3	1,510	2,200	1,510	0	1.5
滋賀	ふくさやか	51,049	49,342	2,961	96.7	1,330	2,080	1,330	0	1.6
滋賀	びわほなみ	52,968	51,069	3,064	96.4	4,140	4,870	4,140	0	1.2
香川	さぬきの夢2009	52,377	57,614	3,457	110.0	1,280	3,360	1,280	0	2.6
福岡	シロガネコムギ	54,067	54,919	3,295	101.6	7,230	8,830	7,060	170	1.2
福岡	チクゴイズミ	61,604	67,717	4,063	109.9	5,290	10,990	5,290	0	2.1
福岡	ミナミノカオリ	57,016	61,947	3,717	108.6	1,830	3,740	1,830	0	2.0
佐賀	シロガネコムギ	57,349	55,580	3,335	96.9	7,520	3,520	3,520	4,000	0.5
佐賀	チクゴイズミ	61,181	67,299	4,038	110.0	3,880	6,690	3,880	0	1.7
佐賀	はる風ふわり	51,200	56,320	3,379	110.0	2,300	5,800	2,300	0	2.5
大分	チクゴイズミ	59,844	63,238	3,794	105.7	1,200	2,210	1,200	0	1.8
—	——合計——	54,418	57,920	3,475	106.4	252,890	347,830	231,350	21,540	1.4
六条大麦										
宮 城	シュンライ	37,231	39,789	2,387	106.9	290	440	290	0	1.5
宮 城	ホワイトファイバー	44,923	49,415	2,965	110.0	530	800	530	0	1.5
茨 城	カシマムギ	47,105	48,570	2,914	103.1	80	100	80	0	1.3
茨 城	カシマゴール	45,639	47,606	2,856	104.3	660	660	660	0	1.0
栃 木	シュンライ	41,262	44,918	2,695	108.9	1,110	1,880	1,110	0	1.7
群 馬	シュンライ	39,923	43,398	2,604	108.7	440	840	440	0	1.9
富 山	ファイバースノウ	45,337	49,083	2,945	108.3	2,600	3,350	2,600	0	1.3
石 川	ファイバースノウ	44,094	46,338	2,780	105.1	1,130	1,700	1,130	0	1.5
福 井	ファイバースノウ	45,403	49,205	2,952	108.4	2,130	3,130	2,130	0	1.5
福 井	はねうまもち	57,592	63,351	3,801	110.0	1,290	2,070	1,290	0	1.6
長 野	ファイバースノウ	40,354	43,830	2,630	108.6	260	510	260	0	2.0
滋 賀	ファイバースノウ	39,818	43,515	2,611	109.3	350	680	350	0	1.9
滋 賀	ファイバースノウ	43,128	45,497	2,730	105.5	830	830	830	0	1.0
兵 庫	シュンライ	43,202	45,842	2,751	106.1	440	520	440	0	1.2
—	——合計——	45,288	48,851	2,931	107.9	12,140	17,510	12,140	0	1.4
二条大麦										
茨 城	ミカモゴールデン	36,928	40,620	2,437	110.0	480	590	440	40	1.2
栃 木	ニューサチホゴールデン	35,930	39,523	2,371	110.0	1,030	1,490	990	40	1.4
岡 山	スカイゴールデン	47,029	51,731	3,104	110.0	430	580	430	0	1.3
岡 山	サチホゴールデン	47,767	52,543	3,153	110.0	970	1,200	890	80	1.2
佐 賀	サチホゴールデン	51,632	56,795	3,408	110.0	1,710	3,610	1,710	0	2.1
佐 賀	はるか二条	52,709	57,979	3,479	110.0	9,700	13,210	9,700	0	1.4
—	——合計——	50,432	55,475	3,329	110.0	14,320	20,680	14,160	160	1.4
裸麦										
香 川	イチバンボシ	33,580	36,938	2,216	110.0	520	620	520	0	1.2
愛 媛	ハルヒメボシ	35,388	38,819	2,329	109.7	1,470	1,820	1,470	0	1.2
大 分	ハルアカネ	35,799	39,269	2,356	109.7	710	1,210	600	110	1.7
—	——合計——	35,120	38,545	2,313	109.8	2,700	3,650	2,590	110	1.4

【参 考】銘柄別政府売渡価格

単価：円／トン

産 地	銘 柄	略 称	標準売渡価格		用 途
小麦			R7.10以降	R8.4以降	
アメリカ産（ダーク）	ノーザン・スプリング	DNS	—	—	パン等の準強力粉
カナダ産ウエスタン・レッド・スプリング	NO1	1CW	—	—	パン等に最適な強力粉
アメリカ産ハード・レッド・ウィンター		HRW	—	—	パン等の強力粉
オーストラリア産スタンダード・ホワイト		ASW	—	—	麺用粉等の中力粉
アメリカ産ウエスタン・ホワイト		WW	—	—	菓子等の薄力粉
5銘柄加重平均（税込み）			—	—	（対前期比▲4.6%）

注1）カナダ産アンバー・デュラム小麦、カナダ産ウエスタン・シックスロウ、オーストラリア産プライム・ハード
オーストラリア産ツーロウは、SBS方式。

注2）H22.10以降について、銘柄ごとの売渡価格は公表しないこととなった。

7 毎年の生産量・品質に基づく交付金ランク区分基準について

(1) ランク区分について

平成 16 年産までの麦作経営安定資金、契約生産奨励金については、銘柄別、等級別に単価の差を設定してきたが、区分Ⅰ（A）の銘柄が全体の 85% を占めるなど、実需者のニーズが反映された助成体系ではなかった。

このため、実需者が求める良品質麦の生産を促進する観点から、平成 17 年産麦から麦作経営安定資金及び契約生産奨励金については、各用途麦別の品質評価項目による品質評価を反映させた助成体系へ移行した。

この助成体系を毎年の生産量・品質に基づく交付金に継承し、生産者の品質向上に対する生産努力を価格に反映する助成とした。

さらに 19 年産から、日本めん用小麦の品質評価基準について、需要者が望む基準値まで段階的に近づけていく観点から、基準の引上げが行われた。

(2) ランク区分基準

日本めん用小麦、パン・中華めん用小麦、醸造用小麦、主食等用小粒大麦・大粒大麦・はだか麦及び麦茶用小粒大麦・大粒大麦・はだか麦別に次の基準を適用し、区分毎に、基準いずれかを満たすものとする。

区分	基 準
A	・品質評価項目の基準値を 3 つ以上達成し、かつ、許容値を全て達成している麦
B	・品質評価項目の基準値を 2 つ達成し、かつ、許容値を全て達成している麦
C	・品質評価項目の基準値を 1 つ達成し、かつ、許容値を全て達成している麦 ・品質評価項目の基準値を 2 つ以上達成しているものの、許容値を達成していない麦
D	・A～C ランクのいずれにも該当しない麦

(3) 品質評価項目とその基準値、許容値

ア 日本めん用小麦

評価項目	基準値	許容値
たんぱく (低アミロース品種等)	9.7%～11.3%	8.5%～12.5% (8.0%～13.0%)
灰 分	1.60%以下	1.65%以下
容 積 重	840g/L 以上	—
フォーリングナンバー	300 以上	200 以上

注) 低アミロース品種等は、きぬの波・つるぴかり

イ パン・中華めん用小麦

評価項目	基準値	許容値
たんぱく (超強力品種)	11.5%～14.0%	10.0%～15.5% (10.0～18.0%)
灰 分	1.75%以下	1.80%以下
容 積 重	833g/L 以上	—
フォーリングナンバー	300 以上	200 以上

(注)「超強力品種」とは、グルテンの質が通常の強力品種よりも更に強靱な品種をいう。

ウ 醸造用小麦

評価項目		基準値	許容値
たんばく	I	11.5%以上 12.0%未満	10.0%以上
	II	12.0%以上 13.5%未満	
	III	13.5%以上	
容積重		760g/L 以上	—

注) たんばく I は品質評価項目の基準値を 1 つ達成、たんばく II は 2 つ達成、たんばく III は 3 つ達成したものとする。

エ 六条大麦及びはだか麦（麦茶の製造用以外のもの）

評価項目	基準値	許容値
容積重	六条大麦 690g/L 以上 はだか麦 840g/L 以上	—
細麦率	六条大麦 2.2mm（篩）下に 2.0%以下 はだか麦 2.0mm（篩）下に 2.0%以下	—
白度	六条大麦 43 以上 はだか麦 43 以上 基準歩留：六条大麦 55% はだか麦 60% 農産物検査時から 1 ヶ月経過したサンプル	40 以上 40 以上
硝子率	六条大麦 40%以下 はだか麦 50%以下	50%以下 60%以下

オ 二条大麦（麦茶の製造用以外のもの）

評価項目	基準値	許容値
容積重	709g/L 以上	—
細麦率	2.5mm（篩）下に 3.0%以下	—
白度	40 以上 基準歩留：55% 農産物検査時から 1 ヶ月経過したサンプル	37 以上
正常粒率	80%以上（65%歩留時） 1.8mm（篩）上（砕粒を除く）	70%以上

カ 二条大麦、六条大麦及びはだか麦（麦茶の製造用）

評価項目	基準値	許容値
たんばく	I 7.5%以上 9.0%未満	6.5%以上
	II 9.0%以上 10.5%未満	
	III 10.5%以上	
細麦率	六条大麦 2.0mm（篩）下に 2.0%以下 二条大麦 2.2mm（篩）下に 2.0%以下 はだか麦 2.0mm（篩）下に 2.0%以下	—

注) たんばく I は品質評価項目の基準値を 1 つ達成、たんばく II は 2 つ達成、たんばく III は 3 つ達成したものとする。

8 令和7年産群馬県産麦品質評価結果

(1) 日本めん用小麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量(t)	ロット数	数量(t)	ロット		数量(t)	
					数	比率(%)	数量(t)	比率(%)
A	7	12,771	5	764	12	44	13,535	72.8
B	10	6,576	4	127	14	52	6,703	36.0
C	1	72	0	0	1	4	72	0.4
D	0	0	0	0	0	0	0	0.0
分析総数	18	19,419	9	891	27	100	18,604	100.0

系統別	J A等名	銘柄	数量(t)	たんぱく(%)	灰分(%)	容積重(g/ℓ)	フォーリングナンバー	ランク
全農	前橋市	さとのそら	4,030	9.7	1.55	839	371	A
全農	前橋市	つるぴかり	1,239	8.8	1.60	811	353	B
全農	佐波伊勢崎	さとのそら	5,375	9.4	1.59	847	431	A
全農	佐波伊勢崎	つるぴかり	1,031	9.1	1.56	857	393	A
全農	佐波伊勢崎	きぬの波	87	9.9	1.44	835	438	A
全農	高崎市	さとのそら	777	9.2	1.58	833	386	B
全農	高崎市	きぬの波	908	8.3	1.55	838	420	B
全農	はぐくみ	さとのそら	72	9.1	1.63	839	362	C
全農	多野藤岡	さとのそら	683	9.7	1.58	833	396	A
全農	多野藤岡	きぬの波	151	8.8	1.46	840	411	A
全農	甘楽富岡	さとのそら	149	9.5	1.56	822	389	B
全農	碓氷安中	つるぴかり	83	8.9	1.51	836	431	B
全農	北群渋川	さとのそら	141	8.5	1.59	805	376	B
全農	新田みどり	さとのそら	80	9.6	1.55	824	397	B
全農	新田みどり	さとのそら	965	9.4	1.55	812	388	B
全農	太田市	さとのそら	1,414	9.9	1.52	821	382	A
全農	邑楽館林	さとのそら	994	9.6	1.52	817	373	B
全農	邑楽館林	つるぴかり	1,239	8.8	1.60	811	353	B
全集	関商店	さとのそら	160	10.1	1.57	832	363	A
全集	関商店	つるぴかり	68	9.6	1.65	857	375	B
全集	鈴木商店	さとのそら	404	10.6	1.49	840	387	A
全集	鈴木商店	つるぴかり	38	9.2	1.55	796	391	B
全集	米庄商店	さとのそら	9	8.7	1.59	798	371	B
全集	藤岡中央食販	さとのそら	3	8.9	1.56	846	387	A
全集	麻生商店	さとのそら	110	10.4	1.54	823	384	A
全集	新井敏一	さとのそら	12	9.6	1.55	819	361	B
全集	吹上商事	さとのそら	88	10.3	1.62	850	375	A

(2)パン・中華めん用小麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量(t)	ロット数	数量(t)	ロット		数量(t)	
					数	比率(%)	数量(t)	比率(%)
A	7	1,072	3	98	10	91	1,170	100
B	0	0	0	0	0	0	0	0
C	1	19	0	0	1	9	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	8	1,091	3	98	11	100	1,170	100

系統別	J A 等名	銘柄	数量(t)	たんぱく(%)	灰分(%)	容積重(g/ℓ)	フォーリング ⁺ ナンバー	ランク
全農	前橋市	ゆめかおり	227	12.2	1.40	838	429	A
全農	佐波伊勢崎	ゆめかおり	543	10.8	1.46	866	456	A
全農	高崎市	ゆめかおり	19	9.8	1.46	797	404	C
全農	多野藤岡	ゆめかおり	86	10.7	1.45	840	423	A
全農	はぐくみ	ゆめかおり	16	11.0	1.40	844	399	A
全農	新田みどり	ゆめかおり	24	11.5	1.40	850	419	A
全農	甘楽富岡	ゆめかおり	27	11.6	1.47	845	430	A
全農	北群渋川	ゆめかおり	149	11.0	1.46	878	419	A
全集	関商店	ゆめかおり	20	11.1	1.41	844	497	A
全集	鈴木商店	ゆめかおり	29	12.4	1.33	868	405	A
全集	麻生商店	ゆめかおり	49	11.1	1.40	856	435	A

(3)主食用小粒大麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量(t)	ロット数	数量(t)	ロット		数量(t)	
					数	比率(%)	数量(t)	比率(%)
A	2	342	0	0	2	18	342	23.0
B	4	895	1	97	5	45	992	66.6
C	1	39	1	16	2	18	55	3.7
D	1	90	1	11	2	18	101	6.8
分析総数	8	1,366	3	125	11	100	1490	100.0

系統別	JA等名	銘柄	数量(t)	容積重(g/ℓ)	細麦率(%)	白度(%)	硝子率(%)	ランク
全農	赤城橘	シュンライ	3	735	0.8	41	40	A
全農	前橋市	シュンライ	339	694	0.5	43	30	A
全農	佐波伊勢崎	シュンライ	90	671	3.5	42	49	D
全農	高崎市	シュンライ	332	704	0.1	41	46	B
全農	はぐくみ	シュンライ	45	714	0.1	41	50	B
全農	北群渋川	シュンライ	59	719	0.0	42	46	B
全農	太田市	シュンライ	39	725	1.1	38	59	C
全農	邑楽館林	シュンライ	458	709	0.4	40	44	B
全集	関商店	シュンライ	16	714	0.5	42	56	C
全集	鈴木商店	シュンライ	97	671	0.5	42	32	B
全集	麻生商店	シュンライ	11	676	0.9	37	46	D

(4)主食用大粒大麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量(t)	ロット数	数量(t)	ロット		数量(t)	
					数	比率(%)	数量(t)	比率(%)
A	2	88	0	0	2	100	88	100
B	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	2	88	0	0	2	100	88	100

系統別	JA等名	銘柄	数量(t)	容積重 (g/ℓ)	細麦率 (%)	白度 (%)	正常粒率 (%)	ランク
全農	佐波伊勢崎	サチホゴールドデン	36	746	0.2	38	99	A
全農	新田みどり	サチホゴールドデン	52	735	4.6	40	99	A

9 令和7年産 麦類生育基本調査結果

農業技術センター 稲麦研究センター

＜小麦「さとのそら」の生育概要＞

播種後3月中旬までの気温は平年並に近く、節間伸長開始期は平年並であった。3月下旬は平年よりかなり高温であったが3/29～4/5は低温となり、その後4月中旬は高温となったが、出穂期は平年より1日遅れた。その後、4月中下旬と5月中旬は平年より高かったが、5月上旬・下旬は平年より低く、成熟期は平年並であった。

収量は439 g/m²で平年比93%と少なかった。その要因としては、1穂当り稔実粒数と千粒重は平年を上回ったが、有効穂数が442本/m²で平年比90%と少なかったことが考えられた。外観品質は良好で、検査等級1等であった。

1. 試験条件

- (1) 供試品種 さとのそら
- (2) 土壌条件 淡色多湿黒ボク土（標高118 m）、水田裏作
- (3) 試験規模 1区54 m²、2反復
- (4) 耕種概要 播種期：令和6年11月14日
播種量：100粒/m²、播種法：畦間60 cm、条間12 cm、2条寄せ畝テープシーダー
施肥量：基肥N量0.6 kg/a（燐加安486号）
追肥N量0.2 kg/a（硫安）（令和7年3月6日）

2. 試験結果

(1) 気象経過（播種期11月14日～成熟期6月6日）（図1）

平均気温は、旬別で11月下旬から3月中旬まで、1月下旬（平年差+2.3℃）を除き平年並に近かった。3月下旬は平年よりかなり高温（平年差+3℃）であったが、3/29～4/5は低温となった。その後、4月中下旬と5月中旬は平年より高かったが、5月上旬・下旬は平年より低かった。

降水量は、生育期間中の合計が376 mmで平年比106%と多かった。月別では、12～2月の降雨はごくわずかで平年を大きく下回ったが、3～5月はまとまった降雨も多く平年を上回った。

日照時間は、生育期間中の合計が1419時間で平年比103%と多かったが、旬別で2月上旬、3月上中旬、4月上旬、5月下旬は平年を大きく下回った。

(2) 生育経過と収穫物調査結果（表1、図2、図3、表2）

出芽は良好であった。幼穂形成始期は3月3日（+2日）で平年より遅れ、節間伸長開始期は3月19日（±0日）で平年並であった。出穂期は4月20日（+1日）で平年よりやや遅れ、成熟期は6月6日（±0日）で平年並であった。

稈長は78 cm（-1.7 cm）で平年より短く、穂長は8.6 cm（-0.4 cm）で平年よりやや短かった。

収量は439 g/m²（93%）で平年より少なく、上麦重歩合は99.0%（±0.0）で平年並であった。収量構成要素では、1穂当り稔実粒数は39.1粒/穂（114%）で平年より多く、千粒重も38.4 g（102%）で平年よりやや大きかったが、上麦粒数歩合は97.3%（-0.5）で平年よりやや低く、有効穂数は442本/m²（90%）で平年より少なかった。

外観品質は良好で、検査等級1等であった。

注）（ ）内は過去10カ年平均値との比較

【参考：二条大麦「サチホゴールド」】（表3）

出穂期は4月7日（±0日）で平年並、成熟期は5月21日（-2日）で平年より早まった。稈長は89 cm（-3.7 cm）で平年より短く、穂長は6.6 cm（+0.2 cm）で平年よりやや長かった。

収量は327 g/m²（78%）で平年より少なく、上麦重歩合は85.9%（±0）で平年並であった。収量構成要素では、穂数は625本/m²（93%）で少なく、千粒重は47.4 g（99%）でやや小さかった。

外観品質は、裂皮粒、未熟粒が発生したが、検査等級2等（ビール大麦）で平年より優れた。

注）（ ）内は過去10カ年平均値との比較

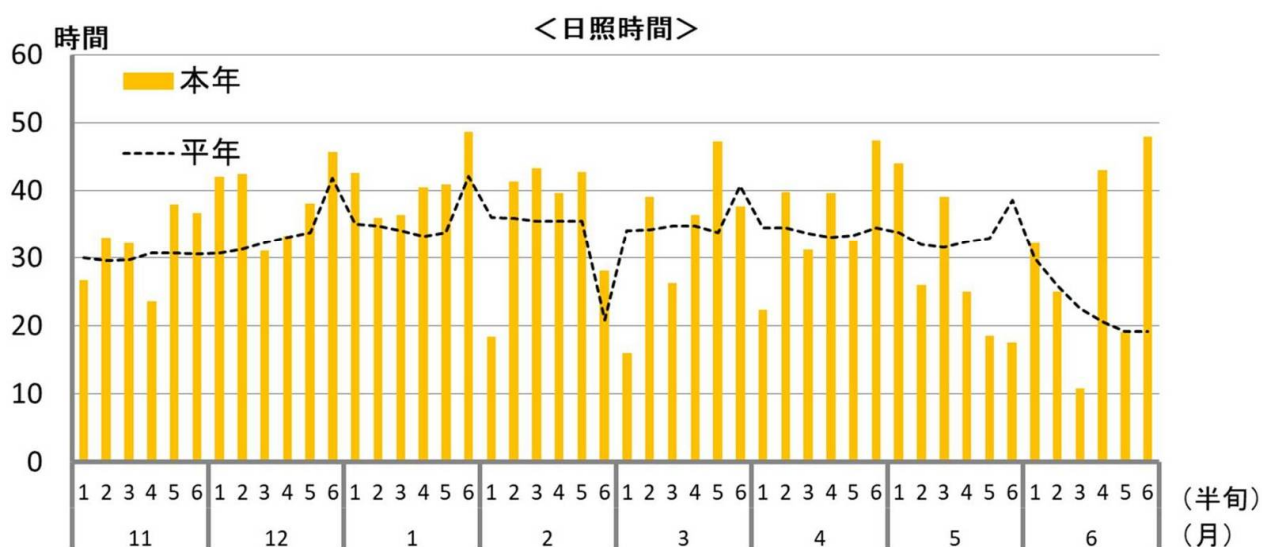
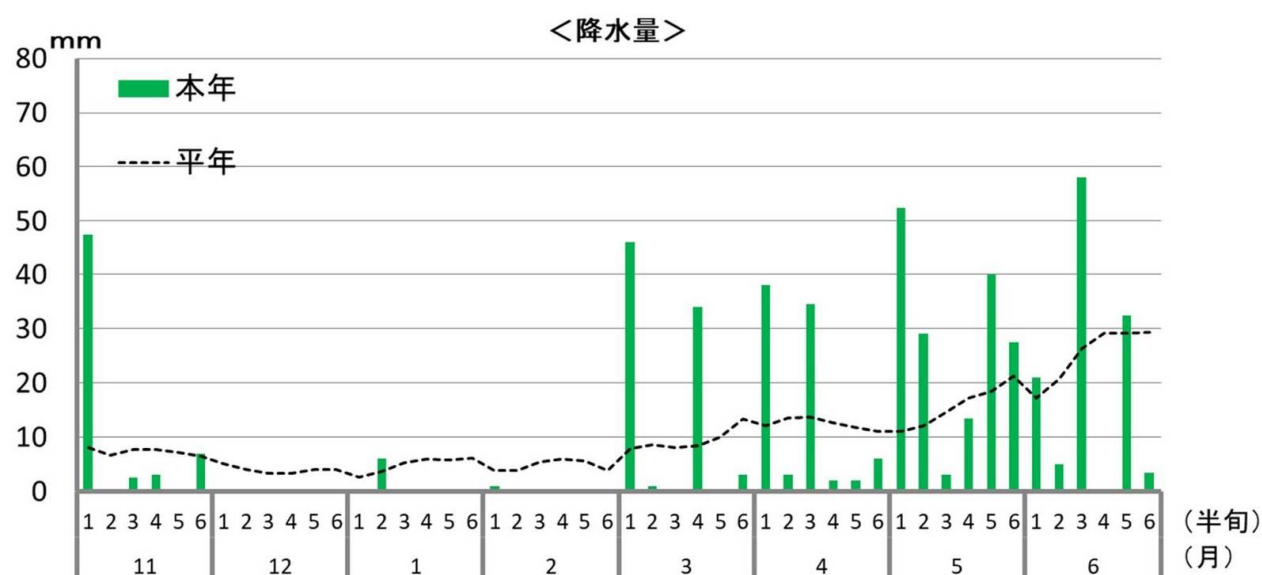
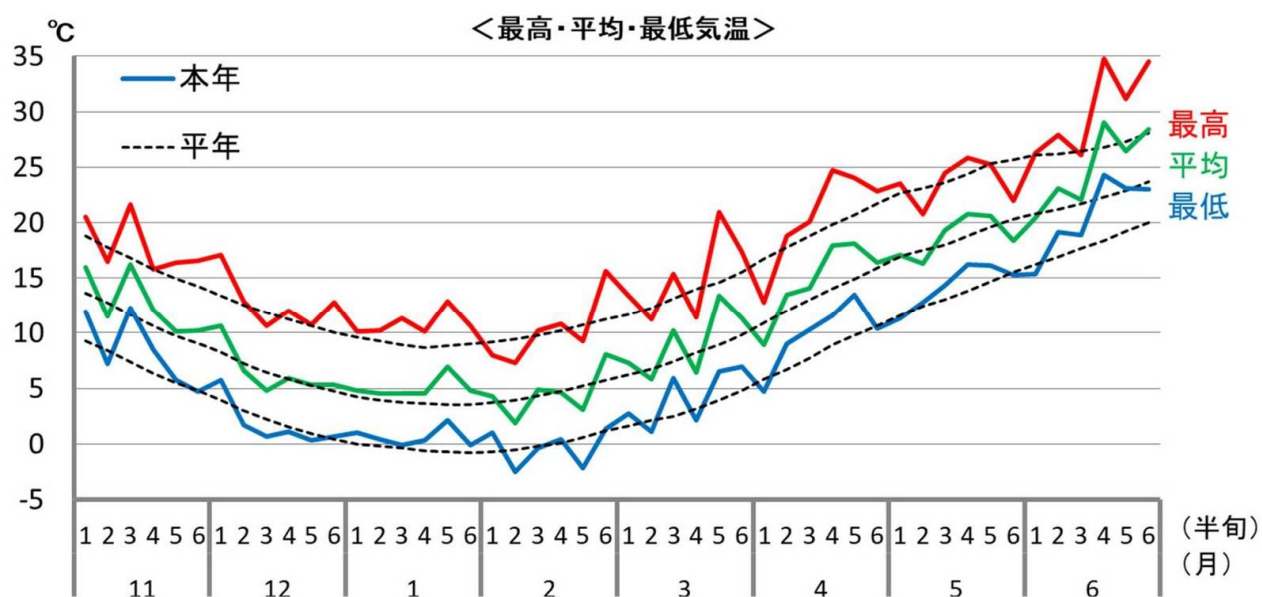


図1 気象経過(令和6年11月1半旬～令和7年6月6半旬)

注)前橋地方気象台のデータ。平年値は1991年～2020年。

表 1 令和 7 年産小麦生育基本調査結果概要(前年・平均比較)

項 目		本年	前年 比・差	平均 比・差
生育 状 況	出芽日数 (日)	11	- 1	- 0.3
	幼穂形成始期 (月/日)	3/3	+ 11	+ 2
	節間伸長開始期 (月/日)	3/19	+ 5	0
	出 穂 期 (月/日)	4/20	+ 4	+ 1
	成 熟 期 (月/日)	6/6	+ 5	0
	稈 長 (cm)	78	- 8.4	- 1.7
	穂 長 (cm)	8.6	- 0.7	- 0.4
収 量 構 成 要 素	有 効 穂 数 (本/㎡)	442	78%	90%
	1穂当り稔実粒数 (粒)	39.1	115%	114%
	上麦粒数歩合 (%)	97.3	-0.6	-0.5
	上麦千粒重 (g)	38.4	109%	102%
	上 麦 重 (g/㎡)	439	86%	93%
品質	検 査 等 級 (等)	1	0	-0.2

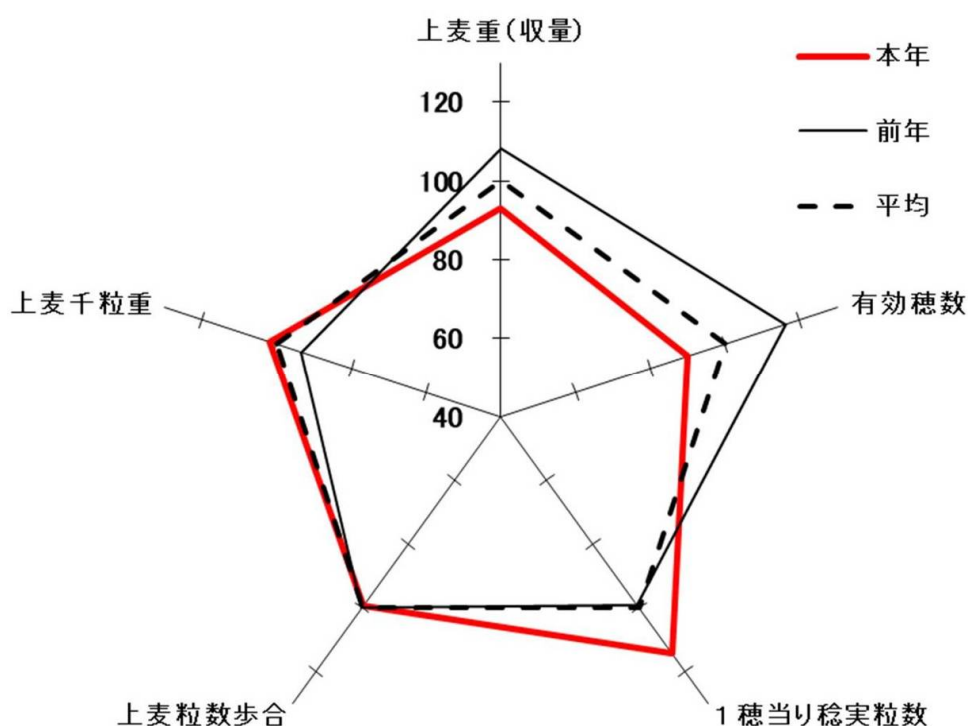


図 2 収量構成要素(前年・平均比較)

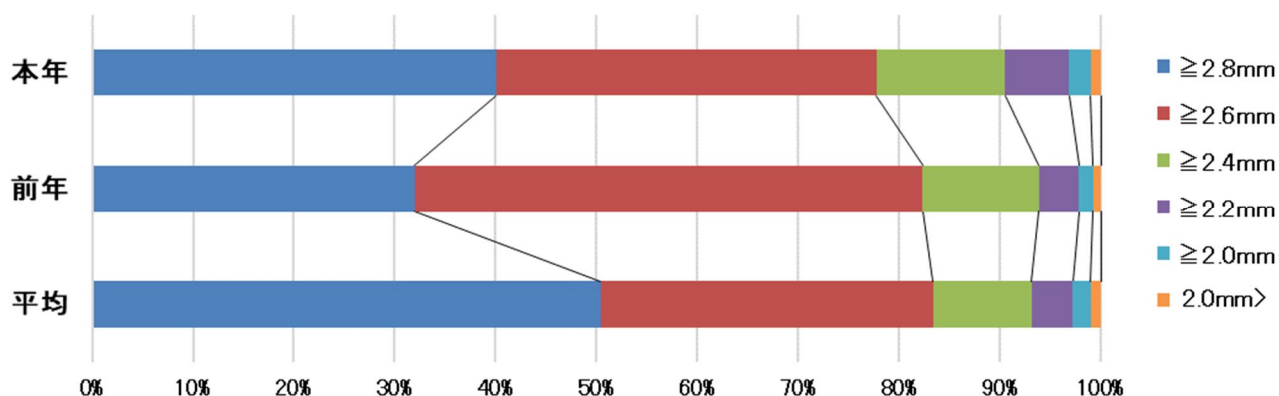


図 3 粒厚分布(前年・平均比較)

表 2 令和 7 年産小麦生育基本調査結果

品 種 名		さとのそら		
試 験 圃		水 田		
比 較 年 次		本 年	前 年	平均(10ヶ年)※
播 種 日		11/14	11/15	11/15
発 芽	出 芽 日 数 (日)	11	12	11.3
	発 芽 の 良 否	良	良	良
生 育 状 況	12月20日調査 草 丈 (cm)	8.3	8.5	8.3
	偽茎長 (cm)	0.3	0.3	0.4
	m ² 当り茎数(本)	123	116	118
	1月20日調査 草 丈 (cm)	8.2	9.4	8.4
	偽茎長 (cm)	0.6	0.4	0.9
	m ² 当り茎数(本)	362	360	319
	2月10日調査 草 丈 (cm)	8.4	10.9	8.9
	偽茎長 (cm)	1.3	1.8	1.8
	m ² 当り茎数(本)	617	673	525
	3月 1日調査 草 丈 (cm)	11.8	20.0	13.4
	偽茎長 (cm)	2.1	4.4	3.3
	m ² 当り茎数(本)	828	1061	924
	3月20日調査 草 丈 (cm)	22.0	35.4	28.1
	偽茎長 (cm)	8.2	13.7	12.4
	m ² 当り茎数(本)	766	949	971
	4月10日調査 草 丈 (cm)	60.5	63.6	60.8
	m ² 当り茎数(本)	626	660	688
	幼穂形成始期 (月/日)	3/3	2/20	3/1
	偽茎長 (cm)	2.4	3.4	4.1
収 量 構 成 要 素	節間伸長開始期 ① (月/日)	3/19	3/14	3/19
	偽茎長 (cm)	6.5	7.9	8.2
	出 穂 期 ② (月/日)	4/20	4/16	4/19
	穂 揃 日 数 (日)	2	2	3
	①～②までの日数 (日)	32	33	31
	成 熟 期 (月/日)	6/6	6/1	6/6
	登 熟 日 数 (日)	47	46	48
	稈 長 (cm)	78	87	80
	穂 長 (cm)	8.6	9.3	9.0
	全 穂 数 (本/m ²)	443	578	496
収 量	有 効 穂 数 (本/m ²)	442	570	491
	有効穂数歩合 (%)	99.8	98.6	99.1
	1穂当り稈実粒数 (粒)	39.1	33.9	34.2
	上麦粒数歩合 (%)	97.3	97.9	97.8
品 質	上麦千粒重 (g)	38.4	35.2	37.7
	m ² 当り上麦重 (g)	439	512	472
	1穂当り上麦重 (g)	0.99	0.90	0.97
品 質	上麦重歩合 (%)	99.0	99.2	99.0
	原粒蛋白質含有率 (%)	8.5	8.2	9.2
	容積重 (g/L)	797	776	799
	フォーリングナンバー値	366	358	384
被 害 発 生 状 況	灰分含有率 (%)	1.53	1.44	1.57
	検 査 等 級	1	1	1.2
被 害 発 生 状 況		-	-	-

※ 上麦:2.0mm以上とし、品質については上麦を調査。m²当り上麦重、上麦千粒重…水分12.5%換算

※ 原粒蛋白質含有率:Inframatic 9500 (Perten)による原粒の近赤外分析。(水分13.5%換算)

※ 原粒灰分:550℃燃焼による灰分含有率(水分13.5%換算)

※ 偽茎長は令和5～6年産の2ヶ年平均

表 3 令和 7 年産二条大麦生育基本調査結果

品 種 名		サチホゴールド		
試 験 圃		水 田		
比 較 年 次		本 年	前 年	平 均※
播 種 日		11/14	11/15	11/15
発芽	出 芽 日 数(日)	10	12	10.4
	発 芽 の 良 否	良	良	良
生育 状 況	12月20日調査 草 丈 (cm)	10.5	9.4	8.7
	偽茎長 (cm)	0.5	0.5	0.5
	m ² 当り茎数(本)	308	277	207
	1月20日調査 草 丈 (cm)	11.2	13.2	12.1
	偽茎長 (cm)	1.0	0.9	1.1
	m ² 当り茎数(本)	693	662	663
	2月20日調査 草 丈 (cm)	18.2	23.9	19.1
	偽茎長 (cm)	3.5	6.3	5.2
	m ² 当り茎数(本)	943	1163	964
	3月20日調査 草 丈 (cm)	33.7	44.6	48.7
	m ² 当り茎数(本)	778	753	829
	幼穂形成始期 (月/日)	1/30	1/29	2/4
	偽茎長 (cm)	2.1	2.5	2.4
	節間伸長開始期① (月/日)	3/3	2/22	3/5
	偽茎長 (cm)	5.1	6.9	7.3
	出 穂 期 ② (月/日)	4/7	4/5	4/7
	①～②までの日数 (日)	35	42	32
	成 熟 期 (月/日)	5/21	5/19	5/23
収量 構 成 要 素	登 熟 日 数 (日)	44	44	46
	稈 長 (cm)	89	86	93
	穂 長 (cm)	6.6	6.1	6.4
	全 穂 数 (本/m ²)	625	567	669
	1穂当り稈実粒数 (粒)	22.1	23.6	23.4
収 量	稈実粒数歩合 (%)	98.6	98.8	96.9
	上麦千粒重 (g)	47.4	45.5	47.7
	上麦重歩合 (%)	85.9	82.0	85.9
	m ² 当り上麦重 (g)	327	315	417
	1穂当り収量 (g)	0.52	0.56	0.63
品 質	原粒蛋白質含有率 (%)	9.1	9.6	10.2
	容 積 重 (g/L)	718	727	736
	検査等級 ビール大麦 大粒大麦	2 -	2 -	等外上 -
被 害 発 生 状 況		裂皮粒、未熟粒	退色粒、裂皮粒、未熟粒	-

※ 上麦: 2.5mm以上とし、品質については上麦を調査。m²当り上麦重、上麦千粒重・水分12.5%換算

※ 原粒蛋白質含有率: Inframatic 9500 (Pertent)による原粒の近赤外分析。(無水換算)

※ 幼穂形成始期までのデータおよび一穂当り稈実粒数、稈実粒数歩合はH30～R6年産の7ヶ年平均、偽茎長はR5～R6年産の2ヶ年平均、それ以外はH27～R6年産の10ヶ年平均。

10 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移

(1) 群馬県

区分	4 麦 合 計		小 麦					二 条 大 麦				
年度	作付面積 ha	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t
S25	70,700	148,400	45,700	198	220	90	90,100					
30	66,000	200,600	38,900	298	262	114	116,100					
35	63,900	172,000	36,700	248	281	88	91,000	645	271	—	—	1,740
40	43,600	111,300	32,300	248	279	89	80,100	1,150	289	335	86	3,320
45	23,400	79,600	19,300	341	323	106	65,800	1,730	340	341	100	5,880
50	11,300	42,000	9,450	375	335	112	35,400	1,430	358	346	103	5,120
51	12,100	34,600	10,200	283	345	82	28,900	1,550	279	346	81	4,320
52	12,500	48,500	10,500	389	345	113	40,800	1,800	366	346	106	6,590
53	14,300	50,800	11,700	359	350	103	42,000	2,340	332	346	96	7,770
54	15,600	62,100	12,600	394	350	113	49,600	2,740	415	346	120	11,400
55	16,400	57,400	13,500	351	361	97	47,400	2,620	329	351	94	8,620
56	16,500	67,400	13,600	408	361	113	55,500	2,610	393	351	112	10,300
57	16,300	62,300	13,300	389	375	104	51,700	2,590	345	361	96	8,940
58	16,400	69,800	13,300	439	378	116	58,400	2,580	363	361	101	9,370
59	16,700	64,000	13,600	380	385	99	51,700	2,500	404	363	111	10,100
60	16,500	67,900	13,200	418	393	106	55,200	2,710	371	370	100	10,100
61	16,700	71,000	13,100	429	399	108	56,200	2,920	411	376	109	12,000
62	16,800	67,200	12,900	393	405	97	50,700	3,230	416	382	109	13,400
63	16,900	75,800	12,900	447	408	110	57,700	3,250	446	390	114	14,500
H1	17,000	73,600	12,900	428	414	103	55,200	3,380	444	394	113	15,000
2	16,200	69,100	11,900	428	420	102	50,900	3,470	425	402	106	14,700
3	15,100	58,400	11,100	390	423	92	43,300	3,340	378	412	92	12,600
4	14,100	57,300	10,500	398	426	93	41,800	3,110	431	416	104	13,400
5	13,300	58,700	9,840	430	426	101	42,300	3,130	467	416	112	14,600
6	12,700	54,600	9,330	416	426	98	38,800	3,110	463	426	109	14,400
7	12,300	57,000	9,020	462	426	108	41,700	3,040	460	431	107	14,000
8	11,900	54,600	8,690	455	428	106	39,500	2,900	471	435	108	13,700
9	11,400	49,800	8,360	439	439	100	36,700	2,720	435	444	98	11,800
10	11,200	41,500	8,420	387	441	88	32,600	2,440	337	454	74	8,220
11	10,400	42,400	8,090	406	441	92	32,800	2,040	420	456	92	8,570
12	10,100	45,200	7,950	444	441	101	35,300	1,880	470	459	102	8,840
13	10,200	43,400	8,070	422	441	96	34,100	1,840	445	459	97	8,190
14	10,100	47,100	8,130	467	441	106	38,000	1,640	459	459	100	7,530
15	10,100	46,500	8,190	468	441	106	38,300	1,570	435	459	95	6,830
16	9,690	32,700	7,950	338	441	77	26,900	1,430	325	459	71	4,650
17	9,320	38,500	7,680	417	425	98	32,000	1,310	390	419	93	5,110
18	9,220	39,500	7,610	440	431	102	33,500	1,250	381	430	89	4,760
19	7,890	30,200	6,310	393	438	90	24,800	1,220	337	422	80	4,110
20	7,920	33,000	6,340	418	428	98	26,500	1,200	408	398	103	4,900
21	7,900	31,900	6,260	411	427	96	25,700	1,210	396	390	102	4,590
22	7,660	25,900	5,960	337	416	81	20,100	1,250	348	382	91	4,350
23	7,640	29,200	5,860	386	395	98	22,600	1,290	362	370	98	4,670
24	7,810	32,600	5,890	451	405	111	26,600	1,400	315	375	84	4,410
25	7,830	32,900	5,860	433	410	106	25,400	1,470	368	365	101	5,410
26	7,720	29,400	5,750	410	408	100	23,600	1,470	309	362	85	4,540
27	7,590	30,800	5,580	421	412	102	23,500	1,480	364	358	102	5,390
28	7,640	30,400	5,580	424	412	103	23,700	1,530	336	351	96	5,140
29	7,670	31,800	5,570	436	415	105	24,300	1,570	367	345	106	5,760
30	7,760	29,800	5,680	406	425	96	23,100	1,580	322	349	92	5,090
R1	7,650	30,200	5,570	412	425	97	22,900	1,580	351	341	103	5,550
2	7,650	29,800	5,500	403	420	96	22,200	1,630	357	348	103	5,820
3	7,630	29,500	5,430	386	415	93	21,000	1,670	403	346	116	6,730
4	7,530	29,900	5,380	416	413	101	22,400	1,640	354	355	100	5,810
5	7,560	30,400	5,330	420	413	102	22,400	1,720	366	353	104	6,300
6	7,471	30,464	5,300	439	413	106	23,300	1,680	336	359	94	5,640
7	7,398	31,804	5,270	440	413	107	23,200	1,640	425	353	120	6,970

資料：農林水産統計「麦類（子実用）の作付面積及び収穫量」（確報）による。

- (注) 1. 昭和30年以前の六条大麦は、二条大麦を含む値である。
2. 平成17年から平年収量ではなく平均収量（直近7カ年の内、最高及び最低を除いた5カ年の平均値）。
3. 平成17年から作況指数ではなく平均収量対比となった。
4. 四捨五入の関係で、4麦合計と内訳が一致しない場合がある。

区分	六 条 大 麦					は だ か 麦				
年度	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t
S25	21,700	238	239	100	51,600	3,340	220	—	—	6,720
30	21,400	318	302	105	67,900	5,660	293	278	106	16,600
35	24,700	303	316	96	74,600	1,810	257	300	86	4,670
40	9,780	275	275	100	26,900	343	278	316	88	954
45	2,210	334	330	101	7,380	176	315	300	105	554
50	364	367	345	106	1,340	41	339	307	110	139
51	389	316	349	91	1,230	41	295	317	93	121
52	254	385	349	110	978	32	363	323	112	116
53	265	351	355	99	930	35	323	334	97	113
54	250	403	355	114	1,010	24	379	334	113	91
55	335	388	365	106	1,300	22	327	340	96	72
56	358	434	365	119	1,550	16	363	340	107	58
57	440	377	379	99	1,660	7	314			22
58	522	393	384	102	2,050	3	356			12
59	529	420	390	108	2,220	0	291			1
60	630	413	398	104	2,600	0	322			1
61	644	430	405	106	2,770	0	316			0
62	694	442	412	107	3,070	0	300			0
63	762	472	420	112	3,600	0	317			0
H 1	757	446	428	104	3,380	0	332	—	—	0
2	773	446	431	103	3,450	—	—	—	—	—
3	618	403	437	92	2,490	—	—	—	—	—
4	466	460	441	104	2,140	—	—	—	—	—
5	369	496	441	112	1,830	—	—	—	—	—
6	306	468	454	103	1,430	—	—	—	—	—
7	272	467	456	102	1,270	—	—	—	—	—
8	276	494	456	108	1,360	—	—	—	—	—
9	280	457	462	99	1,280	—	—	—	—	—
10	287	253	463	55	726	—	—	—	—	—
11	252	419	463	90	1,060	—	—	—	—	—
12	226	474	461	103	1,070	—	—	—	—	—
13	261	434	457	95	1,130	—	—	—	—	—
14	334	457	457	100	1,530	—	—	—	—	—
15	307	442	455	97	1,360	—	—	—	—	—
16	312	355	453	...	1,110	—	—	—	—	—
17	328	409	421	97	1,340	—	—	—	—	—
18	355	355	432	82	1,260	—	—	—	—	—
19	364	354	419	84	1,290	—	—	—	—	—
20	376	412	399	103	1,550	—	—	—	—	—
21	422	381	395	96	1,610	—	—	—	—	—
22	460	324	382	85	1,490	—	—	—	—	—
23	489	389	371	105	1,900	—	—	—	—	—
24	523	310	378	82	1,620	—	—	—	—	—
25	504	409	361	122	2,060	—	—	—	—	—
26	498	259	371	70	1,290	—	—	—	—	—
27	523	360	363	99	1,880	—	—	—	—	—
28	532	310	353	88	1,650	—	—	—	—	—
29	527	328	339	97	1,730	—	—	—	—	—
30	491	325	339	96	1,600	3	200	—	—	6
R 1	494	360	327	110	1,780	5	257	—	—	13
2	515	341	337	101	1,760	3	184	—	—	6
3	520	342	333	103	1,780	3	293	214	137	9
4	506	332	340	98	1,680	1	298	234	127	3
5	509	331	334	99	1,680	1	283	250	113	3
6	490	310	335	93	1,520	1	395	258	153	4
7	487	335	335	100	1,630	1	380	266	143	4

作柄と作況指数
 良： 106以上
 やや良： 102～105
 平年並み： 99～101
 やや不良： 95～98
 不良： 94以下

(2) 全国

区分	4 麦 合 計		小 麦					二 条 大 麦				
年度	作付面積 千ha	収穫量 千 t	作付面積 千ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数	収穫量 千 t	作付面積 千ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数	収穫量 千 t
S25	1,784	3,298	794	175			1,338					
30	1,659	3,875	663	221			1,468					
35	1,440	3,831	602	254			1,531	83	279			231
40	898	2,521	476	270			1,287	113	281			318
45	455	1,046	229	207	275	75	474	99	271	307	88	269
50	168	462	90	269	280	96	241	50	276	296	93	137
51	169	433	89	250	283	88	222	53	254	292	87	135
52	164	442	86	275	285	96	236	53	252	293	86	135
53	208	693	112	327	284	115	367	70	342	295	116	239
54	265	948	149	363	286	127	541	84	352	296	119	294
55	313	968	191	305	298	102	583	85	317	302	105	269
56	347	970	224	262	303	86	587	83	318	305	104	264
57	351	1,132	228	326	305	107	742	82	317	307	103	259
58	353	1,075	229	303	311	97	695	84	297	311	95	249
59	349	1,136	232	319	316	101	741	82	262	313	116	295
60	347	1,252	234	374	319	117	874	80	331	319	104	264
61	353	1,220	246	357	328	109	876	76	329	324	102	249
62	383	1,217	271	319	337	95	864	76	312	329	95	237
63	396	1,420	282	362	338	107	1,021	74	356	332	107	265
H 1	397	1,356	284	347	343	101	985	76	344	335	103	260
2	366	1,297	260	365	348	105	952	74	344	338	102	254
3	334	1,042	239	318	356	89	759	68	303	344	88	207
4	299	1,045	215	354	367	96	759	63	357	345	103	225
5	261	921	184	347	369	112	638	61	375	348	112	228
6	214	790	152	372	380	109	565	55	362	353	109	200
7	210	662	151	293	379	77	444	51	375	354	106	192
8	216	711	159	302	377	80	478	46	411	358	115	190
9	215	766	158	364	376	97	573	44	337	365	92	148
10	217	713	162	351	375	94	570	39	273	368	74	107
11	221	788	169	345	377	92	583	37	411	368	112	151
12	237	903	183	376	377	100	688	37	419	370	113	154
13	257	906	197	355	355	95	700	40	351	351	94	139
14	272	1,045	207	401	371	108	828	41	334	374	89	136
15	276	1,054	212	403	370	109	856	40	312	370	84	123
16	272	1,056	213	404	371	109	860	37	347	369	94	129
17	268	1,062	214	411	377	109	877	35	358	354	101	125
18	272	1,011	218	383	391	98	837	34	347	365	95	118
19	264	1,105	210	434	395	110	910	32	373	352	106	129
20	265	1,100	209	423	403	105	882	35	410	345	119	145
21	266	854	208	324	412	79	675	36	321	353	91	116
22	266	729	207	274	408	67	568	37	285	354	81	104
23	272	912	212	353	388	91	746	38	317	348	91	119
24	270	1,027	209	409	378	108	855	38	292	341	86	112
25	270	995	210	386	379	101	811	38	311	331	91	117
26	273	1,019	213	399	379	105	849	38	287	325	88	108
27	274	1,181	213	471	371	127	1,004	38	298	313	95	113
28	276	947	214	363	371	98	778	38	276	305	90	105
29	274	1,087	212	426	384	111	905	38	308	295	104	118
30	273	941	212	362	399	91	768	38	315	301	105	121
R 1	273	1,260	212	490	399	123	1,037	38	386	301	128	147
2	276	1,171	213	447	411	109	949	39	368	306	121	145
3	283	1,311	220	490	423	116	1,078	38	409	317	129	156
4	290	1,220	227	434	441	98	987	38	396	337	118	150
5	296	1,326	232	472	434	109	1,094	39	389	356	109	151
6	297	1,208	232	442	455	97	1,023	40	297	372	80	119
7	294	1,250	230	449	458	98	1,022	40	379	372	102	152

資料：農林水産統計「麦類（子実用）の作付面積及び収穫量」（確報）による。（令和7年産については第1報）

- (注) 1. 昭和30年以前の六条大麦は、二条大麦を含む値である。
2. 平成17年から平年収量ではなく平均収量（直近7カ年の内、最高及び最低を除いた5カ年の平均値）。
3. 平成17年から作況指数ではなく平均収量対比となった。
4. 四捨五入の関係で、4麦合計と内訳が一致しない場合がある。

区分	六 条 大 麦					は だ か 麦				
年度	作付面積 千ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数	収穫量 千 t	作付面積 千ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数	収穫量 千 t
S25	429	209			897	591	180			1,063
30	434	265			1,148	562	224			1,260
35	319	305			975	436	251			1,095
40	132	305			403	177	290			513
45	46	320	337	98	148	80	193	269	72	155
50	11	334	334	105	37	17	271	274	99	47
51	11	328	326	101	35	17	244	278	88	40
52	10	336	335	100	33	15	261	280	93	39
53	11	336	332	101	37	15	330	284	116	50
54	15	347	325	107	54	17	352	286	123	59
55	19	325	326	100	63	18	296	294	101	53
56	23	286	318	90	67	16	327	299	109	53
57	26	312	317	98	82	15	326	306	107	48
58	27	343	321	107	91	14	291	311	94	39
59	24	241	326	74	58	11	383	313	122	43
60	23	331	327	101	76	10	366	321	114	38
61	22	295	330	89	65	10	314	332	95	30
62	27	330	324	102	89	8	317	337	94	27
63	31	339	318	107	105	9	340	340	100	29
H 1	29	298	314	95	86	9	296	348	85	25
2	25	282	316	89	69	8	298	349	85	23
3	21	300	313	96	63	6	225	347	65	14
4	17	291	314	93	49	4	296	343	78	12
5	13	328	316	112	44	3	375	335	112	12
6	4	345	345	109	14	3	356	337	109	12
7	4	324	347	93	12	4	358	334	107	14
8	7	374	330	113	26	4	438	337	130	18
9	9	334	338	99	29	5	332	340	98	17
10	10	253	341	74	26	5	199	345	58	11
11	10	338	339	100	35	5	392	345	114	19
12	11	336	337	100	38	5	409	350	117	22
13	15	320	320	95	48	6	328	328	92	20
14	18	347	341	102	61	6	325	357	91	20
15	18	312	345	90	57	6	312	356	88	18
16	18	291	338	86	51	5	306	352	87	16
17	16	309	319	97	48	5	267	334	80	12
18	15	278	327	85	43	4	303	337	90	13
19	16	334	318	105	53	4	356	315	113	14
20	17	333	311	107	56	4	370	311	119	16
21	18	301	310	97	53	4	253	315	80	11
22	17	261	307	85	45	5	252	309	82	12
23	17	222	299	74	39	5	267	295	91	14
24	17	280	289	97	48	5	247	290	85	12
25	17	305	291	105	52	5	291	288	101	15
26	17	271	294	92	47	5	282	284	99	15
27	18	290	286	101	53	5	215	270	80	11
28	18	293	281	104	53	5	199	255	78	10
29	18	283	278	102	51	5	256	251	102	13
30	17	224	285	79	39	5	252	252	100	14
R 1	18	315	285	111	56	6	351	250	140	20
2	18	314	290	108	57	6	322	260	124	20
3	18	304	292	104	55	7	320	266	120	22
4	19	336	298	113	65	6	291	275	106	17
5	20	329	304	108	64	6	301	290	104	17
6	20	278	310	90	54	5	227	299	76	12
7	19	317	308	103	59	5	320	299	107	17

作柄と作況指数 良： 1 0 6 以上

やや良： 1 0 2 ～ 1 0 5

平年並み： 9 9 ～ 1 0 1

やや不良： 9 5 ～ 9 8

不良： 9 4 以下

1 1 令和6、7年産市町村別麦類10a当たり収量、収穫量

市町村別	4 麦 計				小 麦					
	作付面積(ha)		収穫量(t)		作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(t)	
	R6年産	R7年産	R6年産	R7年産	R6年産	R7年産	R6年産	R7年産	R6年産	R7年産
前橋市	1,540	1,524	7,400	7,440	1,230	1,220	494	494	6,050	6,020
高崎市	609	611	2,726	2,784	511	508	469	470	2,400	2,390
桐生市	3	10	8	36	x	7	x	384	x	27
伊勢崎市	1,169	1,155	5,233	5,211	1,120	1,110	450	452	5,040	5,020
太田市	625	645	2,440	2,515	625	621	391	391	2,440	2,430
沼田市	1	1	3	3	1	1	283	299	3	3
館林市	761	746	2,359	2,913	122	121	357	359	436	434
渋川市	105	105	332	332	80	80	359	357	287	286
藤岡市	302	326	1,150	1,192	302	300	382	382	1,150	1,150
富岡市	5	5	24	24	5	5	480	478	24	24
安中市	31	34	131	140	31	31	423	421	131	130
みどり市	0	23	0	88	x	23	x	381	x	88
榛東村	4	4	15	15	4	4	375	373	15	15
吉岡町	9	27	28	61	9	9	311	310	28	28
上野村	0	0	1	1	0	0	196	150	1	1
神流町	0	0	0	0	x	0	x	260	x	0
下仁田町	0	0	0	0	0	0	284	284	0	0
南牧村	0	1	0	1	x	1	x	149	x	1
甘楽町	41	41	192	192	41	41	468	466	192	191
中之条町	4	6	13	18	4	4	321	324	13	13
長野原町	0	0	0	0	0	0	193	193	0	0
嬭恋村	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
草津町	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
高山村	0	0	0	0	x	0	x	208	x	0
東吾妻町	1	1	2	2	1	1	189	199	2	2
片品村	0	0	0	0	x	0	x	143	x	0
川場村	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
昭和村	0	0	0	0	x	0	x	220	x	0
みなかみ町	0	1	0	2	x	1	x	199	x	2
玉村町	561	557	2,710	2,748	497	494	491	492	2,440	2,430
板倉町	215	224	722	757	215	214	336	336	722	719
明和町	112	111	365	396	70	70	341	340	239	238
千代田町	469	460	1,522	1,850	100	99	370	372	370	368
大泉町	50	49	164	189	15	15	380	378	57	57
邑楽町	741	728	2,495	2,877	294	292	381	382	1,120	1,120
県計	7,358	7,398	30,035	31,804	5,330	5,270	439	440	23,300	23,200

注) 1. 農林水産関係市町村別統計による。令和7年産は、令和8年3月末公表。

市町村別	二 条 大 麦						六 条 大 麦					
	作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(t)		作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(t)	
	R6年産	R7年産	R6年産	R7年産	R6年産	R7年産	R6年産	R7年産	R6年産	R7年産	R6年産	R7年産
前橋市	195	190	474	524	924	995	115	114	370	373	426	425
高崎市	x	6	x	500	x	30	98	97	333	375	326	364
桐生市	-	-	-	-	-	-	3	3	267	298	8	9
伊勢崎市	15	11	473	500	71	55	34	34	359	401	122	136
太田市	x	10	x	433	x	43	x	14	x	303	x	42
沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
館林市	553	540	308	406	1,700	2,190	86	85	259	340	223	289
渋川市	-	-	-	-	-	-	25	25	180	184	45	46
藤岡市	-	-	-	-	-	-	x	26	x	162	x	42
富岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安中市	-	-	-	-	-	-	x	3	x	319	x	10
みどり市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
榛東村	-	-	-	-	-	-	0	0	162	185	0	0
吉岡町	-	-	-	-	-	-	x	18	x	183	x	33
上野村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神流町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下仁田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南牧村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甘楽町	-	-	-	-	-	-	x	0	x	380	x	1
中之条町	-	-	-	-	-	-	x	2	x	336	x	5
長野原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
嬭恋村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高山村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東吾妻町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
片品村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川場村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
昭和村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
みなかみ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
玉村町	52	51	438	529	228	270	12	12	350	400	42	48
板倉町	x	10	x	383	x	38	-	-	-	-	-	-
明和村	30	29	317	405	95	117	12	12	258	342	31	41
千代田町	329	321	320	421	1,050	1,350	40	40	255	330	102	132
大泉町	35	34	306	389	107	132	-	-	-	-	-	-
邑楽町	445	434	307	403	1,370	1,750	2	2	250	350	5	7
県計	1,680	1,640	336	425	5,640	6,970	490	487	298	335	1,460	1,630

12 令和7年産4麦の作付面積及び収穫量

(1) 小麦

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10 a 当たり 収量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作 付 面 積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg	
全国 (全国農業地域)	229,600	449	1,031,000	△ 2,200	99	101	2,000	100	98	458	
北海道	133,400	504	671,900	1,400	101	93	△ 42,300	94	96	525	
都府県	96,200	373	358,800	△ 3,600	96	118	44,100	114	101	368	
東 北	6,530	288	18,800	△ 280	96	99	△ 1,100	94	110	263	
北 陸	599	274	1,640	△ 8	99	105	60	104	127	215	
関東・東山	21,000	368	77,300	△ 400	98	98	△ 2,800	97	103	359	
東 海	17,400	428	74,400	△ 600	97	129	14,500	124	108	398	
近 畿	8,840	335	29,600	△ 360	96	116	3,100	112	107	314	
中 国	3,050	321	9,800	△ 150	95	113	700	108	91	351	
四 国	2,630	388	10,200	△ 370	88	142	1,990	124	104	373	
九 州	36,100	380	137,100	△ 1,500	96	131	27,600	125	96	397	
沖縄	12	117	14	2	120	82	0	100	89	132	
(都道府県)											
北海道	133,400	504	671,900	1,400	101	93	△ 42,300	94	96	525	
青森	713	262	1,870	△ 34	95	92	△ 260	88	106	248	
岩手	3,710	248	9,200	△ 170	96	100	△ 460	95	112	222	
宮城	1,170	446	5,220	△ 10	99	101	△ 10	100	110	407	
秋田	272	335	911	△ 38	88	99	△ 139	87	116	290	
山形	167	217	362	31	123	105	82	129	92	235	
福島	503	252	1,270	△ 48	91	88	△ 310	80	103	244	
茨城	4,670	298	13,900	△ 100	98	94	△ 1,300	91	99	300	
栃木	2,480	377	9,350	△ 130	95	109	320	104	107	352	
群馬	5,270	440	23,200	△ 30	99	100	△ 100	100	107	413	
埼玉	5,550	377	20,900	0	100	95	△ 1,000	95	98	386	
千葉	757	342	2,590	△ 50	94	104	△ 70	97	109	313	
東京	9	267	24	△ 1	90	127	3	114	136	196	
神奈川	32	244	78	△ 6	84	105	△ 10	89	98	249	
新潟	193	276	533	7	104	84	△ 79	87	108	255	
富山	63	233	147	2	103	115	23	119	127	184	
石川	92	210	193	△ 13	88	132	26	116	111	190	
福井	251	307	771	△ 4	98	115	90	113	153	201	
山梨	63	308	194	△ 25	72	107	△ 59	77	100	309	
長野	2,180	323	7,040	△ 90	96	96	△ 560	93	103	314	
岐阜	3,710	353	13,100	30	101	119	2,200	120	106	333	
静岡	520	213	1,110	△ 104	83	105	△ 150	88	85	252	
愛知	6,050	579	35,000	△ 50	99	122	6,100	121	112	518	
三重	7,170	351	25,200	△ 400	95	141	6,400	134	104	338	
滋賀	6,810	351	23,900	△ 220	97	113	2,100	110	105	333	
京都	193	162	313	△ 17	92	104	△ 15	95	90	181	
大阪	1	165	1	0	100	110	△ 1	50	118	140	
兵庫	1,670	294	4,910	△ 120	93	132	920	123	114	259	
奈良	158	267	422	11	107	105	49	113	97	275	
和歌山	16	269	43	2	114	94	3	108	179	150	
鳥取	90	237	213	△ 9	91	83	△ 71	75	76	313	
島根	71	155	110	△ 61	54	93	△ 109	50	86	181	
岡山	1,050	432	4,540	△ 30	97	127	860	123	106	409	
広島	178	192	342	△ 70	72	108	△ 97	78	97	198	
山口	1,660	277	4,590	20	101	101	110	102	82	338	
徳島	70	324	227	△ 9	89	117	7	103	105	310	
香川	2,240	391	8,760	△ 310	88	149	2,080	131	105	373	
愛媛	321	364	1,170	△ 52	86	105	△ 130	90	96	380	
高知	1	113	1	△ 3	25	100	△ 4	20	77	146	
福岡	15,500	416	64,500	△ 900	95	129	11,700	122	99	422	
佐賀	11,700	389	45,500	△ 200	98	128	9,300	126	94	414	
長崎	619	297	1,840	△ 60	91	117	120	107	99	301	
熊本	5,310	330	17,500	△ 130	98	142	4,900	139	93	354	
大分	2,710	270	7,330	△ 210	93	133	1,400	124	86	315	
宮崎	122	249	304	1	101	209	160	211	118	211	
鹿児島	63	147	93	△ 4	94	131	18	124	82	180	
沖縄	12	117	14	2	120	82	0	100	89	132	

注：1 農林水産統計「令和7年産麦類（子実用）の収穫量（全国農業地域別・都道府県別）」による。

2 「（参考）10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値をいう。ただし、直近7か年全ての10a当たり収量が確保できない場合は、6か年又は5か年の最高及び最低を除いた平均とし、4か年又は3か年の場合は、単純平均である。）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。なお、直近7か年のうち、3か年分の10a当たり収量のデータが確保できない場合は、10a当たり平均収量を作成していない（以下各統計表において同じ。）。

3 全国農業地域別（都府県を除く。）の10a当たり平均収量は、各都道府県の10a当たり平均収量に当年の作付面積を乗じて求めた収穫量（平均収穫量）を全国農業地域別に積み上げ、当年の全国農業地域別作付面積で除して算出している（以下各統計表において同じ。）。

(2) 二条大麦

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作 付 面 積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
全国 (全国農業地域)	ha 40,300	kg 379	t 152,900		ha 200	% 100	% 128	t 33,800	% 128	% 102	kg 372
北海道	1,760	298	5,250		80	105	74	△ 1,500	78	74	403
都府県	38,500	384	147,700		100	100	131	35,300	131	104	371
東 北	41	300	123	△	6	87	88	△ 37	77	118	254
北 陸	7	371	26		5	350	247	23	867	863	43
関東・東山	11,400	373	42,500	△	400	97	106	1,000	102	103	361
東 海	42	281	118		x	x	154	x	x	124	226
近 畿	x	393	x		x	x	141	x	x	119	331
中 国	3,210	333	10,700	△	30	99	113	1,180	112	97	343
四 国	356	427	1,520		x	x	150	x	x	131	326
九 州	23,300	395	92,100		300	101	151	31,800	153	105	375
沖縄 (都道府県)	2	50	1	△	1	67	36	△ 3	25	62	81
北海道	1,760	298	5,250		80	105	74	△ 1,500	78	74	403
青森	0	100	0		x	x	x	x	x	nc	…
岩手	5	240	12		x	x	x	x	x	82	292
宮城	15	451	68	△	7	68	107	△ 25	73	122	369
秋田	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	-	199
山形	1	134	1		1	nc	nc	1	nc	nc	-
福島	20	212	42	△	2	91	83	△ 14	75	123	172
茨城	829	221	1,830	△	111	88	113	△ 10	99	92	239
栃木	8,190	379	31,000	△	280	97	103	△ 300	99	101	375
群馬	1,640	425	6,970	△	40	98	126	1,330	124	120	353
埼玉	710	373	2,650	△	17	98	101	△ 30	99	98	379
千葉	10	110	11		x	x	x	x	x	110	100
東京	1	200	2		0	100	84	0	100	99	203
神奈川	0	50	0		0	nc	nc	0	nc	35	144
新潟	4	400	17		x	x	x	x	x	nc	…
富山	2	230	6		x	x	x	x	x	158	146
石川	-	-	-		x	x	x	x	x	-	104
福井	1	479	3		x	x	x	x	x	nc	…
山梨	1	55	1		x	x	x	x	x	nc	…
長野	15	294	44	△	2	88	126	4	110	119	248
岐阜	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	-
静岡	37	256	95		12	148	164	56	244	125	205
愛知	5	460	23		x	x	x	x	x	120	383
三重	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	-
滋賀	62	506	314		0	100	145	98	145	123	412
京都	74	297	220	△	7	91	128	32	117	113	263
大阪	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	…
兵庫	x	x	x		x	x	x	x	x	x	110
奈良	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	…
和歌山	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	…
鳥取	81	323	262	△	11	88	103	△ 26	91	106	306
島根	411	243	1,000	△	107	79	95	△ 320	76	80	303
岡山	2,160	384	8,300	△	50	98	120	1,230	117	101	381
広島	182	181	329		133	371	120	255	445	155	117
山口	377	223	841	△	2	99	110	75	110	79	284
徳島	27	220	59	△	10	73	108	△ 16	79	77	285
香川	322	447	1,440		201	266	144	1,064	383	136	329
愛媛	1	287	1		x	x	x	x	x	nc	…
高知	6	383	23		0	100	132	6	135	106	362
福岡	6,580	407	26,800		430	107	136	8,400	146	105	386
佐賀	10,300	432	44,500		200	102	152	15,700	155	105	411
長崎	1,210	355	4,290	△	10	99	156	1,510	154	104	342
熊本	2,800	309	8,640	△	140	95	166	3,170	158	104	297
大分	2,000	341	6,810	△	70	97	174	2,750	168	113	303
宮崎	68	303	206		0	100	891	183	896	98	309
鹿児島	373	233	870	△	1	100	121	152	121	93	251
沖縄	2	50	1	△	1	67	36	△ 3	25	62	81

(3) 六条大麦

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10 a 当たり 収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)		
			作 付 面 積		10 a 当たり 収 穫 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量		
			対 差	対 比	対 比	対 差	対 比				
全国 (全国農業地域)	ha 18,600	kg 317	t 59,000		ha △ 900	% 95	% 114	t 4,900	% 109	% 103	kg 308
北海道	21	405	85		1	105	96	1	101	100	403
都府県	18,600	317	58,900	△	900	95	114	4,900	109	103	308
東 北	1,660	336	5,570		0	100	98	△ 110	98	99	341
北 陸	10,300	318	32,800	△	400	96	113	2,600	109	105	304
関東・東山	4,130	269	11,100	△	320	93	116	800	108	91	295
東 海	383	300	1,150		x	x	158	x	x	113	266
近 畿	x	405	x		x	x	125	x	x	117	345
中 国	38	163	62		x	x	83	x	x	77	211
四 国	2	133	2		x	x	173	x	x	69	193
九 州	60	245	147		5	109	229	88	249	217	113
沖縄	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	-
(都道府県)											
北海道	21	405	85		1	105	96	1	101	100	403
青森	94	355	334		x	x	x	x	x	92	386
岩手	85	234	199		2	102	77	△ 54	79	91	257
宮城	1,460	342	4,990	△	20	99	100	△ 60	99	99	345
秋田	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	...
山形	13	208	27	△	1	93	153	8	142	150	139
福島	8	200	16	△	1	89	100	△ 2	89	103	195
茨城	1,110	229	2,540	△	250	82	129	120	105	100	230
栃木	1,610	244	3,930	△	60	96	117	440	113	85	287
群馬	487	335	1,630	△	3	99	112	170	112	100	335
埼玉	137	406	556	△	19	88	136	90	119	102	397
千葉	36	350	126	△	7	84	129	9	108	107	328
東京	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	-
神奈川	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	-	324
新潟	190	241	458		25	115	103	70	118	87	276
富山	3,560	281	10,000	△	100	97	89	△ 1,600	86	90	311
石川	1,660	338	5,610	△	190	90	103	△ 480	92	98	345
福井	4,900	340	16,700	△	170	97	142	4,600	138	120	284
山梨	44	177	78		4	110	102	9	113	81	218
長野	702	312	2,190		13	102	94	△ 90	96	81	383
岐阜	230	202	465	△	13	95	149	135	141	104	195
静岡	0	...	...		x	x	nc	nc	nc	nc	136
愛知	94	470	442	△	2	98	159	158	156	118	399
三重	59	414	244	△	8	88	175	85	153	125	332
滋賀	1,470	422	6,200	△	90	94	119	660	112	117	361
京都	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	...
大阪	x	x	x		x	x	x	x	x	x	90
兵庫	537	361	1,940		3	101	155	700	156	119	304
奈良	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	...
和歌山	1	120	1		x	x	x	x	x	90	133
鳥取	0	133	1		x	x	x	x	x	125	106
島根	8	125	10	△	1	89	59	△ 9	53	81	154
岡山	1	178	1		0	100	120	0	100	115	155
広島	29	173	50	△	59	33	87	△ 124	29	76	227
山口	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	-
徳島	2	133	2		x	x	x	x	x	69	193
香川	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	-
愛媛	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	-
高知	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	-
福岡	x	x	x		x	x	x	x	x	nc	...
佐賀	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	-
長崎	28	200	56		x	x	x	x	x	nc	...
熊本	2	178	4	△	8	20	99	△ 14	22	63	282
大分	8	289	23		0	100	1,156	21	1,150	95	305
宮崎	5	161	8		5	nc	nc	8	nc	138	117
鹿児島	x	x	x		x	x	x	x	x	x	352
沖縄	-	-	-		-	nc	nc	-	nc	nc	-

(4) はだか麦

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作 付 面 積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対	10 a 当たり 平均収量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg	
全国 (全国農業地域)	5,160	320	16,500	△	270	95	140	4,100	133	107	299
北海道	57	270	154		2	104	86	△	18	90	251
都府県	5,100	322	16,400	△	270	95	142	4,200	134	107	300
東 北	0	167	1	x	x	x	x	x	x	nc	…
北 陸	x	100	x	x	x	x	x	x	x	50	200
関東・東山	308	268	826	△	34	90	99	△	97	89	96
東 海	19	258	49	x	x	119	x	x	x	98	263
近 畿	x	282	x	x	x	121	x	x	x	114	248
中 国	490	292	1,430	△	45	92	133	260	122	110	265
四 国	2,320	342	7,940	△	120	95	141	2,000	134	106	322
九 州	1,700	318	5,400	△	50	97	158	1,880	153	104	305
沖縄 (都道府県)	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	nc	-
北海道	57	270	154		2	104	86	△	18	90	251
青森	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	nc	-
岩手	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	nc	-
宮城	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	nc	…
秋田	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	nc	-
山形	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	120
福島	0	167	1	x	x	x	x	x	x	125	134
茨城	187	228	426	△	36	84	89	△	143	75	86
栃木	19	288	55	△	3	86	135	8	117	107	270
群馬	1	380	4	0	100	96	0	100	143	266	
埼玉	98	343	336	3	103	109	36	112	110	110	311
千葉	1	100	1	x	x	x	x	x	x	38	264
東京	1	100	1	1	nc	nc	1	nc	40	250	
神奈川	1	327	3	x	x	x	x	x	156	210	
新潟	0	100	0	0	nc	nc	0	nc	nc	-	
富山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	167	
石川	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
福井	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	…	
山梨	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
長野	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
岐阜	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
静岡	1	200	2	x	x	x	x	x	107	187	
愛知	7	343	24	△	1	88	210	11	185	147	233
三重	11	209	23	1	110	80	△	3	88	73	287
滋賀	75	405	304	△	12	86	113	△	7	98	382
京都	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
大阪	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	-	122	
兵庫	181	231	418	△	13	93	129	71	120	120	192
奈良	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	-	165	
和歌山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	111
鳥取	3	133	4	△	1	75	65	△	4	50	67
島根	20	323	65	0	100	109	6	110	108	299	
岡山	228	415	946	△	22	91	136	183	124	124	335
広島	38	127	48	5	115	84	△	2	96	64	198
山口	201	183	367	△	27	88	142	73	125	92	198
徳島	5	200	10	△	3	63	106	△	5	67	174
香川	578	386	2,230	△	97	86	138	340	118	125	309
愛媛	1,740	328	5,700	△	20	99	143	1,670	141	101	325
高知	1	202	2	△	1	50	273	1	200	110	183
福岡	434	359	1,560	△	47	90	139	320	126	104	346
佐賀	151	299	452	6	104	133	127	139	80	374	
長崎	85	215	183	△	35	71	123	△	27	87	196
熊本	138	267	368	29	127	228	240	288	117	228	
大分	841	327	2,750	△	16	98	179	1,180	175	108	303
宮崎	11	174	19	2	122	256	13	317	132	132	
鹿児島	40	176	70	8	125	154	34	194	112	157	
沖縄	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	

1 3 品種別作付面積の推移（群馬県）

区分	品 種 名	平成26年産		平成27年産		平成28年産		平成29年産		平成30年産	
		作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率
小 麦		ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%
	つるびかり	900	16	950	17	1,030	19	1,000	18	1,030	18
	きぬの波	340	6	470	8	470	9	500	9	470	8
	ダブル8号	370	7	360	6	360	6	350	6	330	6
	さとのそら	4,140	72	3,800	68	3,720	67	3,720	67	3,850	68
	計	5,750	100	5,580	100	5,580	100	5,570	100	5,680	100
二 条 大 麦	あまぎ二条	210	14	—	—	—	—	—	—	—	—
	ミカモゴールドデン	790	54	780	52	650	43	760	48	640	41
	サチホゴールドデン	470	32	700	48	880	57	780	50	890	57
	アスカゴールドデン	—	—	—	—	—	—	30	2	40	2
	計	1,470	100	1,480	100	1,530	100	1,570	100	1,570	100
六 条 大 麦	シュンライ	426	86	448	86	443	83	488	93	491	100
	さやかぜ	35	7	36	7	43	8	39	7	—	—
	セツゲンモチ	36	7	39	7	46	9	—	—	—	—
	計	498	100	523	100	532	100	527	100	491	100
麦 計		7,720	—	7,590	—	7,640	—	7,670	—	7,760	—

区分	品 種 名	令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産		令和5年産	
		作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率
小 麦		ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%
	つるびかり	970	17	1,000	18	900	17	950	18	930	17
	きぬの波	460	8	430	8	440	8	350	6	260	5
	ゆめかおり(ダブル8号)	310	6	310	6	310	6	270	5	270	5
	さとのそら	3,810	69	3,750	68	3,770	70	3,820	71	3,870	73
	計	5,570	100	5,500	100	5,430	100	5,380	100	5,330	100
二 条 大 麦	ミカモゴールドデン	410	26	—	—	—	—	—	—	—	—
	サチホゴールドデン	770	48	530	33	580	35	620	38	670	39
	アスカゴールドデン	410	26	1,100	68	1,090	65	1,020	62	1,050	61
	計	1,580	100	1,630	100	1,670	100	1,640	100	1,720	100
大 六 条 大 麦	シュンライ	494	100	515	100	520	100	506	100	509	100
	計	494	100	515	100	520	100	506	100	509	100
麦 計		7,650	—	7,650	—	7,630	—	7,530	—	7,560	—

区分	品 種 名	令和6年産		令和7年産	
		作付面積	比率	作付面積	比率
小 麦		ha	%	ha	%
	つるびかり	970	18	1,070	20
	きぬの波	220	4	240	5
	ゆめかおり	350	7	330	6
	さとのそら	3,750	71	3,630	69
	計	5,300	100	5,270	100
二 条 大 麦	ミカモゴールドデン	—	—	—	—
	サチホゴールドデン	610	36	540	33
	アスカゴールドデン	1,070	64	1,100	67
	計	1,680	100	1,640	100
大 六 条 大 麦	シュンライ	490	100	487	100
	計	490	100	487	100
麦 計		7,470	—	7,237	—

- 注) 1. 数字は推計値であり、ラウンドにより合計が一致しない場合がある。
2. 農林水産統計(麦類の作付面積)と全農ぐんま及び集連のは種前契約より推計。
3. 令和2年産より「ダブル8号」から「ゆめかおり」に品種転換した。

1 4 検査数量上位品種の推移（全国）

（1）普通小麦

順位	5 年 産			6 年 産			7 年 産		
	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率
1	きたほなみ	542,844	49.1	きたほなみ	519,222	49.8	きたほなみ	502,945	47.7
2	ゆめちから	116,805	10.6	ゆめちから	127,894	12.3	ゆめちから	133,179	12.6
3	シロガネコムギ	63,428	5.7	さとのそら	57,050	5.5	シロガネコムギ	59,373	5.6
4	さとのそら	55,524	5.0	春よ恋	55,611	5.3	さとのそら	53,394	5.1
5	春よ恋	49,136	4.4	シロガネコムギ	50,070	4.8	春よ恋	46,388	4.4
6	チクゴイズミ	45,668	4.1	チクゴイズミ	28,940	2.8	チクゴイズミ	37,550	3.6
7	きぬあかり	29,670	2.7	きぬあかり	23,264	2.2	きぬあかり	29,210	2.8
8	あやひかり	23,113	2.1	あやひかり	16,552	1.6	あやひかり	20,785	2.0
9	ミナミノカオリ	18,075	1.6	ミナミノカオリ	13,820	1.3	ミナミノカオリ	16,805	1.6
10	はるきりり	12,087	1.1	はるきりり	13,219	1.3	びわほなみ	16,705	1.6
	上位10品種計	956,350	86.5	上位10品種計	905,642	86.9	上位10品種計	916,334	86.9
	全品種計	1,105,702	100.0	全品種計	1,041,905	100.0	全品種計	1,054,291	100.0

（2）普通大粒大麦（二条大麦）

順位	5 年 産			6 年 産			7 年 産		
	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率
1	はるか二条	35,650	36.2	はるか二条	30,461	35.7	はるか二条	50,889	47.0
2	サチホゴールド	22,190	22.5	サチホゴールド	14,953	17.5	サチホゴールド	15,272	14.1
3	はるしずく	9,002	9.1	はるしずく	6,035	7.1	はるしずく	9,542	8.8
4	ニシノホシ	4,891	5.0	ニューサチホゴールド	6,033	7.1	ニューサチホゴールド	5,250	4.9
5	ニューサチホゴールド	4,726	4.8	ニシノホシ	3,020	3.5	ニシノホシ	4,851	4.5
	上位5品種計	76,459	77.7	上位5品種計	60,502	70.8	上位5品種計	85,804	79.3
	全品種計	98,444	100.0	全品種計	85,399	100.0	全品種計	108,176	100.0

（3）普通小粒大麦（六条大麦）

順位	5 年 産			6 年 産			7 年 産		
	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率
1	ファイバースノウ	39,410	63.3	ファイバースノウ	32,498	61.8	ファイバースノウ	34,767	60.2
2	シュンライ	10,106	16.2	シュンライ	8,264	15.7	シュンライ	9,453	16.4
3	ホワイトファイバー	3,456	5.6	ホワイトファイバー	3,575	6.8	はねうまもち	3,674	6.4
4	カシマゴール	3,098	5.0	カシマゴール	2,657	5.1	ホワイトファイバー	3,390	5.9
5	はねうまもち	1,835	2.9	はねうまもち	2,349	4.5	カシマゴール	2,903	5.0
	上位5品種計	57,906	93.1	上位5品種計	49,342	93.9	上位5品種計	54,187	93.8
	全品種計	62,213	100.0	全品種計	52,565	100.0	全品種計	57,764	100.0

注）農林水産省資料による。各年産10月末現在の数値。

15 令和7年産麦類検査等級比率

(1) 全国・群馬県の検査等級比率

区 分 種 類		全 国				群 馬			
		検査数量 (t)	検査等級数量 (t) (%)			検査数量 (t)	検査等級数量 (t) (%)		
			1 等	2 等	規格外 (等外上)		1 等	2 等	規格外 (等外上)
小 麦		1,054,291	889,573 (84.4)	78,173 (7.4)	86,545 (8.2)	23,598	20,500 (86.9)	2,343 (9.9)	755 (3.2)
普通小粒大麦		57,764	41,378 (71.6)	9,382 (16.2)	7,003 (12.1)	1,739	902 (51.9)	700 (40.3)	137 (7.9)
普通大粒大麦		108,176	85,131 (78.7)	11,039 (10.2)	12,006 (11.1)	1,306	171 (13.1)	— (—)	1,135 (86.9)
普通はだか麦		16,445	12,265 (74.6)	3,160 (19.2)	1,020 (6.2)	—	—	—	—
ビール大麦		44,030	78 (0.2)	43,116 (97.9)	837 (1.9)	5,501	—	5,501 (100.0)	—
種 子 用	小 麦	5,171	5,171 (合格)	—	—	7	7 (合格)	—	—
	大 麦	2,382	2,382 (合格)	—	—	84	84 (合格)	—	—
	はだか麦	130	130 (合格)	—	—	—	—	—	—
	小 計	7,683	7,683 (合格)	—	—	91	91 (合格)	—	—
合 計		1,288,388	1,036,108	144,870	107,410	32,236	21,665	8,545	2,026

注) 1. 農林水産省資料による。検査数量等は、令和7年10月末現在である。
2. ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 群馬県内の主要品種の検査等級比率

区 分 品 種		令和7年産				令和6年産			
		検査数量 (t)	検査等級数量 (t) (%)			検査数量 (t)	検査等級数量 (t) (%)		
			1 等	2 等	規格外 (等外上)		1 等	2 等	規格外 (等外上)
小 麦	さとのそら	16,173	14,707 (90.9)	1,069 (6.6)	397 (2.5)	16,920	15,428 (91.2)	1,139 (6.7)	353 (2.1)
	つるびかり	4,846	4,381 (90.4)	220 (4.5)	244 (5.0)	4,327	3,996 (92.3)	138 (3.2)	193 (4.5)
	きぬの波	1,229	297 (24.2)	908 (73.9)	24 (1.9)	1,297	364 (28.1)	918 (70.8)	15 (1.2)
	ゆめかおり	1,247	1,065 (85.4)	134 (10.8)	47 (3.8)	1,154	1,058 (91.8)	48 (4.1)	47 (4.1)
普通小粒 小麦	シュンライ	1,733	902 (52.1)	697 (40.2)	134 (7.7)	1,625	574 (35.3)	840 (51.7)	211 (13.0)
普通大粒 小麦	サチホゴールド	503	111 (22.1)	— (—)	392 (77.9)	330	92 (27.9)	6 (1.9)	232 (70.2)

1. 農林水産省資料による。検査数量等は、令和7年10月末現在である。
2. ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

1 6 累年の県産麦類検査等級

年 産 構成比	種 別	検査数 t	等級内訳（上段:t、下段:%）			参 考	
			1 等	2 等	規 格 外	全 国	
						検査数量	1 等
2	小麦	22,153 -	20,649 93%	1,009 5%	496 2%	988,650 -	874,497 88%
	小粒大麦	1,787 -	916 51%	769 43%	102 6%	54,814 -	40,828 74%
	大粒大麦	1,101 -	177 16%	4 0%	920 84%	96,220 -	79,706 83%
	ビール大麦	5,035 -	- -	4,809 96%	226 4%	46,108 -	104 0%
	計	30,076 -	21,742 72%	6,591 22%	1,744 6%	1,185,792 -	995,135 84%
3	小麦	20,997 -	16,869 80%	3,607 17%	521 3%	1,146,473 -	964,745 84%
	小粒大麦	1,864 -	937 50%	810 43%	116 6%	53,694 -	33,854 63%
	大粒大麦	1,533 -	163 11%	19 1%	1,351 88%	103,886 -	82,852 80%
	ビール大麦	5,800 -	- -	5,600 97%	200 3%	51,462 -	614 1%
	計	30,194 -	17,969 60%	10,036 33%	2,188 7%	1,355,515 -	1,082,065 80%
4	小麦	22,934 -	19,580 85%	2,653 12%	701 3%	1,053,031 -	877,270 83%
	小粒大麦	1,750 -	928 53%	717 41%	105 6%	62,329 -	47,856 77%
	大粒大麦	615 -	116 19%	14 2%	485 79%	104,163 -	81,828 79%
	ビール大麦	5,553 -	- -	5,283 95%	270 5%	45,509 -	3 0%
	計	30,852 -	20,624 67%	8,667 28%	1,561 5%	1,265,032 -	1,006,957 80%
5	小麦	22,688 -	18,273 80%	3,792 17%	623 3%	1,140,161 -	976,394 86%
	小粒大麦	1,707 -	981 58%	622 36%	104 6%	63,075 -	44,680 71%
	大粒大麦	859 -	121 14%	3 0%	735 86%	100,206 -	76,527 76%
	ビール大麦	5,800 -	- -	5,599 97%	201 3%	49,565 -	64 0%
	計	31,054 -	19,375 63%	10,016 32%	1,663 5%	1,353,007 -	1,097,665 81%
6	小麦	24,051 -	20,997 87%	2,257 9%	797 3%	1,064,413 -	927,005 87%
	小粒大麦	1,650 -	574 35%	843 51%	233 14%	52,995 -	33,851 64%
	大粒大麦	1,253 -	140 11%	6 1%	1,107 88%	86,078 -	53,060 62%
	ビール大麦	5,384 -	- -	5,138 95%	246 5%	38,902 -	17 0%
	計	32,338 -	21,710 67%	8,245 25%	2,383 7%	1,242,389 -	1,013,933 82%
7	小麦	23,598 -	20,500 87%	2,343 10%	755 3%	1,054,291 -	889,573 84%
	小粒大麦	1,739 -	902 52%	700 40%	137 8%	57,764 -	41,378 72%
	大粒大麦	1,306 -	171 13%	- -	1,135 87%	108,176 -	85,131 79%
	ビール大麦	5,501 -	- -	5,501 100%	- -	44,030 -	78 0%
	計	32,144 -	21,573 67%	8,544 27%	2,027 6%	1,264,261 -	1,016,160 80%

注)農林水産省資料による。

令和7年産は令和7年10月末現在である。

17 小麦の生産費（10a当たり）

（1）群馬県（関東・東山平均値）

年産 項目		30	元	2	3	4	5
種	苗 費	3,138	3,229	3,361	3,351	3,216	3,532
肥	料 費	6,618	7,038	7,161	6,662	6,834	10,543
農	業 薬 剤 費	2,375	2,242	2,367	2,381	2,387	2,488
光	熱 動 力 費	2,069	2,178	2,118	2,247	2,551	2,804
そ	の 他 の						
諸	材 料 費	3	2	11	9	16	47
土	地 改 良 及 び						
水	利 費	940	819	672	570	572	453
賃	借 料 及 び 料 金	6,028	6,491	5,320	4,833	5,514	6,195
物	件 税 及 び						
公	課 諸 負 担	725	664	529	526	425	549
建	物 費	934	682	758	733	630	794
自	動 車 及 び						
農	機 具 費	10,221	9,046	10,622	10,627	9,977	10,819
生	産 管 理 費	60	66	93	84	88	105
労	働 費	7,492	7,991	7,593	7,424	7,268	7,517
	家族労働費	6,869	7,781	6,874	6,730	6,316	6,574
	雇用労働費	623	210	719	494	952	943
費	用 合 計	40,603	40,448	40,605	39,447	39,478	45,846
10 ア ー ル 当 た り	物財費	33,111	32,667	33,731	32,717	32,210	38,329
	労働費	7,492	7,991	7,593	7,424	7,268	7,517
	費用合計	40,603	40,448	40,605	39,447	39,478	45,846
	副産物価額	134	160	145	144	256	146
	生産費	40,469	40,288	40,460	39,303	39,222	45,700
	支払利子	36	33	83	31	38	44
	支払地代	6,206	5,873	5,109	4,814	4,540	4,692
	支払利子・地代 算入生産費	46,711	46,194	45,652	44,148	43,800	50,436
	自己資本利子	1,907	1,634	1,915	1,938	1,868	2,139
	自作地地代	1,201	973	970	1,022	893	1,112
	資本利子・地代 全額算入生産費	49,819	48,801	48,537	47,108	46,561	53,687
10a 当たり収穫量(kg)		370	370	355	363	363	388
10a 当たり投下 労働時間(時間)		4.62	4.76	4.55	4.59	4.49	4.53
1戸当たりの 作付面積(a)		590	669	643	700	796	693

注) 農林水産省「麦類生産費調査」による。令和5年度の全国数値は速
 関東・東山平均の
 物材費：費用合計－労働費

(2) 全国

年産 項目		30	元	2	3	4	5	6
種 苗 費		3,237	3,210	3,474	3,650	3,664	3,492	3,474
肥 料 費		8,985	9,858	10,061	9,532	10,445	15,087	13,150
農 業 薬 剤 費		5,046	5,354	5,549	5,422	5,618	5,882	6,105
光 熱 動 力 費		2,008	2,219	1,988	2,204	2,565	2,673	2,702
そ の 他 の 諸 材 料 費		575	493	507	567	623	593	705
土 地 改 良 及 び 水 利 費		834	1,037	983	1,133	1,008	1,227	1,048
賃 借 料 及 び 料 金		13,868	16,078	15,646	16,449	15,747	15,873	15,809
物 件 税 及 び 公 課 諸 負 担		1,306	1,447	1,351	1,322	1,318	1,423	1,320
建 物 費		956	1,116	1,087	1,077	1,223	1,173	1,209
自 動 車 及 び 農 機 具 費		10,125	10,901	11,850	12,105	12,666	12,626	13,502
生 産 管 理 費		302	352	315	318	274	285	303
労 働 費		5,866	6,332	6,281	5,959	5,935	5,826	6,102
	家族労働費	5,538	5,984	5,784	5,543	5,471	5,345	5,584
	雇用労働費	328	348	497	521	464	481	518
費 用 合 計		53,108	58,397	59,092	59,738	61,086	66,160	65,429
10 ア ル 当 た り	物財費	47,242	52,065	53,308	54,195	55,151	60,334	59,327
	労働費	5,866	6,332	6,281	5,959	5,935	5,826	6,102
	費用合計	53,108	58,397	59,092	59,738	61,086	66,160	65,429
	副産物価額	2,570	1,946	2,491	2,683	2,570	2,806	2,649
	生産費	50,538	56,451	56,601	57,055	58,516	63,354	62,780
	支払利子	191	212	212	222	203	184	221
	支払地代	2,588	2,455	2,419	2,584	2,664	2,598	2,190
	支払利子・地代 算入生産費	53,317	59,118	59,232	59,861	61,383	66,136	65,191
	自己資本利子	1,591	1,668	1,785	1,846	1,938	1,985	2,060
	自作地地代	6,133	6,640	6,331	6,260	6,230	6,109	6,419
	資本金利子・地代 全額算入生産費	61,041	67,426	67,348	67,967	69,551	74,230	73,670
10 a 当たり収穫量(kg)		383	542	495	562	475	516	507
10 a 当たり投下 労働時間(時間)		3.44	3.55	3.50	3.43	3.41	3.25	3.33
1 戸当たりの 作付面積(a)		783.1	798.9	813.3	865.4	879.0	926.7	926.5

Ⅲ 大豆「高品質大豆の安定生産の取組」

1 基本方針

- (1) 水田でのブロックローテーションや団地化の推進
- (2) 基本技術の励行による高品質な大豆生産の推進
- (3) 契約栽培による安定的な取引の拡大
- (4) 地産地消に対応した大豆生産の推進
- (5) 種子生産者の確保と生産体制の強化

2 大豆の生産目標

項 目 年 産	作付面積 (h a)	収穫量 (t)	普通大豆 検査数量 (t)	検査等級 1・2等比率 (%)
令和6年産実績(確定)	273	235	116	70.7
令和7年産実績	253	374	146	71.9
令和8年産目標	300	450	270	70以上

注) 令和7年産実績の検査数量及び検査等級比率は令和8年2月末現在（農林水産省）。

3 重点推進目標

- (1) 水田でのブロックローテーションや団地化の推進
 - ア 主食用米を作付けしない水田や畑を対象に、国の補助事業を活用して計画的な作付を図るとともに、連作障害や湿害等を回避し高品質な大豆の生産を図るため、ブロックローテーションを推進する。
 - イ 生産組織等への集積と水系等を単位とした団地化を図る。
 - ウ 「麦－大豆作付体系」を推進し、農地の高度利用を図る。
- (2) 基本技術の励行による高品質で安全な大豆生産の推進
 - ア 地域適応品種の栽培を作付する。
 - イ 明きょ設置やサブソイラ利用による湿害回避対策を講じる。
 - ウ 適期は種や適正施肥による収量向上を図る。
 - エ 適正な病虫害防除による収量・品質向上に努める。
- (3) 契約栽培による安定的な取引の拡大

実需者との契約による栽培を推進し、大豆生産農家の経営安定を図る。
- (4) 地産地消に対応した大豆生産の推進

県産大豆を使用した加工品等の高付加価値化や地産地消への取り組みを推進する。
- (5) 種子生産者の確保と生産体制の強化

安定した大豆生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。新規種子生産者を確保するとともに、生産体制の充実・強化を図る。

4 関連施策

- ・農業経営力向上事業（県単）
- ・経営所得安定対策（国庫）
- ・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
- ・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）
- ・麦・大豆生産技術向上事業（国庫）

5 群馬県大豆生産の推移

年度	作付面積			10a当たり収量			平年 収量 kg	作況 指数※	収穫量		
	ha	田	畑	kg	田	畑			t	田	畑
S25	7,250			110					8,000		
30	5,720			151					8,840		
35	4,030			138					5,560		
40	2,150			136					2,920		
45	1,250			127				95	1,590		
50	920	74	846	132	154	130	132	100	1,210	114	1,100
55	1,160	596	564	116	129	103	128	91	1,350	770	581
60	1,200	622	580	154	177	130	135	114	1,850	1,100	754
61	1,150	638	511	173	185	159	139	124	1,990	1,180	812
62	1,380	862	520	188	203	162	149	126	2,590	1,750	842
63	1,410	892	515	143	159	117	162	88	2,020	1,420	603
H1	1,370	865	502	184	199	159	168	110	2,520	1,720	797
2	1,300	790	510	150	159	135	168	89	1,950	1,260	690
3	1,150	679	472	97	95	101	168	58	1,120	646	476
4	930	505	425	162	167	156	168	96	1,510	843	664
5	810	412	398	135	142	128	168	80	1,090	586	509
6	600	221	379	139	157	129	168	83	834	346	488
7	619	247	372	162	174	153	155	105	1,000	429	571
8	669	298	371	164	177	154	150	109	1,100	526	573
9	684	316	368	169	177	163	150	113	1,160	558	598
10	653	338	315	148	160	135	152	97	966	540	426
11	603	340	263	152	157	146	155	98	917	533	384
12	568	335	233	163	172	150	155	105	926	576	350
13	544	326	218	155	162	145	158	98	843	527	316
14	523	313	210	158	170	140	159	99	826	532	294
15	517	306	211	156	168	139	158	99	807	514	293
16	520	308	212	175	195	146	158	111	910	600	310
17	510	303	207	163	177	143	157	104	832	536	296
18	473	275	198	181	203	150	159	114	855	558	297
19	439	254	185	176	-	-	163	108	773	-	-
20	407	224	183	160	-	-	167	96	650	-	-
21	404	218	186	174	-	-	166	105	703	-	-
22	378	202	176	124	-	-	170	73	469	-	-
23	353	183	170	122	-	-	170	72	431	-	-
24	357	193	164	173	-	-	159	109	618	-	-
25	346	184	162	148	-	-	161	92	512	-	-
26	322	164	158	138	-	-	156	88	444	-	-
27	323	168	155	109	-	-	149	73	352	-	-
28	301	154	147	125	-	-	141	89	376	-	-
29	316	171	145	112	-	-	131	85	354	-	-
30	303	157	146	127	-	-	129	98	385	-	-
R1	291	156	135	133	-	-	130	102	387	-	-
R2	275	141	134	144	-	-	127	111	388	-	-
R3	278	141	137	150	-	-	127	118	417	-	-
R4	287	140	147	145	-	-	128	113	416	-	-
R5	276	137	139	105	-	-	134	78	290	-	-
R6	273	153	120	86	91	80	132	65	235	-	-
R7	253	138	115	148			130	114	374		

- 注) 1. 農林水産統計「作物統計」による。作況指数は、H16からは10a当たり平均収量対比。
2. 平成17年からの平年収量は、10a当たり平均収量(原則として、直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)。
3. 令和7年産の値は、令和8年4月末現在の速報値。
4. 作況指数は平年収量対比

6 全国大豆生産の推移

年度	作付面積			10a当たり収量			平年 収量kg	作況 指数※	収穫量		
	ha	田	畑	kg	田	畑			t	田	畑
S25	413,100			108					446,900		
30	385,200			132					507,100		
35	306,900			136					417,600		
40	184,100			125				94	229,700		
45	95,500			132				100	126,000		
50	86,900	15,600	71,200	145	138	146	138	105	125,600	21,600	104,000
55	142,200	85,500	56,600	122	121	125	138	88	173,900	103,300	70,600
60	133,500	82,600	50,800	171	172	169	153	112	228,300	142,200	86,100
61	138,400	87,500	50,900	177	184	166	160	111	245,200	160,800	84,400
62	162,700	115,100	47,600	177	182	164	165	107	287,200	209,100	77,900
63	162,400	117,400	45,000	171	178	150	172	99	276,900	209,200	67,600
H1	151,600	109,900	41,800	179	182	172	176	102	217,700	200,100	71,700
2	145,900	105,000	40,900	151	144	168	178	85	220,400	151,600	68,700
3	140,800	97,600	43,200	140	135	152	182	77	197,300	131,700	65,500
4	109,900	73,400	36,500	171	177	160	178	96	188,100	129,900	58,300
5	87,400	55,100	32,300	115	121	105	175	66	100,600	66,600	34,000
6	60,900	31,400	29,500	162	160	164	171	95	98,800	50,200	48,500
7	68,600	39,400	29,200	173	175	171	173	100	119,000	69,000	49,900
8	61,800	53,000	28,800	180	188	167	173	104	147,600	99,400	48,200
9	83,200	53,800	29,400	174	171	180	175	99	144,600	91,900	52,800
10	109,100	80,100	29,000	145	141	156	178	81	158,000	112,900	45,200
11	108,200	81,300	26,900	173	166	194	178	97	187,200	135,100	52,100
12	122,500	97,200	25,300	192	189	201	177	108	235,000	184,100	50,800
13	143,900	119,400	24,600	188	190	177	180	103	270,600	227,300	43,600
14	149,900	125,900	24,000	180	181	177	178	101	270,200	227,600	42,500
15	151,900	129,000	22,900	152	153	149	181	84	231,600	197,500	34,200
16	136,800	114,800	22,000	121	112	169	178	68	165,400	128,200	37,200
17	134,000	110,500	23,500	168	162	195	170	99	225,000	180,700	45,800
18	142,100	117,700	24,500	161	154	196	177	91	229,200	181,300	47,900
19	138,300	117,600	20,700	164	-	-	169	97	226,700	-	-
20	147,100	126,300	20,800	178	-	-	163	109	262,100	-	-
21	145,400	124,800	20,600	156	-	-	164	95	227,000	-	-
22	137,700	119,000	18,700	162	-	-	162	100	222,800	-	-
23	136,700	117,200	19,500	161	-	-	166	97	219,900	-	-
24	131,100	111,500	19,600	175	-	-	171	102	229,100	-	-
25	128,800	108,900	19,900	154	-	-	171	91	199,900	-	-
26	131,600	110,800	20,800	176	-	-	169	104	231,800	-	-
27	142,000	117,700	24,300	171	-	-	172	99	242,400	-	-
28	150,000	120,300	29,800	157	-	-	173	91	235,500	-	-
29	150,200	120,800	29,400	166	-	-	166	100	248,600	-	-
30	146,600	118,400	28,300	145	-	-	167	87	212,900	-	-
R1	143,500	116,000	27,600	148	-	-	166	89	212,300	-	-
R2	141,700	114,200	27,500	154	-	-	161	96	218,900	-	-
R3	146,200	115,600	30,500	169	-	-	161	105	246,500	-	-
R4	151,600	120,700	30,900	160	-	-	160	100	242,800	-	-
R5	154,700	122,000	32,700	169	-	-	159	106	260,800	-	-
R6	153,900	119,400	34,500	164	154	119	161	102	252,400	-	-
R7	144,100	108,100	36,000	181			160	113	261,200		

7 市町村別作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移（群馬）

単位：ha, kg, t

項目	令和3年産			令和4年産			令和5年産			令和6年産		
	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量
市町村												
前橋市	75	157	118	87	166	144	83	107	89	85	105	89
伊勢崎市	2	198	4	2	150	3	2	100	2	2	100	2
玉村町	22	205	45	22	205	45	23	152	35	27	111	30
渋川市	13	92	12	13	77	10	12	50	6	8	38	3
榛東村	1	143	1	1	109	1	1	71	1	1	64	1
吉岡町	1	142	1	1	109	1	1	71	1	1	64	1
中部計	114	159	181	126	162	204	122	110	134	124	102	126
高崎市	30	207	62	36	144	52	33	136	45	32	113	36
安中市	2	54	1	2	41	1	2	41	1	2	37	1
藤岡市	12	83	10	12	33	4	12	17	2	12	42	5
神流町	2	118	2	2	90	2	2	58	1	2	52	1
上野村	2	51	1	2	87	2	2	93	2	2	84	2
富岡市	8	75	6	8	63	5	8	50	4	8	38	3
下仁田町	2	125	3	2	95	2	1	61	1	1	55	1
南牧村	1	118	1	1	90	1	0	58	0	0	52	0
甘楽町	3	68	2	3	67	2	5	40	2	6	50	3
西部計	62	142	88	68	104	71	65	89	58	65	80	52
中之条町	13	138	18	11	155	17	12	117	14	9	67	6
長野原町	2	124	2	2	100	2	2	50	1	2	50	1
嬭恋村	8	138	11	6	150	9	6	100	6	6	50	3
草津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高山村	2	150	3	2	150	3	2	100	2	2	50	1
東吾妻町	8	138	11	7	200	14	7	114	8	6	50	3
吾妻計	33	136	45	28	161	45	29	107	31	25	56	14
沼田市	9	156	14	8	150	12	7	114	8	7	57	4
片品村	14	171	24	12	175	21	11	127	14	11	64	7
川場村	2	113	2	2	100	2	2	50	1	2	50	1
昭和村	2	150	3	2	150	3	2	100	2	2	50	1
みなかみ町	13	131	17	14	143	20	14	100	14	14	50	7
利根沼田計	40	150	60	38	153	58	36	108	39	36	56	20
太田市	9	233	21	9	222	20	9	167	15	10	120	12
桐生市	1	143	1	1	134	1	1	115	1	1	104	1
みどり市	1	143	1	1	136	1	1	114	1	1	105	1
館林市	6	139	8	6	117	7	4	100	4	3	100	3
板倉町	6	77	5	4	75	3	4	50	2	4	50	2
明和町	3	123	4	3	116	3	3	103	3	2	103	2
千代田町	1	136	1	1	129	1	1	106	1	1	95	1
大泉町	1	121	1	1	115	1	0	101	0	0	91	0
邑楽町	1	104	1	1	100	1	1	91	1	1	82	1
東部計	29	148	43	27	141	38	24	117	28	23	100	23
県計	278	150	417	287	145	416	276	105	290	273	86	235

注）1. 農林水産統計「作物調査市町村別データ」による。

2. 計と内訳はラウンドのため一致しない場合がある。

3. 中部計・西部計等は計算値。

8 団地化に取り組んだ大豆生産集団の概要及び令和7年産大豆の概要

(1) 団地化に取り組んだ大豆生産集団（及び法人）の概要

市町村	生産組織名	推定栽培面積 (ha)					
		R3	R4	R5	R6	R7	前年差
前橋市	農事組合法人筑井和	8.0	8.1	8.0	8.0	7.8	-0.2
	農事組合法人荒口	1.1	1.2	1.2	0.9	0.0	-0.9
	農事組合法人女屋	3.7	3.5	3.5	2.5	0.0	-2.5
	農事組合法人月田	7.4	5.7	7.0	7.2	6.8	-0.4
	農事組合法人深津	16.2	23.1	21.0	12.8	17.8	5.0
	農事組合法人かすかわ中央	7.2	8.8	7.2	5.6	7.8	2.2
	農事組合法人田面機械化組合	4.4	5.5	6.7	10.4	8.2	-2.2
	農事組合法人中	2.1	3.4	2.8	2.1	3.2	1.1
	株式会社上州農産	20.3	16.9	18.9	3.0	12.9	9.9
	農業生産法人ミツミファーム	4.2	2.9	3.6	2.9	3.3	0.4
	小計	74.6	79.1	79.9	55.4	67.8	12.4
渋川市	行幸田大豆栽培組合	4.0	2.4	2.4	0.0		0.0
玉村町	下之宮大豆転作組合	18.0	18.0	18.0	17.0	0.0	-17.0
	株式会社くりさき				2.4	2.3	-0.1
	紋谷農産				7.5	7.3	-0.2
富岡市、甘楽町	かぶら大豆生産者協議会（自然農法）			7.4		6.0	6.0
中之条町	有限会社「たけやま」	4.2	5.6	6.0	4.4	4.4	0.0
太田市	農事組合法人寺井	7.6	7.7	7.7	7.5	7.7	0.2
計		119.2	124.5	134.5	95.2	95.5	0.3

注) 令和8年3月現在

(2) 令和7年産大豆の概要

ア 播種期

- ・播種作業は降雨により遅れ気味であった。
- ・播種直後に降雨があったため、除草剤散布が遅れ、雑草が繁茂したほ場も見られた。

イ 初期生育

- ・出芽後の生育は概ね順調だったが、生育期は高温の影響により雑草の発生量が多く、収量・品質に影響の出たほ場もあった。

ウ 開花期

- ・開花期は平年並みであった。
- ・開花期の乾燥により、落花が一部で見られたが、補償作用により着莢数の著しい低下は確認されなかった。

エ 登熟期

- ・成熟期は平年並みであった。
- ・10月下旬以降は気温が平年と比べ低く経過したため落葉が順調に進行したが、青立ち株が多く見られた。
- ・害虫は平年並からやや多く、カメムシ類やシロイチモジマダラメイガが目立った。
- ・収量は、平年並からやや多く、品質は平年並で2等中心となった。

9 品種別作付面積の推移

区分	品種名	令和2年産		令和3年産		令和4年産		令和5年産		令和6年産	
		面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%
普通大豆	タチナガハ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	里のほほえみ	184	67%	215	77%	194	68%	196	71%	233	85%
	ハタユタカ	48	17%	25	9%	49	17%	30	11%	0	0%
	オオツル	13	5%	11	4%	15	5%	22	8%	13	5%
	その他	30	11%	28	10%	29	10%	28	10%	27	10%
計		275	100%	278	100%	287	100%	276	100%	273	100%

注) 作付面積は農林水産統計「作物統計」による。品種別作付比率は種子配布実績数量から推計。

10 令和6、7年産大豆検査数量

(1) 全国の検査等級比率(令和6年産)

区分 種類	全 国						
	検査等級数量 [t、(%)]						
	検査数量	普通大豆				特定加工 用 検査数量	種子 検査数量 (合格)
		1等	2等	3等	規格外		
大粒大豆	137,624	29,233 (21.2)	50,814 (36.9)	57,092 (41.5)	484 (0.4)	20,127	1,046
中粒大豆	31,928	5,986 (18.7)	10,543 (33.0)	14,922 (46.7)	477 (1.5)	12,069	271
小粒大豆	26,367	8,796 (33.4)	9,110 (34.6)	7,990 (30.3)	471 (1.8)	6,081	15
極小粒大豆	1,026	319 (31.1)	262 (25.5)	436 (42.5)	10 (1.0)	228	7
合 計	196,945	44,334	70,729	80,440	1,442	38,505	1,339

注) 検査数量等は、令和6年産確定値(農林水産省公表)である。
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 群馬県の検査等級比率(令和7年産)

区分 種類	群 馬 県						
	検査等級数量 [t、(%)]						
	検査数量	普通大豆				特定加工 用 検査数量	種子 検査数量 (合格)
		1等	2等	3等	規格外		
大粒大豆	143	4 (3.0)	100 (70.1)	38 (26.2)	1 (34.0)	6	
中粒大豆	3	0 (0.0)	1 (32.0)	1 (49.0)	1 (19.0)	3	
小粒大豆	28	27 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0	
極小粒大豆	3	3 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0	
合 計	177	35	101	39	2	8	

注) 検査数量等は、令和8年4月末現在である。(米麦畜産課調べ)
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。
「0」は単位に満たないもの、斜線は事実がないものを示す。
検査数量には産地品種銘柄以外の数量も含まれるため産地品種銘柄計と一致しない場合がある。

(3) 群馬県の銘柄別検査等級比率(令和7年産)

区分 種類	普通大豆					特定加工用	
	検査数量 (t)	等級比率 (%)				検査数量 (t)	合格 (%)
		1等	2等	3等	規格外		
オオツル	1	2.4%	35.7%	4.8%	57.1%	0	—
タチナガハ	2	0.0%	80.6%	17.9%	0.0%	0	—
ハタユタカ						—	—
里のほほえみ	135	3.2%	68.9%	26.9%	0.6%	8	100
合 計	138	3.1%	68.8%	26.6%	1.0%	8	100

注) 検査数量等は、令和8年4月末現在である。(米麦畜産課調べ)
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。
「0」は単位に満たないもの、斜線は事実がないものを示す。
検査数量合計に対する等級比率は推計値。

1 1 種類別検査実績（群馬）

（単位：kg）

		1 等	2 等	3 等	規格外	特定加工用	計
28 年 産	大 粒 大 豆	5,670	37,380	52,260	-	17,130	112,440
	中 粒 大 豆	360	3,180	13,650	-	7,050	24,240
	小 粒 大 豆	-	5,100	2,130	-	2,820	10,050
	極 小 粒 大 豆	-	1,080	750	-	90	1,920
	計	6,030	46,740	68,790	0	27,090	148,650
29 年 産	大 粒 大 豆	480	6,600	21,750	9,300	106,770	144,900
	中 粒 大 豆	-	360	1,290	810	14,100	16,560
	小 粒 大 豆	-	-	5,370	30	2,070	7,470
	極 小 粒 大 豆	-	-	540	-	-	540
	計	480	6,960	28,950	10,140	122,940	169,470
30 年 産	大 粒 大 豆	5,640	44,520	30,600	-	20,580	101,340
	中 粒 大 豆	570	11,490	8,190	240	17,730	38,220
	小 粒 大 豆	30	-	7,950	150	4,890	13,020
	極 小 粒 大 豆	-	-	780	-	30	810
	計	6,240	56,010	47,520	390	43,230	153,390
元 年 産	大 粒 大 豆	14,550	31,470	92,130	1,020	37,590	176,760
	中 粒 大 豆	240	30	1,620	270	11,580	13,740
	小 粒 大 豆	-	-	30	-	7,230	7,260
	極 小 粒 大 豆	-	-	720	-	300	1,020
	計	14,790	31,500	94,500	1,290	56,700	198,780
2 年 産	大 粒 大 豆	53,040	42,450	40,410	390	10,050	146,340
	中 粒 大 豆	870	4,020	4,980	450	15,480	25,800
	小 粒 大 豆	10,470	30	60	-	1,710	12,270
	極 小 粒 大 豆	7,680	510	-	-	-	8,190
	計	72,060	47,010	45,450	840	27,240	192,600
3 年 産	大 粒 大 豆	5,250	87,630	94,560	-	14,670	202,110
	中 粒 大 豆	1,110	5,640	8,190	-	5,220	20,160
	小 粒 大 豆	30	120	3,330	-	1,200	4,680
	極 小 粒 大 豆	-	-	1,350	-	-	1,350
	計	6,390	93,390	107,430	0	21,090	228,300
4 年 産	大 粒 大 豆	65,190	100,020	59,910	-	12,960	238,080
	中 粒 大 豆	300	1,650	5,190	-	6,900	14,040
	小 粒 大 豆	13,920	660	-	-	1,080	15,660
	極 小 粒 大 豆	2,610	-	-	-	-	2,610
	計	82,020	102,330	65,100	0	20,940	270,390
5 年 産	大 粒 大 豆	840	70,980	58,980	-	7,620	138,420
	中 粒 大 豆	330	1,140	7,140	780	23,100	32,490
	小 粒 大 豆	8,520	-	3,690	90	3,690	15,990
	極 小 粒 大 豆	3,930	-	-	-	-	3,930
	計	13,620	72,120	69,810	870	34,410	190,830
6 年 産	大 粒 大 豆	1,650	58,530	31,170	-	24,030	115,380
	中 粒 大 豆	-	-	4,440	570	3,060	8,070
	小 粒 大 豆	1,890	-	690	450	540	3,570
	極 小 粒 大 豆	720	-	-	-	-	720
	計	4,260	58,530	36,300	1,020	27,630	127,740
7 年 産	大 粒 大 豆	4,290	100,320	37,530	1,020	5,520	148,680
	中 粒 大 豆	-	960	1,470	570	2,580	5,580
	小 粒 大 豆	27,330	120	-	180	120	27,750
	極 小 粒 大 豆	3,330	-	-	-	-	3,330
	計	34,950	101,400	39,000	1,770	8,220	185,340

- 注） 1．農林水産省資料による。
2．令和7年産については、米麦畜産課が把握している令和8年4月末現在のものである。
3．種子用は含まない。

1 2 全国大豆作付面積及び収量・収穫量

全国農業地域 ・ 都道府県	R 6 年産		R 5 年産						
	作付面積	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較				
					作 付 面 積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量	
					対 差	対 比	対 比	対 差	対 比
	ha	ha	kg	t	ha	%	%	t	%
全 国 (全国農業地域)	153,900	154,700	169	260,800	3,100	102	106	18,000	107
北海道	46,800	45,300	255	115,600	2,100	105	101	6,700	106
青森県	5,640	5,530	173	9,570	140	103	211	5,150	217
岩手県	4,830	4,980	91	4,530	140	103	75 △	1,330	77
宮城県	11,600	11,700	166	19,400 △	200	98	125	3,600	123
秋田県	9,260	9,530	73	6,960	110	101	60 △	4,540	61
山形県	4,900	4,940	134	6,620	30	101	96 △	250	96
福島県	1,490	1,520	97	1,470	110	108	75 △	360	80
茨城県	3,300	3,430	118	4,050	50	101	75 △	1,290	76
栃木県	2,630	2,630	135	3,550	120	105	72 △	1,140	76
群馬県	273	276	105	290 △	11	96	72 △	126	70
埼玉県	667	739	66	488	82	112	80 △	57	90
千葉県	821	883	94	830	3	100	76 △	250	77
東京都	4	5	126	6	1	125	84	0	100
神奈川県	37	37	116	43 △	2	95	81 △	13	77
新潟県	4,230	4,280	166	7,100	80	102	98	0	100
富山県	4,550	4,660	119	5,550	150	103	96 △	40	99
石川県	1,650	1,720	112	1,930 △	70	96	122	280	117
福井県	1,850	1,940	117	2,270	70	104	94 △	50	98
山梨県	203	212	101	214 △	3	99	84 △	44	83
長野県	2,220	2,260	127	2,870	100	105	75 △	800	78
岐阜県	3,050	3,130	122	3,820	90	103	106	320	109
静岡県	184	206	67	138	3	101	93 △	8	95
愛知県	4,220	4,360	118	5,140 △	130	97	87 △	920	85
三重県	4,510	4,680	82	3,840	150	103	111	490	115
滋賀県	7,350	7,280	136	9,900	380	106	89 △	700	93
京都府	325	320	55	176 △	19	94	64 △	116	60
大阪府	13	15	73	11 △	2	88	103 △	1	92
兵庫県	2,260	2,370	69	1,640 △	10	100	81 △	380	81
奈良県	110	117	88	103 △	8	94	94 △	15	87
和歌山県	24	23	78	18 △	3	88	89 △	5	78
鳥取県	668	720	106	763	12	102	91 △	58	93
島根県	754	807	126	1,020	3	100	99	0	100
岡山県	1,470	1,600	51	816	10	101	65 △	444	65
広島県	403	400	104	416	0	100	107	28	107
山口県	877	968	123	1,190	13	101	128	273	130
徳島県	11	14	36	5 △	1	93	45 △	7	42
香川県	46	52	96	50 △	19	73	104 △	15	77
愛媛県	347	342	187	640 △	36	90	115	28	105
高知県	63	66	55	36 △	10	87	128	3	109
福岡県	8,040	8,090	185	15,000 △	70	99	154	5,210	153
佐賀県	7,270	7,360	211	15,500 △	270	96	180	6,570	174
長崎県	347	348	123	428 △	28	93	205	202	189
熊本県	2,600	2,730	166	4,530	70	103	150	1,580	154
大分県	1,340	1,520	103	1,570 △	40	97	123	260	120
宮崎県	234	228	78	178 △	16	93	252	102	234
鹿児島県	329	389	129	502	3	101	133	128	134
沖縄県	x	x	x	x	x	x	x	x	x

注) 農林水産統計「作物統計」による。(令和7年産の10a当たり収量及び収穫量は令和8年2月末現在公表されていない。)

13 大豆の生産費（10a当たり）

項目	年産	3		4		5		6	
		全国	関東・東山	全 国	関東・東山	全 国	関東・東山	全 国	関東・東山
種 苗 費		3,945	3,454	4,081	3,935	4,241	4,537	4,304	4,662
肥 料 費		5,800	6,224	6,365	5,903	9,255	5,887	7,515	5,584
農 業 薬 剤 費		6,424	4,015	6,367	4,892	7,228	5,743	7,419	7,419
光 熱 動 力 費		2,582	1,747	2,946	2,256	2,920	2,195	2,994	2,167
そ の 他 の 諸 材 料 費		221	1	312	2	277	3	379	6
土地改良及び 水 利 費		1,352	623	1,341	570	1,328	675	1,351	470
賃借料及び料金		8,611	3,622	8,633	3,293	9,292	3,975	9,000	4,316
物 件 税 及 び 公 課 諸 負 担		1,204	416	1,147	466	1,201	515	1,149	502
建 物 費		1,151	1,089	1,078	845	1,102	939	1,145	824
自動車費及び 農 機 具 費		12,583	8,551	13,984	8,764	13,002	9,098	14,450	9,702
生 産 管 理 費		314	111	313	117	328	132	296	114
労 働 費		10,179	9,565	9,530	10,508	10,067	11,108	10,932	10,761
	直接労働費	9,612	9,328	9,034	10,210	9,574	10,780	10,405	10,445
	間接労働費	567	237	496	298	493	328	527	316
費 用 合 計		54,184	39,418	56,097	41,551	60,241	44,807	60,934	42,275
ア ー ル 当 た り	物財費	44,005	29,853	46,567	31,043	50,174	33,699	50,002	33,957
	労働費	10,179	9,565	9,530	10,508	10,067	11,108	10,932	10,761
	費用合計	54,184	39,418	56,097	41,551	60,241	44,807	60,934	42,275
	副産物価額	199	99	272	41	560	94	310	125
	生産費	53,985	39,319	55,825	41,510	59,681	44,713	60,624	44,593
	支払利子	205	14	221	36	203	19	253	26
	支払地代	3,961	6,556	3,745	4,914	3,817	4,593	3,670	4,517
	支払利子・地代 算入生産費	58,151	45,889	59,791	46,460	63,701	49,325	64,547	49,136
	自己資本利子	1,783	1,738	2,104	1,747	2,120	1,978	2,116	2,036
	自作地地代	5,671	1,091	5,425	1,132	5,252	1,476	5,006	1,336
	資本利子・地代 全額算入生産費	65,605	48,718	67,320	49,339	71,073	52,779	71,669	52,508
10a 当たり収穫量(kg)		169	129	160	159	211	137	164	121
10a 当たり投下 労働時間(時間)		6.1	5.9	5.6	6.2	5.8	6.5	6.2	6.0
1経営体当たりの 作付面積(a)		448	567	502	664	477	453	483	389

注) 10aあたり収穫量(kg)は農林水産省「作物統計」、それ以外は農林水産省「大豆生産費調査」による。

物材費＝費用合計－労働費

参考資料

資料 1 そばに関する資料

1 群馬県そば生産の推移

年度	作付面積 ha	10 a 当たり 収量 kg	収穫量 t	(参 考) 全国		
				作付面積 ha	10 a 当たり 平均収量 kg	収穫量 t
S33	883	84	740	47,900	90	43,000
34	774	79	610	46,700	96	44,900
35	774	97	750	47,300	110	52,200
36	754	96	720	43,500	98	42,800
37	655	92	600	39,500	94	37,200
38	625	98	610	37,500	108	40,500
39	610	100	610	34,700	78	27,100
40	499	91	454	31,300	96	30,100
41	357	87	311	28,100	99	27,700
42	359	96	345	25,100	110	27,500
43	341	97	331	23,800	93	22,100
44	275	85	234	20,500	107	21,900
45	254	95	241	18,500	93	17,200
55	184	76	140	24,200	67	16,100
58	193	92	178	21,100	82	17,200
61	181	96	174	19,600	94	18,400
H1	201	100	201	25,900	79	20,500
4	222	105	233	24,200	90	21,700
7	225	96	216	22,600	93	21,100
10	281	60	169	34,400	52	17,900
13	313	94	294	41,800	65	26,000
14	343	...	...	41,400	65	25,400
15	377	...	...	43,500	65	26,800
16	394	...	...	43,500	49	20,400
17	400	...	...	44,700	73	31,200
18	368	...	...	44,800	77	33,000
19	357	...	...	46,100	68	26,300
20	344	...	...	47,300	58	23,200
21	338	...	...	45,400	40	15,300
22	356	106	377	47,700	62	29,700
23	389	78	303	56,400	57	32,000
24	431	91	392	61,000	73	44,600
25	445	65	289	61,400	54	33,400
26	448	92	412	59,900	52	31,100
27	467	95	444	58,200	60	34,800
28	485	85	412	60,600	48	28,800
29	518	88	456	62,900	55	34,400
30	558	89	497	63,900	45	29,000
R1	587	93	546	65,400	65	42,600
R2	587	83	487	66,600	67	44,800
R3	585	69	404	65,500	62	40,900
R4	582	80	466	65,600	61	40,000
R5	593	85	504	67,100	53	35,600
R6	574	83	476	69,000	59	40,400

注) 農林水産統計「作物統計」による。

※令和 7 年産については、令和 8 年 3 月現在公表されていない。

2 令和6年産そば（乾燥子実）の収穫量（全国農業地域別・都道府県別）

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10 a 当たり 収 穫 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較					（ 参 考 ）	
				作 付 面 積		10 a 当たり 収 穫 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全 国	69,000	59	40,400	1,900	103	111	4,800	113	100	59
（全国農業地域）										
北海道	26,100	69	17,900	1,200	105	125	4,200	131	97	71
北海 道	43,000	52	22,500	700	102	100	600	103	98	53
東北 道	18,600	46	8,490	500	103	135	2,360	138	107	43
北 陸 道	5,980	55	3,280	210	104	112	440	115	145	38
関 東 ・ 東 山 道	12,800	64	8,170	100	101	88	△ 1,090	88	91	70
東 海 道	471	51	239	△ 55	90	113	4	102	128	40
近 畿 道	x	50	x	x	x	82	x	x	100	50
中 国 道	1,530	32	495	△ 20	99	78	△ 147	77	94	34
四 国 道	93	30	28	△ 8	92	45	△ 40	41	67	45
九 州 道	2,540	50	1,260	△ 80	97	62	△ 870	59	81	62
沖 縄 県	28	46	13	7	133	53	△ 5	72	71	65
（都道府県）										
北海道	26,100	69	17,900	1,200	105	125	4,200	131	97	71
青 森 県	1,740	48	835	△ 40	98	137	212	134	120	40
岩 手 県	1,640	59	968	△ 40	98	128	195	125	95	62
宮 城 県	598	25	150	△ 34	95	100	△ 8	95	96	26
秋 田 県	4,720	43	2,030	280	106	195	1,053	208	116	37
山 形 県	5,900	40	2,360	140	102	103	110	105	98	41
福 島 県	3,980	54	2,150	220	106	150	800	159	106	51
茨 城 県	3,560	75	2,670	△ 30	99	88	△ 380	88	110	68
栃 木 県	3,430	53	1,820	△ 20	99	82	△ 420	81	69	77
群 馬 県	574	83	476	△ 19	97	98	△ 28	94	98	85
埼 玉 県	301	65	196	22	108	72	△ 55	78	102	64
千 葉 県	261	80	208	56	127	145	95	184	157	51
東 京 都	3	42	1	0	100	△ 61	1	50	78	54
神 奈 川 県	27	46	12	△ 6	82	90	△ 5	71	107	43
新潟 県	1,300	38	494	10	101	109	42	109	97	39
富 山 県	592	38	225	△ 2	100	66	△ 120	65	78	49
石 川 県	393	30	118	14	104	100	4	104	115	26
福 井 県	3,690	66	2,440	180	105	120	510	126	174	38
山 梨 県	187	58	108	1	101	87	△ 17	86	95	61
山 長 県	4,470	60	2,680	110	103	88	△ 280	91	91	66
岐 阜 県	348	54	188	△ 8	98	120	28	118	138	39
静 岡 県	52	33	17	△ 12	81	69	△ 14	55	77	43
愛 知 県	21	25	5	1	105	71	△ 2	71	86	29
三 重 県	50	58	29	△ 36	58	135	△ 8	78	116	50
滋 賀 県	591	61	361	47	109	86	△ 25	94	105	58
京 都 府	156	33	51	3	102	62	△ 30	63	92	36
大 阪 府	x	77	x	x	x	99	x	x	160	48
兵 庫 県	184	32	59	△ 4	98	74	△ 22	73	89	36
奈 良 県	28	20	6	4	117	44	△ 5	55	49	41
和 歌 山 県	3	23	1	0	100	100	0	100	100	23
鳥 取 県	365	32	117	△ 3	99	82	△ 27	81	94	34
島 根 県	614	24	147	△ 14	98	67	△ 79	65	77	31
岡 山 県	162	51	83	△ 13	93	102	△ 5	94	116	44
広 島 県	320	40	128	5	102	78	△ 33	80	111	36
山 口 県	67	30	20	5	108	81	△ 3	87	100	30
徳 島 県	30	39	12	△ 10	75	93	△ 5	71	98	40
香 川 県	30	27	8	4	115	39	△ 10	44	64	42
愛 媛 県	30	24	7	△ 1	97	24	△ 24	23	45	53
高 知 県	3	21	1	△ 1	75	49	△ 1	50	66	32
福 岡 県	105	41	43	8	108	64	△ 19	69	87	47
佐 賀 県	58	47	27	16	138	59	△ 6	82	72	65
長 崎 県	148	74	110	2	101	73	△ 37	75	142	52
熊 本 県	651	54	352	5	101	55	△ 288	55	73	74
大 分 県	188	24	45	△ 11	94	48	△ 55	45	57	42
宮 崎 県	232	60	139	△ 11	95	69	△ 72	66	94	64
鹿 児 島 県	1,160	47	545	△ 90	93	63	△ 393	58	77	61
沖 縄 県	28	46	13	7	133	53	△ 5	72	71	65
関 東 農 政 局	12,900	63	8,190	100	101	86	△ 1,100	88	90	70
東 海 農 政 局	419	53	222	△ 43	91	120	18	109	133	40
中 国 四 国 農 政 局	1,620	32	523	△ 30	98	74	△ 187	74	91	35

注：1 「（参考）10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量（直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10 a 当たり収量の比率である。

2 全国農業地域別（都府県を除く。）の10 a 当たり平均収量は、各都府県の10 a 当たり平均収量に当年産の作付面積を乗じて求めた平均収穫量を全国農業地域別に積上げ、当年産の全国農業地域別作付面積で除して算出している。

3 令和6年産そば市町村別作付面積及び収穫量

市町村名	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)			収穫量 (t)
			田	畑	
前橋市	74	55	48	60	41
高崎市	22	27	29	27	6
桐生市	x	x	－	x	x
伊勢崎市	1	32	－	32	0
太田市	9	78	x	78	7
沼田市	23	96	x	96	22
館林市	x	x	x	－	x
渋川市	261	110	91	110	286
藤岡市	0	62	60	64	0
富岡市	0	80	－	80	0
安中市	8	50	44	50	4
みどり市	x	x	－	x	x
榛東村	13	62	56	63	8
吉岡町	x	x	－	x	x
上野村	0	63	－	63	0
神流町	0	74	－	74	0
下仁田町	0	63	－	63	0
南牧村	－	－	－	－	－
甘楽町	1	88	－	88	1
中之条町	37	35	33	36	13
長野原町	x	x	－	x	x
嬭恋村	－	－	－	－	－
草津町	－	－	－	－	－
高山村	x	x	x	x	x
東吾妻町	x	x	x	x	x
片品村	4	75	x	75	3
川場村	5	60	－	60	3
昭和村	10	70	－	70	7
みなかみ町	68	71	50	72	48
玉村町	x	x	x	－	x
板倉町	x	x	x	x	x
明和町	－	－	－	－	－
千代田町	－	－	－	－	－
大泉町	－	－	－	－	－
邑楽町	x	x	x	x	x
計	574	83	59	87	476

注) 農林水産統計市町村別データ

4 ソバ栽培生育調査結果

1 供試系統

(春まき) H30～R3

品種名		育成地	
キタワセソバ		北海道農業試験場	

(秋まき) R4～

品種名		育成地	
信濃1号		長野県野菜花き試験場	

2 調査結果

時期	供試 年次	播種期		発芽期		開花期		生育 日数	草丈 cm	主茎 節数	第1分 枝数	倒伏 本	病害 0-5	虫害 0-5	全重 kg/10a	子実重 kg/10a	屑実重 kg/10a	子実重 歩合%	千粒重 g	容積重 g	検査 等級
		月/日	月/日	月/日	月/日	月/日	月/日														
春まき	H30	4/4	4/13	5/9	6/6	63	77.3	7.2	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	176.4	64.8	16.6	80.3	32.5	489	規格外
	R1	3/27	4/17	5/11	6/14	79	71.6	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	304.2	66.7	14.1	82.2	21.0	300	規格外
	R2	4/8	4/16	5/18	6/15	68	98.7	6.8	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	185.8	33.6	12.2	73.5	20.5	329	規格外
	R3	4/28	5/5	5/31	6/28	61	98.0	6.3	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	265.9	17.1	23.9	41.6	10.9	192	規格外
平均		4/9	4/21	5/18	6/16	68	87.0	7.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	234.0	46.0	17.0	70.0	22.0	328	—
秋まき	R4	8/25	8/28	9/22	10/20	56	91.1	8.1	2.4	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	350.7	130.6	37.4	77.7	31.8	595	2等相当
	R5※	8/24	8/27	9/17	11/3	71	109.0	8.7	2.7	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	374.0	157.5	2.2	98.6	34.0	701	1等相当

耕種概要 栽植密度:畝幅60cm、播種量:0.6kg/a(※R5は0.7kg/a) 倒伏、病虫害:0(無)～5(甚) 6段階評価

施肥量:N 0.2 ,P0.3 ,K0.2(kg/a)

収量及び千粒重:水分16.0%換算

区制面積:15㎡ 2区制 (R5は19.2㎡ 2区制)

資料２ ライスセンター、カントリーエレベーター、育苗センターの設置状況 (※所在地は設置年度によるもの)

１ ライスセンター（ＲＣ）設置状況

農業 事務 所名 区分	所 在 地	施 設 名	事 業 主 体 (旧農協名)	設 置 年 度	施 設 概 要				処 理 能 力				設置事業名
					乾燥方式	D S	ばら出荷 施設及び 出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処 理 量 (t)		
									米	麦	乾 粳	麦	
中 部	前橋市 東大室町	荒砥東大室 R C	前橋市農協 (荒砥農協)	(S53 年度) H12 年度	連続流下式	140t (35t ×4 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	60	50	360	225	(第2 次農業構造改善事業) 「群馬の水田農業」推進事業 ※処理能力欄「米は S53 当初計画値」、 「麦は H13 麦大豆推進システム推進事業(県 単)による増強時の計画値。
	前橋市 荒子町	荒砥 R C	前橋市農協 (荒砥農協)	S58 年度 S59 年度 (S62 年度) H 2 年度	連続流下式	900t (200t ×2 基) (50t ×10 基)	フレコン	井関農機(株)	320	420	1,920	2,200	(新農業構造改善前期対策事業) (新農業構造改善後期対策事業) 農業農村活性化農業構造改善事業 ※処理能力欄は H13 麦大豆推進システム推進 事業(県単)による増強時の計画値。
	前橋市 上佐鳥町	上川渕 R C	前橋市農協 (上川渕農協)	(S49 年度) H 5 年度 <H4 年度繰越>	循環式	—	フレコン	井関農機(株)	160	230	960	1,104	(第2 次農業構造改善事業) 農業農村活性化農業構造改善事業
	前橋市 房丸町	南部 R C	前橋市農協 (前橋南部農協)	S60 年度 S61 年度 S62 年度	連続流下式	500t (50t ×10 基)	フレコン	井関農機(株)	200	200	1,200	940	新農業構造改善後期対策事業
	前橋市 勝沢町	芳賀 R C	前橋市農協 (前橋芳賀農協)	H 3 年度 H 4 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	フレコン	井関農機(株)	80	75	480	353	新農業構造改善後期対策事業
	前橋市 上泉町	桂萱 R C	前 橋 市 農 協 (前橋桂萱農協)	S62 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	フレコン	井関農機(株)	220	200	1,320	960	農業生産体質強化総合推進対策事業
	前橋市 上青梨子町	清里 R C	前橋市農協 (清里農協)	S56 年度	循環式	—	フレコン	井関農機(株)	20	20	149	105	第 2 次 農 業 構 造 改 善 事 業
	前橋市	元気ファーム 20 R C	農事組合法人 元気ファーム 20	H27 年度	循環式	—	フレコン	ヤンマーグリーン システム株式会社	70	100	304	508	強い農業づくり交付金 産地競争力強化対策事業
	富士見村 小暮	富士見 R C	前橋市農協 (富士見村農協)	S52 年度	連続流下式	60t (10t ×6 基)	フレコン	井関農機(株)	60	60	337	260	高能率集団営農推進対策事業

農業 事務 所名 区分	所 在 地	施 設 名	事 業 主 体 (旧農協名)	設 置 年 度	施 設 概 要				処 理 能 力				設置事業名
					乾燥方式	D S	ばら出荷 施設及び 出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処 理 量 (t)		
									米	麦	乾 粉	麦	
中 部	吉岡町 下野田	北群渋川 RC	北群渋川農協 (吉岡町明治農協)	S56 年度	循環式	ビ`ン 150t (30t ×5 基) 乾燥機 32t (16t× 2 基)	フレコン 個袋	ヤンマー農機(株)	50	50	250	－	新農業構造改善前期対策事業
	伊勢崎市 稲荷町	稲荷町水田 作機械化組 合 R C	稲荷町水田作機 械化組合	(S57 年度) S59 年度	循環式	－	フレコン	大島農機(株)	30	45	165	247	(新地域農業生産総合振興対策事業) 新地域農業生産総合振興対策事業
	伊勢崎市 馬見塚町	三ツ橋農業 機械化組合 R C	三ツ橋農業機械 化組合	(S52 年度) S56 年度	循環式	－	フレコン	(株)山本製作所	50	70	275	385	(高能率集団営農推進対策事業) 地域農業生産総合振興対策事業
	伊勢崎市 上植木本町	北部 R C	佐波伊勢崎農協 (伊勢崎市農協)	(S59 年度) (S60 年度) H22 年度	循環式	300t (50t ×6 基)	フレコン	井関農機(株)	172	145	660	653	(新農業構造改善前期対策事業) 産地収益力向上支援事業
	伊勢崎市 柴町	なんぶ R C	佐波伊勢崎農協 (伊勢崎市農協)	(S63 年度) H13 年度	連続流下式	500t (50t ×10 基)	フレコン	井関農機(株)	180	300	1,080	1,440	(新農業構造改善後期対策事業) 農 業 生 産 総 合 対 策 事 業
	赤堀町 西久保	麦バラ出荷 施設	佐波伊勢崎農協 (赤堀町農協)	H13 年度	－	－	フレコン	井関農機(株)	－	120	－	504	農 業 生 産 総 合 対 策 事 業
	(佐)東村 東小保方	あずま R C	佐波伊勢崎農協	H 7 年度	循環式	400t (50t ×8 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	90	90	432	432	地域農業基盤確立農業構造改善事業
	(佐)東村 東小保方	東小保方 ミニ R C	佐波伊勢崎農協 (佐波東村農協)	S57 年度	循環式	－	フレコン (麦用)	井関農機(株)	19	27	68	100	新地域農業生産総合振興対策事業
	境町 下湊名	さかい R C	佐波伊勢崎農協 (群馬境町農協)	S62 年度	連続流下式	400t (50t ×8 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	100	100	480	460	新農業構造改善後期対策事業
	中 部 農 業 事 務 所 管 内 計 (1 8 施設) 注 6								2,081	2,382	11,633	11,511	

農業 事務所 名 区分	所 在 地	施 設 名	事 業 主 体 (旧農協名)	設 置 年 度	施 設 概 要				処 理 能 力				設置事業名
					乾燥方式	D S	ばら出荷 施設及び 出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処 理 量 (t)		
									米	麦	乾 粳	麦	
西 部	高崎市 浜川町	北部 R C	高崎市農協	S56 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	100	100	600	480	第 2 次 農 業 構 造 改 善 事 業
	高崎市 山名町	南部 R C	高崎市農協	H 3 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	70	70	420	384	農業生産体質強化総合推進対策事業
	高崎市 大八木町	中川 R C	高崎市農協 (高崎市中川農協)	(S54 年度) H13 年度	連続流下式	320t (50t ×6 基) (20t ×1 基)	フレコン	井関農機(株)	60	100	360	480	(新農業構造改善前期対策事業) 麦・大豆生産システム推進事業
	群馬町 保渡田	群馬 R C	はぐくみ農協 (群馬町農協)	S61 年度	連続流下式	400t (50t ×8 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	100	100	595	480	新農業構造改善後期対策事業
	吉井町 馬庭	吉井 R C	多野藤岡農協 (群馬吉井町農協)	S59 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	フレコン	(株)佐竹製作所	100	80	525	330	新地域農業生産総合振興対策事業
	西 部 農 業 事 務 所 管 内 計 (5 施設)								430	450	2, 500	2, 154	
利 根 沼 田	川場村	川場村 R C	川場村	H26 年度	循環式	—	フレコン	沼田土建(株)	65	—	505	—	強い農業づくり交付金 産地競争力強化対策事業
	利 根 沼 田 農 業 事 務 所 管 内 計 (1 施設)								65	—	505	—	
東 部	邑楽町 狸塚	十三軒農業 機械管理組 合ミニ R C	十三軒農業機械 管理組合	S60 年度	循環式	14t (2. 8t ×5 基)	フレコン	(株)山本製作所	40	40	255	198	新農業構造改善前期対策事業
	邑楽町 藤川	高島 R C	邑 楽 館 林 農 協 (西邑楽農協)	H 元年度 H 2 年度	回分式	400t (50t ×8 基)	フレコン	金子農機(株)	150	120	900	690	新農業構造改善前期対策事業
	館林市 青柳町	青柳穀物乾 燥共同利用 組合 R C	青柳穀物乾燥共 同利用組合	S60 年度	循環式	16. 8t (4. 2t ×4 基)	フレコン	金子農機(株)	16	19	92	80	新地域農業生産総合振興対策事業
	東 部 農 業 事 務 所 管 内 計 (3 施設)								206	179	1, 247	968	
合													

- (注) 1. 全国米麦改良協会及び蚕糸園芸課資料による。
2. 設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。
3. 処理能力欄は事業計画の目標数値である。
4. ばら出荷施設の対象品目は記載無き場合には「米麦用」である。
5. 玄米で計画した施設は「玄米処理数値÷0.8」により乾粳処理数値に換算し、乾粳の処理能力欄に記載した。
6. 赤堀町農協の麦バラ出荷施設は R C の施設数合計、処理能力合計には算入していない。

2 カントリーエレベーター（C E）設置状況

農 業 事 務 所 名 区 分	所 在 地	施 設 名	事業主体 (旧農協名)	設 置 年 度	施 設 概 要				処 理 能 力			設 置 事 業 名			
					乾 燥 方 式	D S	貯 蔵 能 力	貯 蔵 施 設 型	ばら出荷 施設の 出荷態 倉庫	食糧 指定 倉庫	プラント製造メーカ		処 理 量 (t)		
													米	麦	乾 粃
中 部	前橋市 小島田町	木瀬C E	前橋市農協 (木瀬農協)	S49年度 S51年度 (S59年度) S63年度	連続送り式	800t (50t ×16基)	2,000t (250t ×8基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 輸ハング 併用	○	ヤンマー農機㈱	320	1,600	1,824	第2次農業構造 改善事業 新地域農業生産 総合振興対策事業 農業生産体質強化 総合推進対策事業
	宮城村 鼻毛石	宮城C E	前橋市農協 (宮城村農協)	H 2 年度 ＜H元年度繰越＞	連続流下式	500t (50t ×10基)	1,800t (250t ×6基) (300t ×1基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 輸ハング 併用	○	㈱佐竹製作所	300	1,350	756	農業生産体質強化 総合推進対策事業
	玉村町 福島	玉村広域 C E	佐波伊勢崎 農協	H14 年度 ＜H15年度繰越＞	連続流下式	700t (50t ×14基)	3,000t (300t ×10基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 輸ハング 併用	○	井関農機（株）	469	3,097	3,721	生産振興総合対策 農業生産総合対策 事業
	中 部 農 業 事 務 所 管 内 計（3施設）												1,089	1,282	6,047
西 部	高崎市 矢島町	東部C E	高崎市農協	S58年度 S59年度	連続送り式	600t (50t ×12基)	2,500t (250t ×10基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 輸ハング 併用	○	ヤンマー農機㈱	300	1,800	1,440	新農業構造改善 前期対策事業
	高崎市 下滝町	東南部C E	高崎市農協	S61 年度	連続送り式	700t (50t ×14基)	2,500t (250t ×10基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 輸ハング 併用	○	ヤンマー農機㈱	313	1,800	1,440	新地域農業生産 総合振興対策事業
	藤岡市 下栗須	北部C E	多野藤岡農協 (藤岡市農協連合会)	S62 年度	連続送り式	600t (50t ×12基)	2,000t (250t ×8基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 輸ハング 併用	○	ヤンマー農機㈱	250	1,415	1,195	農業生産体質強化 総合推進対策事業
	藤岡市 矢場	南部C E	多野藤岡農協 (藤岡市農協連合会)	H 3 年度 ＜H2 年度繰越＞	循環式	600t (50t ×12基)	2,400t (300t ×8基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 輸ハング 併用	○	ヤンマー農機㈱	330	1,195	1,415	農業生産体質強化 総合推進対策事業
西 部	安中市 東上磯部	JA 碓氷安 中C E	碓氷安中農協	H 4 年度 H 5 年度	連続送り式	500t (50t ×10基)	1,500t (250t ×6基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 輸ハング 併用	○	ヤンマー農機㈱	250	1,125	675	農業農村活性化 農業構造改善事業
	西 部 農 業 事 務 所 管 内 計（5施設）												1,443	1,330	7,335

農 務 所 区 分	所 在 地	施 設 名	事業主体 (旧農協名)	設 置 年 度	施 設 概 要						処 理 能 力				設置事業名	
					乾燥方式	D S	貯蔵能力	貯蔵施設 型	ばら 施設の 出荷態 様	食糧 指定 倉庫	プラント製造メーカー	面積(ha)		処理量(t)		
												米	麦	乾 粳		麦
東	太田市 強戸	北部C E	太田市農協 (太田市中央農協)	(S60年度) H元年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,500t (250t ×10基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	ヤンマー農機㈱	340	300	1,500	900	新地域農業生産 総合振興対策事業 農山村地域活性化 緊急特別対策事業
	太田市 福沢	南部C E	太田市農協	S63年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,500t (250t ×10基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	井関農機㈱	350	340	1,200	700	農業生産体質強化 総合推進対策事業
	新田町 金井	新田C E	新田みどり 農協 (新田町農協)	H元年度	連続流下式	700t (50t ×14基)	2,940t (250t ×8基) (300t ×2基) (85t ×4基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	㈱佐竹製作所	350	320	1,200	1,000	農業生産体質強化 総合推進対策事業
部	館林市 当郷町	東部C E	邑楽館林農協 (館林市農協)	H5年度	連続流下式	900t (50t ×18基)	3,000t (250t ×12基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	㈱佐竹製作所	520	200	2,496	900	先進的農業生産 総合推進対策事業
	明和町 南大島	明和C E	邑楽館林農協 (館林市農協)	S63年度 H元年度	連続流下式	720t (60t ×12基)	3,000t (250t ×12基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	㈱佐竹製作所	250	200	1,250	900	新農業構造改善 後期対策事業
	板倉町 板倉	板倉C E	邑楽館林農協 (群馬板倉農協)	H6年度	常温除湿	－	2,000t (50t ×55機)	角形 ビン	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	ヤンマー農機㈱	330	50	3,874	288	地域連携確立 農業構造改善事業
	千代田町 上五箇	富永C E	邑楽館林農協 (西邑楽農協)	S63年度 H元年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,000t (250t ×8基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	㈱佐竹製作所	250	265	1,360	1,485	農業農村活性化 農業構造改善事業
	邑楽町 篠塚	長柄C E	邑楽館林農協 (西邑楽農協)	H2年度	連続流下式	700t (50t ×14基)	2,520t (315t ×8基)	二重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	㈱佐竹製作所	300	360	1,218	1,515	農業生産体質強化 総合推進対策事業
東 部 農 業 事 務 所 管 内 計 (8施設)												2,690	2,035	14,098	7,688	
合 計 (16施設)												5,222	4,647	27,480	20,154	

(注) 1, 全国米麦改良協会及び蚕糸園芸課資料による。
4, ばら出荷施設の対象品目は米麦用である。

2, 設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。
5, 玄米で計画した施設は「玄米処理数値÷0.8」により乾粳処理数値に換算し、乾粳の処理能力欄に記載した。

3, 処理能力欄は事業計画の目標数値である。

3 育苗センター設置状況

農業 事務 所別 区分	所在地	事業主体 (旧農協名)	設置年度	プラント製造メーカー	受益面積 (ha)	育苗能力 (箱数) ＜令和6年度実績＞	設置事業名
中部	前橋市 荒子町	前橋市農協 (荒砥農協)	(S56年度) H22年度	井関農機㈱	400	100,000 ＜80,531＞	新農業構造改善前期対策事業
	前橋市 上泉町	前橋市農協 (前橋桂萱農協)	S63年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜45,118＞	農業生産体質強化総合推進対策事業
	前橋市 房丸町	前橋市農協 (前橋南部農協)	H2年度	井関農機㈱	100	30,000 ＜40,185＞	新農業構造改善後期対策事業
	北橋村 小室	赤城橋農協 (北橋農協)	S60年度	久保田鉄工㈱	173	40,000 ＜30,707＞	新地域農業生産総合振興対策事業
	富士見村 時沢	前橋市農協 (富士見村農協)	S50年度	久保田鉄工㈱	100	30,000 ＜34,645＞	高能率稲麦作団地育成対策事業
	大胡町 河原浜	前橋市農協 (大胡町農協)	(S60年度) H10年度	㈱クボタ	50	30,000 ＜25,887＞	(農村地域定住促進対策事業) 自己資金により増強
	粕川村 西田面	前橋市農協 (粕川村農協)	S60年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜31,614＞	新農業構造改善前期対策事業
	吉岡町 大久保	北群渋川農協	H9年度	㈱クボタ	352	81,000 ＜56,921＞	農業生産体制強化総合推進対策事業
	伊勢崎市 稲荷町	稲荷町水田作機 械化組合	H4年度	ヤンマー農機㈱	49	14,700 ＜4,000＞	先進的農業生産総合推進対策事業
	境町 下刈名	佐波伊勢崎農協 (群馬境町農協)	H2年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜5,000＞	新農業構造改善前期対策事業
	玉村町 福島	佐波伊勢崎農協 (玉村町農協)	S51年度	井関農機㈱	200	60,000 ＜37,744＞	高能率集団営農推進対策事業
	中部農業事務所管内計（11施設）				1,724	484,700 ＜392,352＞	
西部	高崎市 矢中町	矢中町育苗組合	S53年度	井関農機㈱	21	8,800 ＜3,020＞	水稻共同育苗施設設置事業
	高崎市 浜川町	高崎市農協	H5年度	ヤンマー農機㈱	200	66,000 ＜85,965＞	先進的農業生産総合推進対策事業
	倉渕村 川浦	はぐくみ農協 (倉渕村農協)	H5年度	㈱クボタ	70	17,500 ＜17,715＞	先進的農業生産総合推進対策事業
	群馬町 保渡田	はぐくみ農協 (群馬町農協)	(S60年度) H12年度	ヤンマー農機㈱	216	63,600 ＜39,647＞	(新農業構造改善後期対策事業) 農業生産総合対策事業
	藤岡市 神田	多野藤岡農協 (藤岡市農協)	S60年度	井関農機㈱	20	6,600 ＜5,044＞	水田利用再編特別対策事業
	藤岡市 神田	多野藤岡農協 (藤岡市農協)	H元年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜25,221＞	農業生産体質強化総合推進対策事業

農業 事務 所別 区分	所在地	事 業 主 体 (旧農協名)	設置年度	プラント製造メーカー	受 益 面 積 (ha)	育 苗 能 力 (箱 数) ＜令和6年度実績＞	設置事業名
西 部	吉井町 馬庭	多野藤岡農協 (群馬吉井町農協)	S59 年度	井関農機(株)	80	26,400 ＜59,555＞	新地域農業生産総合振興対策事業
	富岡市 相野田	相野田育苗組合	S53 年度	久保田鉄工(株)	6	1,500 ＜1,250＞	地域農政特別対策事業
	安中市 原市	碓氷安中農協 (安中市農協)	(S53 年) H2 年度	三菱農機(株)	150	49,500 ＜21,826＞	(水稻共同育苗施設設置事業) 構造改善推進モデル集落整備事業
	西部農業事務所管内計（10施設）				863	272,900 ＜259,243＞	
吾 妻	中之条町 平	あがつま農協	H8 年度	ヤンマー農機(株)	250	55,000 ＜63,407＞	地域連携確立農業構造改善事業
	吾妻農業事務所管内計（1施設）				250	55,000 ＜63,407＞	
利 根 沼 田	沼田市 下沼田町	利根沼田農協	H5 年度	(株)山本製作所	200	44,000 ＜53,582＞	農業農村活性化農業構造改善事業
	新治村 羽場	利根沼田農協	H9 年度	(株)クボタ	276	69,000 ＜75,819＞	農業生産体制強化総合推進対策事業
	利根沼田農業事務所管内計（2施設）				476	113,000 ＜129,401＞	
東 部	新里村 武井	新田みどり農協 (ぐんま新里村農協)	H5 年度	井関農機(株)	100	32,740 ＜23,886＞	新農業構造改善後期対策事業
	黒保根村 水沼	黒保根水稻栽培 協業組合	(S51 年) H7 年度	(株)クボタ	50	10,000 ＜11,886＞	(山村振興特別対策事業) 特定農山村地域活性化対策事業
	太田市 新野町	太田市農協	S56 年度	井関農機(株)	稚苗 100 中苗 100	60,000 ＜21,019＞	地域農業生産総合振興対策事業
	千代田町 上五箇	邑楽館林農協 (富永農協)	H3 年度	(株)クボタ	100	25,000 ＜34,405＞	農業農村活性化農業構造改善事業
	東部農業総合事務所管内計（4施設）				450	127,740 ＜91,963＞	
合 計 （28施設）					4,307	1,096,590	

(注) 1, 蚕糸園芸課資料による。
2, 設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。
3, 受益面積及び育苗能力は事業計画の目標数値である。

資料3 種子の生産状況及び品種情報について

1 令和7産種子生産実績

(1) 水稻種子

単位:20kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子	備考
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子・転用	(%)	
水稻うるち	コシヒカリ	3,200	3,200	100.0%	3,112	88	97.3%	
	ひとめぼれ	2,400	2,400	100.0%	345	2,055	14.4%	
	あさひの夢	6,050	5,910	97.7%	4,198	1,712	71.0%	
	ゆめまつり	1,000	1,000	100.0%	712	288	71.2%	
	いなほっこり	130	170	130.8%	0	170	0.0%	
水稻もち	群馬糯5号	450	394	87.6%	0	394	0.0%	
	まんぶくもち	0	0	0.0%	0	0	0.0%	
計		13,230	13,074	98.8%	8,367	4,707	64.0%	

(2) 麦種子

単位:小麦30kg袋、大麦25kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子	備考
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子	(%)	
小麦	さとのそら	8,960	9,593	107.1%	0	9,593	0.0%	
	つるぴかり	2,490	2,307	92.7%	0	2,307	0.0%	
	きぬの波	500	600	120.0%	0	600	0.0%	
	ゆめかおり	850	850	100.0%	249	601	29.3%	
	計	12,800	13,350	104.3%	249	13,101	1.9%	
二条大麦	サチホールデン	1,300	1,300	100.0%	905	395	69.6%	
	アスカールデン	2,200	2,200	100.0%	1,000	1,200	45.5%	
	計	3,500	3,500	100.0%	1,905	1,595	54.4%	
六条大麦	シュンライ	700	736	105.1%	440	296	59.8%	
	計	700	736	105.1%	440	296	59.8%	
合計		17,000	17,586	103.4%	2,594	14,992	14.8%	

(3) 大豆種子

単位:30kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子	(%)
大豆	里のはほえみ	200	200	100.0%	0	200	0.0%

2 令和8年産種子生産計画

(1) 水稻種子

単位:袋/20kg

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
水稻うるち	コシヒカリ	2,314	3,700	74,000
	ひとめぼれ	1,500	2,400	48,000
	あさひの夢	3,439	5,500	110,000
	ゆめまつり	625	1,000	20,000
	いなほっこり	94	150	3,000
水稻もち	群馬糯5号	300	480	9,600
合計		8,272	13,230	264,600

(2) 麦種子

単位:小麦30kg袋、大麦25kg袋

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
小麦	さとのそら	9,200	9,200	276,000
	つるびかり	2,100	2,100	63,000
	きぬの波	550	550	16,500
	ゆめかおり	750	750	22,500
	計	12,600	12,600	378,000
二条大麦	サチホールデン	1,200	1,200	30,000
	アスカールデン	1,800	1,800	45,000
	計	3,000	3,000	75,000
六条大麦	シュンライ	800	800	20,000
	計	800	800	20,000
合計		16,400	16,400	473,000

(3) 大豆種子

単位:袋/30kg

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
大豆	里のほほえみ	200	80	2,400

3 群馬県職務育成品種登録及び許諾契約状況

1 水稻

名 称	登録年月日	育成者権 消滅日	登録(継続)期間	登録番号	許諾相手先	許諾状況
舞 風	2011/3/9	2036/3/9	2027/3/9	第20531号	群馬県米麦大豆振興協会	2024/4/1～ 2027/3/31

2 小麦

名 称	登録年月日	育成者権 消滅日	登録(継続)期間	登録番号	許諾相手先	許諾状況
さとのそら	2010/10/13	2035/10/13	2027/10/13	第19991号	群馬県米麦大豆振興協会 (公社)茨城県農林振興公社 (公社)栃木県米麦改良協会 埼玉県米麦改良協会 (一社)岐阜県米麦改良協会 千葉米改良協会	2024/4/1～ 2027/3/31
					福島県米改良協会	2025/4/1～ 2028/3/31

3 大豆奨励品種特性表

種 類	早 晩 性	品 種 名	来 歴 育成場所 育 成 年	採用 年 次	栽培 面積 (令和5) ha	供 試 年 次	播 種 期 月・日	開 花 期 月・日	成 熟 期 月・日	生 態 型	草 丈 cm	分 枝 数 本	主 茎 節 数 節	葉 型	草 型	毛 茸 の有無及び色	花 色	熟 色	裂 英 性	子 実					病 害 虫 性			環 境 性			適地及び栽培上の注意	
																				百粒重 g	粒 形	裂 皮	種 皮 色	臍 色	10a 当り 収量 kg/10a	紫 斑 病	ウ イ ル ス 病	チ シ ス ユ ト セ ウ ン	耐 倒 伏 性	耐 冷 性		晩 播 適 応 性
大豆	普	晩	東山80号×エンレイ 長野県農総試 中信地方試 昭 63 年	昭63	22	12 16	6 ・ 17	8 ・ 3	10 ・ 20	中間	71	4.9	14.7	円葉	(短茎分子閉鎖) 有・白	有・白	紫	褐	やや難	34.0	やや楕円	無	黄	黄	329	やや弱	中	弱	やや弱	強	やや大	10月中旬～下旬に成熟する晩生種で、子実は極大粒、品質・成分とも良好で、収量も多い。主茎の莖葉がよく繁茂する。平坦地では、主茎長が伸びすぎるため、不適である。また、耐倒伏性が劣るため、中耕培土等を行う必要がある。晩播適応性は、比較的高い。
	通	中の晩	〔 認 定 〕 ハ タ ユ タ カ	スズユタカ×エンレイ 東北農業試験場 刈和野試験地 平 11 年	平15	30	12 16	6 ・ 17	8 ・ 1	10 ・ 19	64	4.4	14.1	円葉	(短茎分子閉鎖) 有・白	有・白	紫	褐	やや難	29.9	扁球	無	黄白	黄	345	中	強	強	強	強	大	10月中旬～下旬に成熟する中の晩生種で、平坦地帯～中山間地帯に適する。強釋だがやや重化し易いため、中耕培土等を行う。またシストセンチュウに強いので連作は可能だが、できる限り輪作を行う。晩播適応性は比較的高い。最下着莢高がやや低い収量性は高いので、コンバイン収穫では下方の莢は無視し、やや高刈りする。製英し難く、莢先熟現象も起こりにくいため汚粒の発生は比較的に少ない。
							12 16	6 ・ 5	7 ・ 31	10 ・ 15	71	5.9	14.6	円葉	有・白	有・白	紫	褐	やや難	30.2	扁球	無	黄白	黄	391	中	強	強	強	強	大	10月中旬に成熟する中の中生種で、子実は大粒で品質は良好である。最下着莢高が高く難製英性であるので機械収穫耐性に優れる。耐倒伏性にも優れ県内中間～平坦地域に適する。シストセンチュウには弱であるので発生履歴のある圃場では栽培を避ける。
	豆	中の中	〔 認 定 〕 里 の ほ ほ え み	東北129号×刈交0264MYF6 東北農業研究センター 大仙研究拠点刈和野 平 21 年	平29	196	26 27	6 ・ 17	8 ・ 1	10 ・ 18	中間	66	7.1	12.8	円葉	有限	有・白	白	褐	難	36.1	扁球	一	黄白	黄	259	強	強	弱	強	一	一
26 27							6 ・ 17	7 ・ 31	10 ・ 23	中間	62	6.6	12.5	長葉	有限	有・白	紫	褐	中	36.1	やや楕円	無	黄	黄	306	強	中	極弱	極強	強	中小	10月中旬に成熟する中の中生種で、子実はやや大粒で品質は良好、収量も多い。草型は中間で極強釋、長葉で分枝が閉じ草型が良く受光体勢に優れ、400m以下の県内各地に適する。また晩播適応性、機械化適性も高く、中間・平坦地の表作後の栽培も可能で、多肥・密植栽培にも向く。シストセンチュウには極弱で製英性がやや易。近年莢先熟現象が問題となっている。
豆	中の中	タ チ ナ ガ ハ	東山61号×東山系G627 (好ｽｽﾞﾘ×ﾐﾅﾐﾁｼﾞﾛｽ) 長野県農総試 中信地方試 昭 61 年	平元	一	26 27	6 ・ 17	7 ・ 31	10 ・ 23	中間	62	6.6	12.5	長葉	有限	有・白	紫	褐	中	36.1	やや楕円	無	黄	黄	306	強	中	極弱	極強	強	中小	10月中旬に成熟する中の中生種で、子実はやや大粒で品質は良好、収量も多い。草型は中間で極強釋、長葉で分枝が閉じ草型が良く受光体勢に優れ、400m以下の県内各地に適する。また晩播適応性、機械化適性も高く、中間・平坦地の表作後の栽培も可能で、多肥・密植栽培にも向く。シストセンチュウには極弱で製英性がやや易。近年莢先熟現象が問題となっている。
						6 10	6 ・ 4	7 ・ 3	10 ・ 22	中間	54	5.7	13.9	長葉	有限	有・白	紫	褐	中	35.2	やや楕円	無	黄	黄	343	強	中	極弱	極強	強	中小	10月中旬に成熟する中の中生種で、子実はやや大粒で品質は良好、収量も多い。草型は中間で極強釋、長葉で分枝が閉じ草型が良く受光体勢に優れ、400m以下の県内各地に適する。また晩播適応性、機械化適性も高く、中間・平坦地の表作後の栽培も可能で、多肥・密植栽培にも向く。シストセンチュウには極弱で製英性がやや易。近年莢先熟現象が問題となっている。

(注) 上段：平坦地 前橋市江木町農技センター 標高120m 畑 栽植密度 70×12cm (11.9株/㎡)
 下段：中山間地 利根郡みなかみ町後閑 標高400m 転換畑 栽植密度 70×17cm (8.4株/㎡)
 (タチナガハ)
 下段：中山間地 利根郡みなかみ町須川 標高540m 畑 栽植密度 70×17cm (8.4株/㎡)
 (オオツル、ハタユタカ)

2 麦類奨励品種特性表

種 類	早 晩 性	品 種 名	来 歴 育 成 場 所 育 成 年	採 用 年 次	栽培 面積 (令和5) ha	供 試 年 次	播 種 期	出 穂 期	成 熟 期	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m ²	芒 の 長 短	株 の 開 閉	穂 発 芽 性	脱 粒 性	播 性 程 度	玄 麦			硝 子 率 の 硬 軟	品 質	諸 抵 抗 性										適地及び栽培上の注意	
																		千 粒 重 g	容 積 重 g/ℓ	収 量 kg/10a			黒 銹 小 銹	赤 銹 小 銹	う ど ん こ	赤 か び	縞 萎 縮	斑 萎 縮	凍 霜 害	耐 寒 雪 性	耐 肥 性	耐 倒 伏 性		
小 麦	早	さ と の そ ら	『東山25号(しゅんよう)×西海168号(きぬいろは)』F1 ×ニンカゼコムギ 群馬県農技セ 平 20 年	平 21	3,870	令 2 7	11 ・ 16	4 ・ 18	6 ・ 5	85	8.9	535	中		難	中	Ⅳ	37.9	812	418	軟	上	—	強	強	中	—	強	—	—	強	作付けは平坦地帯に適する。播性がⅣであることから山間地域以上も対象とする。うどんこ病等主要病害には強いが、赤かび病抵抗性は中程度なので必要に応じて適切な防除を行う。		
	早	つ る び か り	関東100号(ﾊﾞﾝﾄ'ｸﾜﾔ) ×関東107号 群馬県農試 平 7 年	平 9	930	令 2 7	11 ・ 16	4 ・ 16	6 ・ 6	87	9.4	513	中	やや閉	難	中	Ⅱ	35.4	818	478	中	上	—	強	やや弱	中	—	やや強	—	やや弱	弱	強	強	作付は平坦地帯に適する。強播で優れた栽培性を有するが、小粒であることから厚播きや多肥栽培を避ける。極端な早播きは凍霜害の被害を受けやすいので避ける。また、うどんこ病の発生に留意する。
	早	き め の 波	関東107号 ×関東100号(ﾊﾞﾝﾄ'ｸﾜﾔ) 群馬県農試 平 10 年	平 12	260	令 2 7	11 ・ 16	4 ・ 19	6 ・ 7	81	9.5	458	中	やや閉	難	中	Ⅱ	37.2	821	458	軟	上	—	中	弱	中	—	やや強	—	やや強	—	中	強	作付は平坦地帯とする。耐倒伏性は強いが、うどんこ病に弱い。このため厚播きは避け、基肥施肥量は「つるびかり」並に抑え、追肥重視とする。
	中	〔 認 定 〕 ゆ め か お り	西海180号 ×KS831957 長野県農事試 平 21 年	平 30	270	令 2 7	11 ・ 13	4 ・ 17	6 ・ 6	104	8.6	624	中	やや閉	やや難	—	Ⅱ	42.6	847	487	硬	中の中	—	強	やや強	中	強	強	—	弱	弱	—	強	主な用途はパン・中華麺等であるため、高タンパク質含量を得るため畑地での作付けを基本とし、適切な肥培管理を行うこととする。早播きは凍霜害の影響を受けやすく、稈長が長くなる傾向があるため、適期播種に務める（11月中～下旬）。※試験データは畑。
六 条 大 麦	早	シ ュ ン ラ イ	ミノリムギ ×東山皮68号 長野県農事試 昭57年	平 10	509	令 2 7	11 ・ 16	4 ・ 13	5 ・ 25	98	4.5	392	やや長	中	易	—	Ⅰ	37.3	706	408	—	上	—	—	やや弱	やや弱	強	強	強	強	やや強・中	—	強	極端な早播きは、凍霜害を受ける危険性が高まるため適期(11月上旬)に播種する。耐倒伏性は強いが、極端な厚播きや多肥は品質の低下を招くとともに、倒伏し易くなるので適切な肥培管理に努める。うどんこ病、赤かび病はやや弱いため、適期防除に努め精麦品質の低下を防ぐ。
	早	〔 認 定 〕 さ や か ゼ	関東皮70号× 関東皮68号（すずかぜ） 作物研究所 平 14 年	平 15	—	平 23 24 29 30	11 ・ 12	4 ・ 22	6 ・ 2	73	3.4	480	中	中	極難	中	Ⅰ	31.1	684	409	—	中の上	—	—	中	やや弱	—	極強	—	弱	—	—	強	作付けは、平坦～中間地帯で麵用小麦が品質的に劣しくない畑地とする。倒伏や品質の低下を招くような極端な厚播きや多肥栽培は避ける。また、赤かび病やうどんこ病の発生に注意し防除に努める。なお、麦茶用のため、粗蛋白質含有量を高めるように心がける。 ※試験データは畑。
二 条 大 麦	早	サチホゴールデン	大系R4224 ×関東二条29号 栃木農試栃木分場 平 17 年	平 21	670	令 2 7	11 ・ 16	4 ・ 4	5 ・ 21	94	6.6	627	やや長	やや閉	中	やや難	Ⅰ	48.3	735	391	—	中	—	—	極強	やや強	—	極強	—	弱	—	—	やや強	平坦地帯の水田転換畑に適する。縞萎縮病Ⅰ～Ⅲ型抵抗性である。側面裂皮粒が発生しやすいので、極端な早播きは避け、適正な生育を確保する。また、穀皮が薄く剥皮しやすいので、収穫・乾燥・調製作業には注意する。
	早	〔 認 定 〕 アスカゴールデン	栃系283 ×九州二条15号 栃木農試栃木分場 平24年	平 27	1,050	令 2 7	11 ・ 16	4 ・ 8	5 ・ 23	95	6.2	681	やや長	やや閉	やや易	やや難	Ⅰ	47.2	721	359	—	中	—	—	極強	やや強	—	極強	—	弱	—	—	やや強	平坦地帯の水田転換畑に適する。縞萎縮病Ⅰ～Ⅴ型抵抗性である。播性程度がⅠで茎立ちし易く、凍霜害の影響を受けやすいため、極端な早播きは避ける。また、穀皮が薄く剥皮しやすいので、収穫・乾燥・調製作業には注意する。

(注) 麦の栽培面積は、農林水産統計(麦類の作付面積)と全農ぐんま及び集連のは種前契約より推計。

1 水陸稻奨励品種特性表

85

種 類	栽培 性	早晩 性	品 種 名	来 歴 育成場所 育 成 年	採用 年次	栽培 面積 (令和5) ha	供試 年次	区 分	播 種 期	田 植 期	出 穂 期	成 熟 期	稈 長 cm	穂長 cm	穂 数 本/m ²	芒の 多少・ 長短	ふ 先 色	草 型	穂 発 芽 性	脱 粒 性	玄米 の 光沢・ 色沢	心 白 の 多 少	腹 白 の 多 少	玄 米		10a当り収量		品 食 質 味		諸 抵 抗 性					繭 葉 枯 病	適地及び栽培上の注意		
																								千 粒 重 g	容 積 重 g/L	精 穀 重 kg	玄 米 重 kg			葉 い もち	穂 い もち	白 葉 枯	紋 枯 バエ	耐 冷 (寒) 性			耐 倒 伏 性	
水 稲	中山 間地	中早	〔 認 定 〕 五 百 万 石	菊水×新200号 新潟県農試 昭 32 年	平 7	—	平 14 18	早 期	4 ・ 20	5 ・ 20	8 ・ 11	9 ・ 14	79	19.1	330	無	淡 黄	偏 重	難	難	淡 給 ・ 良	多	無	22.9	823	585	439	上 の 下	—	中	やや 弱	やや 弱	—	弱	やや 弱	弱	標高350～600mの中・山間地帯に適する。 酒米なので契約栽培とする。障害型冷害に弱いので、冷夏では水管理等 による適切な対応が不可欠である。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造 適性を低下させるので避ける。	
		造平担	〔 認 定 〕 若 水	あ系酒101 ×五百万石 愛知県農試 昭 38 年	平 元	—	平 22 26	普 通 期	5 ・ 25	6 ・ 25	8 ・ 25	10 ・ 10	84	20.5	354	少 ・ 中	黄 白	偏 重	難	難	淡 給 ・ 良	多	少	25.2	840	715	529	上 の 下	—	中	やや 弱 — 中	やや 弱	やや 弱	—	極 弱	やや 弱	やや 弱	標高200m以下の平坦地帯に適する。 繭葉枯病に弱いので常発地は避けるか、防除に努める。酒米なので契約 栽培とする。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造適性を低下させるので 避ける。
		適地	〔 認 定 〕 舞 風	群馬酒23号 (特ビ 別) ×後寛通12号 (さびの華) 群馬県農技セ 平 20 年	平 21	—	平 22 26	普 通 期	5 ・ 25	6 ・ 25	8 ・ 24	10 ・ 11	82	22.5	338	少 ・ 中	黄 白	偏 重	やや 難	難	淡 給 ・ 良	多	少	24	835	779	587	上 の 下	—	中	強	—	—	—	やや 弱	極 強	標高200m以下の平坦地帯に適する。 酒米なので契約栽培とする。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造適性を 低下させるので避ける。	
水 稲	高冷 地	早早	〔 認 定 〕 タ ツ ミ モ チ	いもちしらず ×ふ系35号 青森県農試藤坂支場 昭 40 年	昭 59	—	平 15 18	早 期	4 ・ 19	5 ・ 20	8 ・ 22	9 ・ 18	83	17.5	526	無	褐	中 間	やや 易	難	乳 白 ・ 良	—	—	19.9	826	872	655	上 の 上	上 の 下	やや 強	やや 強	やや 弱	やや 弱	強	強	中	—	標高700m以上の高冷地帯に適する。 稈質が柔らかく倒伏しやすいので施肥量は少なめとする。
		山間	〔 認 定 〕 ヒメノモチ	大系227 ×コガネモチ 東北農試 昭 47 年	昭 59	—	平 11 15	早 期	4 ・ 20	5 ・ 20	7 ・ 31	9 ・ 14	80	18.6	384	無	白	偏 重	易	難	乳 白 ・ 良	—	—	22.2	837	639	507	中 の 下	上 の 中	やや 強	やや 強	中	強	強	強	中	弱	標高250～700mの中・山間地帯に適する。 耐倒伏性は強くないので基肥は控え目とする。穂発芽が“易”であり、 収穫後の降雨に注意する。
		中早 地	まんぶくもち	越南糯144号 ×ふくひびき 福岡県農試 平 19 年	平 19	20	平 14 18	早 期	4 ・ 19	5 ・ 20	8 ・ 5	9 ・ 20	71	17.7	330	稀 ・ 少	褐	偏 重	中	難	乳 白 ・ 良	—	—	22.1	826	743	571	中 の 下	上 の 中	やや 強	やや 強	弱	強	—	中	やや 強	弱	標高250～600mの中・山間地帯に適する。 移植期は、6月上旬までとし、極端な遅植えは、成熟期が遅延すること から避ける。基肥施用量は、耐倒伏性は強いが「ヒメノモチ」と同程度 とする。ふ先色は、成熟期頃になると判別しにくくなる。
水 稲	平担 もち	中晩 地	群 馬 糯 5 号	愛知37号C(青い空)×マンゲ ツモチ 群馬県農試 平 4 年	平 5	130	平 14 18	普 通 期	5 ・ 26	6 ・ 25	8 ・ 22	10 ・ 10	83	20.9	433	少 ・ 中	赤	偏 数	やや 難	難	乳 白 ・ 良	—	—	20.2	816	762	551	上 の 下	上 の 下	やや 強	中	やや 弱	やや 強	—	—	中	極 強	標高350m以下の地帯に適する。 耐倒伏性はあまり強くないので基肥は控えめとする。セジロウankaに対 して弱いので必要に応じて防除する。また、白葉枯病に弱いので常発地 帯での栽培は避ける。
		平地 もち	早	〔 認 定 〕 ト ヨ ハ タ モ チ	石系201号(ワカサギ) ×フタバハタモチ 茨城県農試 昭 60 年	昭 60	—	平 9 11 14 15	—	5 ・ 15	—	8 ・ 6	9 ・ 16	78	18.5	272	稀 ・ 短	紫	中 間	易	難	乳 白 ・ 中	—	—	20.0	808	290	210	中 の 下	中 の 上	強	強	強	中	—	—	強	—

(注) 水稲の栽培面積は、農林水産統計 令和5年産水稲の作付面積（予実用）を基に作付比率（水稲共済・一体化データに基づく推計値）から算出し、ラウンドした数値。

4 標高別適応品種

種 類	標 高	高 冷 地 帯			山 間 地 帯			中 間 地 帯		平 坦 地 帯		東 部 平 坦 地 帯	
		900	800	700	600	500	400	300	200	100	50	0	
水		ユメコガネ											
		ふゆげしき											
								ひとめぼれ					
								コシヒカリ					
稲										いなほっこり			
										にじのきらめき			
										ゆめまつり			
										あさひの夢			
										若水・舞風			
		タツミモチ											

- 注) 1 平坦地帯のコシヒカリは、5月末までに移植できる地域とする。
 2 平坦地帯のひとめぼれは、6月上旬までの移植とする。
 3 ゆめまつり、あさひの夢の中苗の移植は6月25日までを目安とする。
 4 ヒメノモチは、倒伏性と品質低下防止の観点から、山間地帯に適する。
 5 さとのそらは、播性がⅣであることから山間地帯以上も対象とする。

5 地域別適応品種

地帯別		高冷地帯	山間地帯	中間地帯	平坦地帯	東 部 平坦地帯
地域 区分 適応 品種		吾妻郡、利根郡 の一部で標高 700m以上の地域	渋川市、沼田市、 吾妻郡、利根郡、 北群馬郡、甘楽郡 の一部で標高 400m～700mの地 域	前橋市、高崎市、 渋川市、藤岡市、 富岡市、安中市、 桐生市、みどり市、 北群馬郡、甘楽郡 の一部で標高 200m～400mの地 域	前橋市、伊勢崎市、 高崎市、渋川市、 藤岡市、富岡市、 安中市、桐生市、 みどり市、佐波郡、 北群馬郡、甘楽郡、 吾妻郡の一部で標 高200m以下の地域	館林市、太田市、 邑楽郡の標高50m 以下の地域
	水	粳	ユメコガネ ふゆげしき	ひとめぼれ コシヒカリ	ひとめぼれ コシヒカリ	ひとめぼれ コシヒカリ
	稲	酒造好適米	五百万石	五百万石	ひとめぼれ コシヒカリ いなほっこり にじのきらめき ゆめまつり あさひの夢	ひとめぼれ コシヒカリ いなほっこり にじのきらめき ゆめまつり あさひの夢
		糯	タツミモチ	まんぷくもち 群馬糯5号	若水・舞風	若水・舞風
陸 稲	糯		トヨハタモチ	トヨハタモチ	群馬糯5号	群馬糯5号
			トヨハタモチ	トヨハタモチ	トヨハタモチ	トヨハタモチ

地帯別	高冷地帯	山間地帯	中間地帯	平坦地帯	東 部 平坦地帯	備 考
小 麦	さとのそら	さとのそら	さとのそら	さとのそら つるびかり きぬの波	さとのそら つるびかり きぬの波	
				ゆめかおり	ゆめかおり	硬質 小麦
六 条 大 麦			シュンライ	シュンライ	シュンライ	精麦用
二 条 大 麦				サチホゴールド アスカゴールド	サチホゴールド アスカゴールド	
大 豆	オオツル	オ オ ツ ル	里のほほえみ	里のほほえみ	里のほほえみ	

資料5 農産物規格規程(国内産農産物)の品位 一 抜粋一

1 稲

(1) 水稲うるちもみ、水稲もちもみ、陸稲うるちもみ及び陸稲もちもみ

項目 等級	最低限度		最高限度				
	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、着色粒、異種穀粒及び異物			
				計 (%)	着色粒 (%)	異種穀粒 (%)	異物 (%)
合格	70	標準品	14.5	6	0.2	0.3	0.2

規格外—合格の品位に適合しないもみであって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(2) 種子水稲うるちもみ、種子水稲もちもみ、種子陸稲うるちもみ及び種子陸稲もちもみ

項目 等級	最低限度			最高限度			
	発芽率 (%)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒 (%)	異物 (%)	色
合格	90	90	標準品	14.5	0.5	0.2	品種固有の色

規格外—合格の品位に適合しないもみであって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

附則

- 1 水分の最高限度は、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
- 2 水稲もちもみ及び陸稲もちもみのうち合格のものには、その種類以外のもみが2%を超えて混入してはならない。
- 3 種子もみにおける異種穀粒及び異品種粒の混入限度
イ. 異なる品種を交配した一代雑種の種子もみにあつては、異種穀粒が混入してはならず、かつ、異品種粒が2%を超えて混入してはならない。
ロ. 原種として生産された雄性不稔系統の種子もみにあつては、異種穀粒が混入してはならず、かつ、異品種粒が1%を超えて混入してはならない。
ハ. イ及びロに掲げる種子もみ以外の種子もみにあつては、異種穀粒及び異品種粒が混入してはならない。
- 4 種子もみとして検査の請求をしたもみで種子もみの等級に格付けされなかったものについては、水稲うるちもみ、水稲もちもみ、陸稲うるちもみ又は陸稲もちもみとしてそれぞれの規格を適用する。
- 5 包装には、農林水産省総合食料局長(以下「総合食料局長」という。)が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員(農産物検査法(昭和26年法律第144号)第17条第2項第1号に規定する者をいう。以下同じ。)が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋、紙袋又はポリエチレンフィルム袋を使用していなければならない。

定義

- 1 百分率—全量に対する重量比をいう。ただし、発芽率の場合を除く。
- 2 整粒—被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。
- 3 形質—充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形及び光沢をいう。
- 4 水分—常圧加熱乾燥法のうち、105度乾燥法によるものをいう。
- 5 被害粒—損傷を受けた粒(発芽粒、病害粒、くされ粒、虫害粒、傷もみ、碎粒等)をいう。ただし、普通もみにあつては、損傷が軽微で玄米の品質及びもみすり歩合に影響を及ぼさない程度のもものを除く。
- 6 着色粒—粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、とう精によって除かれ、又は精米の品質及び精米歩合に著しい影響を及ぼさない程度のもものを除く。
- 7 未熟粒—成熟していない粒をいう。
- 8 異種穀粒—その種類のもみ(普通もちもみにあつては、もみ)を除いた他の穀粒をいう。
- 9 異物—穀粒を除いた他のものをいう。
- 10 発芽率—摂氏25度で14日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した整粒等に対する粒数歩合をいう。
- 11 整粒等—整粒、未熟粒及び被害粒(原形の2分の1以下の碎粒を除く。)をいう。
- 12 たんぱく質—精米につき窒素定量法により換算値5.95を用いたもの又はこれと同等の精度でその測定結果が得られる近赤外分析計を用いて測定したものをいう。
- 13 アミロース—精米につきヨウ素呈色比色法により分光光度計を用いて測定したものをいう。

(3) 水稲うるち玄米

項目 等級	最低限度		最高限度					
	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物				
				計 (%)	死米 (%)	着色粒 (%)	異種穀粒 (%)	異物 (%)
1等	70	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.4	0.2
2等	60	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.8	0.4
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.7	0.6

規格外—1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない玄米であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(4) 陸稲うるち玄米及び陸稲もち玄米

項目 等級	最低限度		最高限度							
	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物						
				計 (%)	死米 (%)	着色粒 (%)	異種穀粒			異物 (%)
							もみ (%)	麦 (%)	もみ及び麦を除いたもの (%)	
1等	65	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2
2等	55	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.5	0.3	0.5	0.4
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.0	0.7	1.0	0.6

規格外—1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない玄米であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(5) 醸造用玄米

項目 等級	最低限度		最高限度						色
	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、死米、着色粒、もみ及び異物					
				計 (%)	死米 (%)	着色粒 (%)	もみ (%)	異物 (%)	
特上	90	特上標準品	15.0	5	3	0.0	0.1	0.0	品種固有の色
特等	80	特等標準品	15.0	10	5	0.0	0.2	0.1	品種固有の色
1等	70	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.3	0.1	品種固有の色
2等	60	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.5	0.4	—
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.0	0.6	—

規格外—特上から3等までのそれぞれの品位に適合しない醸造用玄米であって、もみ及び異物を50%以上混入していないもの。

附則

- 醸造用玄米を除く玄米の水分の最高限度は、各等級とも、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
- 次の道県で生産された醸造用玄米に限り、その水分の最高限度は各等級とも本表の数値にそれぞれ次の数値を加算したものとする。
・北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形及び福島各道県、1.0%
・新潟、富山、石川、福島、島根及び沖縄各県、0.5%
- もち玄米には、その種類以外の玄米が1等のものにあっては1%、2等のものにあっては2%、3等のものにあっては3%を超えて混入してはならない。
- 玄米には、異物として土砂（これに類するものとして農林水産省生産局長が定めるものを含む。）が混入してはならない。
・農林水産省生産局長が定めるもの、石、ガラス片、金属片及びプラスチック片
- 醸造用玄米には、もみを除く異種穀粒及び異品種粒が混入してはならない。

定義

- 百分率—全量に対する重量比をいう。
- 整粒—被害粒、死米、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。
- 形質—皮部の厚薄、充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形、光沢並びに肌ずれ、心白及び腹白の程度をいう。
- 水分—常圧加熱乾燥法のうち、105度乾燥法によるものをいう。
- 被害粒—損傷を受けた粒（発芽粒、病害粒、芽くされ粒、虫害粒、胴割粒、奇形粒、茶米、碎粒等）をいう。
- 死米—充実していない粉状質の粒（青死米及び白死米）をいう。
- 着色粒—粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、とう精によって除かれ、又は精米の品質及び精米歩合に著しい影響を及ぼさない程度のもを除く。
- 未熟粒—死米を除いた成熟していない粒をいう。
- 異種穀粒—その種類の玄米（もち玄米）にあっては、玄米を除いた他の穀粒をいう。
- 異物—穀粒を除いた他のものをいう。

(6) 七分づき精米

項目 等級	最低限度		最高限度					
	形質	水分	粉状質粒及び被害粒			碎粒	異種穀粒及び異物	
			計	被害粒			もみ	もみを除いたもの
				計	着色粒			
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1等	1等標準品	15.0	10	1	0.0	2	0.0	0.1
2等	2等標準品	15.0	20	2	0.2	5	0.0	0.2
等外	等外標準品	15.0	25	4	0.2	15	0.0	0.3

規格外—1等から等外までのそれぞれの品位に適合しない精米であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(7) 完全精米

項目 等級	最低限度		最高限度					
	形質	水分	粉状質粒及び被害粒			碎粒	異種穀粒及び異物	
			計	被害粒			もみ	もみを除いたもの
				計	着色粒			
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1等	1等標準品	15.0	10	1	0.0	5	0.0	0.0
2等	2等標準品	15.0	20	2	0.2	10	0.0	0.1
等外	等外標準品	15.0	25	4	0.2	15	0.0	0.2

規格外—1等から等外までのそれぞれの品位に適合しない精米であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

附則

- 1 水分の最高限度は、各等級とも、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
- 2 もち精米には、その種類以外の精米が1等のものにあつては0%、2等のものにあつては2%、等外のものにあつては3%を超えて混入してはならない。
- 3 精米には、土砂(これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。)が混入してはならない。
- 4 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った紙袋を使用していなければならない。

定義

- 1 百分率—玄米の定義の百分率に同じ。
- 2 形質—ぬか層のはく離及びぬかの付着の程度、粒ぞろい並びに心白及び腹白の程度をいう。
- 3 水分—もみの定義の水分に同じ。
- 4 粉状質粒—粒質が粉状又は半粉状の粒をいう。
- 5 被害粒—汚染し、又は損傷を受けた粒(砕粒を除く。)をいう。
- 6 着色粒—粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、精米の品質に著しい影響を及ぼさない程度のもをを除く。
- 7 砕粒—その大きさが完全粒の3分の2から4分の1(針金25番線ふるい目の開き1.7ミリメートルのふるいをもって分け、そのふるいの上に残る程度の大きさをいう。)までの粒をいう。
- 8 異種穀粒—その種類の精米(もち精米にあつては、精米)を除いた他の穀粒をいう。
- 9 異物—その大きさが完全粒の4分の1未満の精米粒及び穀粒を除いた他のものをいう。
- 10 たんぱく質—もみの定義のたんぱく質に同じ。
- 11 アミロース—もみの定義のアミロースに同じ。

2 麦類

(1)普通小麦

項目 等級	最低限度			最高限度					
	容積重 (グラム)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、異種穀粒及び異物				
					計 (%)	異種 穀粒 (%)	異物		
等級	容積重 (グラム)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	計 (%)	異種 穀粒 (%)	麦角粒 (%)	なまぐさ黒 穂病粒率 (%)	麦角粒及び なまぐさ黒 穂病粒率を 除いたもの (%)
							0.0	0.1	0.4
							0.0	0.1	0.6

規格外—異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通小麦であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(2)強力小麦

項目 等級	最低限度				最高限度						
	容積重 (グラム)	整粒 (%)	硝子率 (%)	形質	水分 (%)	異品種粒 (%)	被害粒、異種穀粒及び異物				
							計 (%)	異種穀粒 (%)	異物		
等級	容積重 (グラム)	整粒 (%)	硝子率 (%)	形質	水分 (%)	異品種粒 (%)	計 (%)	異種穀粒 (%)	麦角粒 (%)	なまぐさ黒 穂病粒率 (%)	麦角粒及び なまぐさ黒 穂病粒率を 除いたもの (%)
									0.0	0.1	0.4
									0.0	0.1	0.6

規格外—異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない強力小麦であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(3)種子小麦

種類	項目	最低限度					最高限度				色
		容積重 (グラム)	整粒 (%)	硝子率 (%)	発芽率 (%)	形質	水分 (%)	被害粒 (%)	異物		
	麦角粒 (%)								麦角粒を除いたもの (%)		
普通小麦	等級 合格	740	90	－	80	標準品	12.5	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
強力小麦	合格	740	90	70.0	80	標準品	12.5	0.5	0.0	0.2	品種固有の色

附則

- 1 普通小麦の規格は、品種銘柄として定められた品種以外(種子小麦を除く。)について適用する。
- 2 強力小麦の規格は、品種銘柄として定められた品種(種子小麦を除く。)について適用する。
- 3 普通小麦及び強力小麦のうち1等及び2等のものには、被害粒のうち発芽粒が2.0%、赤かび粒が0.0%及び黒かび粒が5.0%を超えて混入してはならない。
- 4 普通小麦のうち1等及び2等のものには、強力小麦が10%を超えて混入してはならない。
- 5 小麦には、異物として土砂(これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。)が混入してはならない。
- 6 種子小麦には、異臭があつてはならない。
- 7 種子小麦には、異品種粒、異種穀粒又はなまぐさ黒穂病粒が混入してはならない。
- 8 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

- 1 百分率—全量に対する重量比をいう。ただし、なまぐさ黒穂病粒率、硝子率及び発芽率の場合を除く。
- 2 容積重—ブラウエル穀粒計で測定した1リットルの重量をいう。
- 3 整粒—2ミリメートルの縦目ふるいをもって分け、そのふるいの上に残る健全粒をいう。
- 4 形質—皮部の厚薄、充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形、光沢等をいう。
- 5 水分—もみの定義の水分に同じ。
- 6 被害粒—損傷を受けた粒（発芽粒、病害粒、くされ粒、たい色粒、虫害粒、砕粒、熱損粒及び種子小麦についての芽くされ粒、胴割粒等）をいう。ただし、普通小麦及び強力小麦にあつては、被害が軽微で小麦粉の品質及び製粉歩合に影響を及ぼさない程度のもものを除く。
- 7 発芽粒—発根又は発芽している粒及び発根又は発芽のこん跡のある粒をいう。
- 8 赤かび粒—赤かび病菌等に侵されて赤色を帯びた粒をいう。
- 9 黒かび粒—かび又は菌等に侵されて黒色を帯びた粒をいう。
- 10 異品種粒—その品種以外の小麦の粒をいう。
- 11 異種穀粒—小麦を除いた他の穀粒をいう。
- 12 異物—もみの定義の異物に同じ。
- 13 麦角粒—麦角菌糸のかたまり及び麦角菌に侵された穀粒をいう。
- 14 なまぐさ黒穂病粒率—なまぐさ黒穂病菌に侵された粒の供試した粒に対する粒数歩合をいう。
- 15 硝子率—整粒中の硝子質粒の供試した整粒に対する粒数歩合をいう。
- 16 発芽率—摂氏20度で8日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した健全粒等に対する粒数歩合をいう。
- 17 健全粒—健全粒、成熟していない粒及び被害粒（原形の2分の1以下の砕粒を除く。）をいう。
- 18 たんぱく質—窒素定量法により換算値5.70を用いたもの又はこれと同等の精度でその測定結果が得られる近赤外分析計を用いて測定したものをいう。
- 19 でん粉—落球粘度計により測定したものをいう。

(4) 普通小粒大麦

項目 等級	最低限度			最高限度					
	容積重 (グラム)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、異種穀粒及び異物				
					計 (%)	熱損率 (%)	異種 穀粒 (%)	異物	
								麦角粒 (%)	麦角粒を除 いたもの (%)
1等	600	75	1等標準品	13.0	5.0	0.5	0.5	0.0	0.4
2等	540	60	2等標準品	13.0	15.0	0.5	1.0	0.0	0.6

規格外—異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通小粒大麦であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(5) 普通小粒大麦、普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）

項目 等級	最高限度					
	水分 (%)	細麦 (%)	被害粒 (%)	計 (%)	異種穀粒及び異物	
					異物	
					麦角粒 (%)	麦角粒を除 いたもの (%)
合格	14.0	45	25	11	0.0	—

規格外—異臭のあるもの又は合格の品位に適合しない普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(6) 普通大粒大麦

項目 等級	最低限度			最高限度					
	容積重 (グラム)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、異種穀粒及び異物				
					計 (%)	熱損率 (%)	異種 穀粒 (%)	異物	
								麦角粒 (%)	麦角粒を除 いたもの (%)
1等	620	75	1等標準品	13.0	5.0	0.5	0.5	0.0	0.4
2等	560	60	2等標準品	13.0	15.0	0.5	1.0	0.0	0.6

規格外—異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通大粒大麦であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(7)ビール大麦

項目 等級	最低限度				最高限度						色
	容積重 (グラム)	発芽勢 (%)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	細麦 (%)	被害粒、異品種粒及び異種穀粒並びに異物				
							計 (%)	異品種粒及 び異種穀粒 (%)	異物		
									麦角粒 (%)	麦角粒を除 いたもの (%)	
1等	645	95	90	1等標準品	13.0	5.0	2.0	0.2	0.0	0.2	品種固有の色
2等	630	95	80	2等標準品	13.0	10.0	3.0	0.2	0.0	0.2	—
等外上	600	95	70	等外標準品	13.0	—	6.0	0.2	0.0	0.2	—

規格外—異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通大粒大麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(8)種子大麦

種類	項目	最低限度				最高限度				色
		容積重 (グラム)	発芽率 (%)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒 (%)	異物		
	麦角粒 (%)							麦角粒を除いたもの (%)		
	等級									
普通小粒大麦	合格	560	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
普通大粒大麦	合格	590	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
ビール大麦	合格	590	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色

附則

- 1 普通小粒大麦の規格は、二条大麦以外の大麦(種子大麦を除く。)で飼料用に供されないものについて適用する。
- 2 普通大粒大麦の規格は、二条大麦(種子大麦を除く。)で飼料用又は醸造用に供されないものについて適用する。
- 3 普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)の規格は、二条大麦以外の大麦(種子大麦を除く。)で飼料用に供されるものについて適用する。
- 4 普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)の規格は、二条大麦(種子大麦を除く。)で飼料用に供されるものについて適用する。
- 5 普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)及び普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)の規格が適用されるものについては、銘柄の規定は、適用しない。
- 6 この規格で「飼料用に供される」とは、単体飼料又は配合飼料の原料に供されることをいう。
- 7 ビール大麦の規格は、二条大麦(種子大麦を除く。)で醸造用に供されるものについて適用する。
- 8 ビール大麦の発芽勢は、後熟後における数値とする。
- 9 被害粒のうち赤かび粒は、普通小粒大麦及び普通大粒大麦のうち1等及び2等のもの並びにビール大麦にあつては0.0%、普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)及び普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)のうち合格のものにあつては10.0%を超えて混入してはならない。
- 10 大麦には、異物として土砂(これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。)が混入してはならない。
- 11 ビール大麦及び種子大麦には、異臭があつてはならない。
- 12 種子大麦には、異品種粒又は異種穀粒が混入してはならない。
- 13 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

- 1 百分率—全量に対する重量比をいう。ただし、発芽勢及び発芽率の場合を除く。
- 2 容積重—小麦の定義の容積重に同じ。
- 3 整粒—2ミリメートル(普通大粒大麦及びビール大麦の等外上にあつては2.2ミリメートル、ビール大麦の1等及び2等にあつては2.5ミリメートル)の縦目ふるいをもって分け、そのふるいの上に残る健全粒をいう。
- 4 形質—小麦の定義の形質に同じ。
- 5 水分—もみの定義の水分に同じ。
- 6 被害粒—損傷を受けた粒(発芽粒、病害粒、くされ粒、たい色粒、虫害粒、胴割粒、砕粒、熱損粒、空洞粒、硬質粒並びにビール大麦及び種子大麦についての芽くされ粒、剥皮粒等)をいう。ただし、被害が軽微で、普通小粒大麦及び普通大粒大麦にあつては精麦の品質及び精麦歩合に影響を及ぼさない程度のもを、普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)及び普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)にあつては飼料の品質及び製麦歩合に影響を及ぼさない程度のもを、ビール大麦にあつては麦芽の品質及び製麦歩合に影響を及ぼさない程度のもを除く。
- 7 赤かび粒—小麦の定義の赤かび粒に同じ。
- 8 熱損粒—熱等によって損傷を受け、でん粉層まで茶褐色、茶色又は黒色に変色した粒をいう。
- 9 異品種粒—ビール大麦についての異品種粒とは、ビール大麦以外の大麦の粒をいう。
- 10 異種穀粒—大麦を除いた他の穀粒をいう。
- 11 異物—もみの定義の異物に同じ。
- 12 麦角粒—小麦の定義の麦角粒に同じ。
- 13 発芽勢—摂氏20度で72時間以内に発芽した整粒の供試した整粒に対する粒数歩合をいう。
- 14 細麦—普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)及び普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)にあつては2ミリメートル、ビール大麦にあつては2.2ミリメートルの縦目ふるいをもって分け、そのふるいを通過する大麦の粒をいう。
- 15 発芽率—摂氏20度で7日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した健全粒等に対する粒数歩合をいう。
- 16 健全粒等—小麦の定義の健全粒等に同じ。

3 大豆

(1) 普通大豆

等級	最低限度		最高限度				
	粒度 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物			
				計 (%)	著しい被害粒等 (%)	異種穀粒 (%)	異物 (%)
1等	70	1等標準品	15.0	15	1	0	0
2等	70	2等標準品	15.0	20	2	1	0
3等	70	3等標準品	15.0	30	4	2	0

規格外—1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない大豆であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(2) 特定加工用大豆

等級	最低限度		最高限度				
	粒度 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物			
				計 (%)	著しい被害粒等 (%)	異種穀粒 (%)	異物 (%)
合格	70	標準品	15.0	35	5	2	0

規格外—合格の品位に適合しない大豆であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(3) 種子大豆

等級	最低限度		最高限度		
	発芽率 (%)	形質	水分 (%)	被害粒及び未熟粒 (%)	異物 (%)
合格	80	合格標準品	15.0	10	0

附則

- 北海道において生産された大豆のうち、普通大豆の3等のもの及び特定加工用大豆の合格のものに限り、その水分の最高限度は、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
- 普通大豆及び特定加工用大豆の小粒大豆の産地品種銘柄にあっては直径6.1ミリメートル(北海道で生産されたもの)にあっては直径6.7ミリメートルの丸目ふるいをもって分け、極小粒大豆の産地品種銘柄にあっては直径5.5ミリメートルの丸目ふるいをもって分け、ふるいの上に残る粒の全量に対する重量比が10%未満でなければならない。
- 普通大豆の色の区分は、黄色、黒色、茶色及び青色とし、それぞれの色の大豆にはその色以外の色のものの粒が1等のものにあつては0%、2等のものにあつては5%、3等のものにあつては10%を超えて混入してはならない。
- 特定加工用大豆の規格は、豆腐・油揚げ、しょうゆ、きなこ等製品の段階において、大豆の原形をとどめない用途に使用される大豆に適用する。
- 種子大豆には、異種穀粒及び異品種粒が混入してはならない。
- 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

- 百分率—もみの定義の百分率に同じ。
- 粒度—次の表の上欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる大きさの目の丸目ふるいをもって分け、ふるいの上に残る粒の全量に対する重量比をいう。

区分	ふるいの目の大きさ
大粒大豆	直径7.9ミリメートル(つるの子及び光黒(北海道で生産されたもの)、ミヤギシロメ(岩手県及び宮城県で生産されたもの)並びにオオツル(群馬県、富山県、石川県、福井県、三重県、滋賀県、京都府及び兵庫県において生産されたもの)にあっては、直径8.5ミリメートル)、タマフクラ(北海道で生産されたもの)にあっては直径9.1ミリメートル)
中粒大豆	直径7.3ミリメートル
小粒大豆	直径5.5ミリメートル
極小粒大豆	直径4.9ミリメートル

- 形質—充実度、粒形、色沢、粒ぞろい等をいう。
- 水分—もみの定義の水分に同じ。
- 被害粒—損傷を受けた粒(病害粒、虫害粒、変質粒、破碎粒、皮切れ粒、はく皮粒等)をいう。ただし、普通大豆にあっては、損傷が軽微で製品の品質に影響を及ぼさない程度のものを、特定加工用大豆にあっては製品の品質に影響を及ぼさない程度のものを除く。
- 未熟粒—もみの定義の未熟粒に同じ。
- 著しい被害粒等—被害粒のうち著しく損傷を受けたもの及び未熟粒のうち著しく充実度が劣るものとして生産局長が定めるものをいう。
- 異品種粒—その品種以外大豆の粒をいう。
- 異種穀粒—大豆を除いた他の穀粒をいう。
- 異物—穀粒を除いた他のもの及び死豆(充実していない粉状質の粒)をいう。
- 発芽率—摂氏25度で8日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した整粒等に対する粒数歩合をいう。
- 整粒等—整粒(被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。)、未熟粒及び被害粒(原形の2分の1以下の破碎粒、子葉が一枚の破碎粒及び種皮が完全に離脱したはく皮粒を除く。)をいう。

令和 8 年産主要農作物生産振興資料
基本方針編

発 行：群馬県農政部米麦畜産課

〒371-8570
群馬県前橋市大手町一丁目 1 番 1 号
電話 (027) 226-3128／FAX (027) 223-3095